

InfoPrint 75/InfoPrint 100

ユーザース・ガイド

SA88-4155-00
(英文原典 : S550-1103-02)

InfoPrint Solutions Company

InfoPrint 75/InfoPrint 100

ユーザース・ガイド

SA88-4155-00
(英文原典 : S550-1103-02)

InfoPrint Solutions Company

— お願い: —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、111 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

本書は、新しい版で明記されていない限り、InfoPrint 75、InfoPrint 100、および以降のすべてのリリースおよびモデルに適用されます。

— インターネット —

当社ホーム・ページ <http://www.infoprint.com> にアクセスしてください。

お客様のご意見ご感想を、E メールの場合は printpub@us.ibm.com へ、郵便の場合は下記宛てにお送りください。

InfoPrint Solutions Company
6300 Diagonal Hwy 002J
Boulder, CO 80301-9270
U.S.A.

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックslashと表示されたり、バックslashが円記号と表示されたりする場合があります。

原典: G550-1103-02
InfoPrint 75 and InfoPrint 100
User's Guide

発行: 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当: トランスレーション・サービス・センター

第1版第1刷 2009.2

© Copyright InfoPrint Solutions Company 2008, 2009. All rights reserved.

目次

図	vii
安全上の注意	ix
本書の安全上の注意	x
マシン・ラベル	xii
第 1 章 プリンターの概要	1
プリンターにおける各部の位置	2
プリンター外側における各部の位置	2
プリンター内側における各部の位置	4
プリンターの電源オン	5
プリンターの電源オフ	6
第 2 章 オペレーター・コントロール・パネル (OCP) の使用	7
メインメニューの使用	8
プリンター設定メニューの使用	10
用紙の構成	11
オプションの構成	12
テスト印刷の実行	13
PCL の構成	13
PostScript の構成	14
IPDS の構成	15
環境設定メニューの使用	16
OCP の構成	16
システム値のセットアップ	17
消耗品のセットアップ	19
言語メニューの使用	19
レポート印刷メニューの使用	19
印刷ジョブ一覧メニューの使用	20
第 3 章 Web インターフェースの使用	21
Web ブラウザーからプリンターへのアクセス	21
システム・ページの使用	22
システム-一般	22
システム-仮想プリンター	29
システム-印刷履歴	30
システム-ジョブ	31
システム-シリアル番号	31
システム-プリセット	31
構成ページの使用	31
構成-一般	31
構成-イベント	31
構成-構成	31
構成-通信	31
第 4 章 用紙を操作する	33
用紙の取り扱いにおける予防措置	33
用紙を登録する	33
用紙をセットする	34
用紙削減オートロードを使用して用紙をセットする	38

用紙テンションを調整する	39
用紙を除去する	40
用紙の停止位置を確認する	42
印刷位置を確認する	43
印刷位置を調整する	46
カード紙制御	46
第 5 章 ネットワーク設定	47
ネットワークへの接続	47
ネットワーク・インターフェースの構成	48
TCP/IP の下での LPR/LPD 印刷	49
MAC アドレスの確認	49
AppleTalk プロトコルを使用する印刷	49
プリンター・ドライバーのインストール	50
UNIX オペレーティング・システム用のプリンターの構成	50
Solaris 2、6、7、8、および 9	50
HP-UX 11i	50
AIX 5L	52
第 6 章 プリンターの保守	53
サプライの取り替え	53
トナーの補給	53
使用済みトナー・ボトルの取り替え	56
デベロッパー・ミックスの交換	56
HR クリーナーの取り替え	61
HR ユニットの取り替え	63
紙詰まりのクリア	66
スタッカー・ジャムのクリア	66
トラクターまたは HR ユニットのジャムのクリア	68
印刷品質の検査	69
プリンターのクリーニング	69
用紙ホッパーのクリーニング	70
スタッカーのクリーニング	71
転写ユニットのクリーニング	72
トナー・ホッパー周辺のクリーニング	73
使用済みトナー・ボトルのクリーニング	74
プリクリーン・アセンブリーのクリーニング	74
第 7 章 トラブルシューティング	75
基本	75
一般的な印刷の問題	75
印刷品質の問題	76
その他の各種の問題	76
ネットワークの問題	76
AppleTalk プロトコルで発生する問題	77
TCP/IP プロトコルで発生する問題	77
エラー・リカバリー印刷	78
OCP 情報メッセージ	79
OCP のエラー・メッセージ	82
付録 A. 設置計画および仕様	87
基本プリンター仕様	87
スペース要件	90

アクセサリ	91
フォークリフト要件	91
入出力インターフェース	91
付録 B. サプライ用品の発注	95
サプライ用品の保管	95
用紙の保管	96
付録 C. 用紙の仕様	97
一般的な推奨事項	97
許容されない用紙	97
用紙の質量	98
用紙サイズ	98
ミシン目仕様	100
送り穴	102
送り穴以外の穴について	103
用紙のカラー	105
非印刷域	106
事前印刷用紙	107
事前印刷用紙への印刷	108
付録 D. フォントのダウンロード	109
特記事項	111
製品のリサイクルと廃棄	113
商標	113
電波障害自主規制への適合性	114
高調波電流の自主規制	114
情報処理装置およびシステムのイミュニティー試験に関する自主規制	114
索引	115



1.	プリンター設定メニュー	10
2.	環境設定メニュー	16
3.	レポート印刷メニュー	19
4.	Web インターフェース - 一般状況	21
5.	Web インターフェース - 仮想プリンター	29
6.	ネットワーク・コネクタの場所	48

安全上の注意

レーザーに関する安全

このプリンターは、1968年の健康および安全に対する放射制御法 (Radiation Control for Health and Safety Act) に準じた米国保健社会福祉省 (DHHS) 放射性能標準 (Radiation Performance Standard) によりクラス 1 レーザー製品と認定されています。この製品は、通常の操作および保守のもとで使用する限り安全です。保護ハウジングおよび外部カバーは、プリンター内部で放射されるレーザー光を完全に遮蔽します。通常のユーザー操作の段階では、レーザー光線が機械から漏れることはありません。



注意

<23> 本書に記述されている以外の制御を使用する、調整を行う、あるいは手順を実行すると、有害な放射を浴びることがあります。

1976年8月2日に米国食品医薬品局 (FDA) の Center for Devices and Radiological Health (CDRH) により施行された規制は、1976年8月1日以降に製造されたレーザー製品に適用されます。米国内で販売されるレーザー製品は、これらの規制に従う必要があります。

この製品をクラス 1 のレーザー製品として適合した状態に維持するためにオペレーターが行う必要のある保守作業はありません。レーザー動作またはレーザー出力に影響する調整機構は、オペレーターがアクセスできないところにあります。次のラベルはサイド・カバーの内側にあります。



注意 - クラス 3R レーザー
開けるとレーザーが放射されます。
直接目に当てないでください。

IP7500LX

電気に関する安全性について

プリンターは、米国の Underwriters Laboratories (UL) Inc. やカナダの Canadian Standards Association (CSA) 等の国の試験機関によって検査され、登録されています。国の試験機関によって製品が登録されるということは、危険を最少にするために国の要件に基づいてその製品が設計され製造されているということを意味します。ただし、機能上の必要から、本製品は高い電圧および高熱の発生を伴い、作動しますので、ご注意ください。

SAFE00ES

火災に関する安全

プリンターで使用される用紙とトナーは可燃性であるため、火災防止の一般的な予防対策が必要です。これらの予防対策には、プリンターを可燃物質 (例えば、カーテンや化学薬品) から遠ざけること、換気と冷却を十分に行うこと、無人操作を避けること、プリンターの操作訓練を受けた人が担当することなどの一般的な方法が該当します。

SAFE00FS

雷に関する安全

感電防止のために、雷雨中に通信回線や電話回線に関連した設置または再構成の作業はしないでください。

SAFE00FS

本書の安全上の注意



注意:

<9-14> スタッカー内の用紙の重量は、非常に重いことがあります。

CAUTO104



注意:

<9-14>

危険な可動部品。スタッカー・テーブルが稼働中は、指、手、およびその他の身体部分をスタッカー・テーブルに近づけないでください。

CAUTO914



注意:

<9-16>

HR ユニットは非常に高温になることがあります。断熱シートおよびハンドル以外の部分に触らないでください。

CAUTO916



注意:

<9-17>

このカバーの内側には危険な電圧のサプライ部品があります。保守を開始する前に、AC 電源スイッチおよびプリンター用の電源機構ブレーカーをオフにしてください。

CAUTO917



<9-36>

注意:

トナーを掃除機で吸い取る場合は、承認された掃除機のみを使用してください。

CAUT0936



危険

<1-13> 雷雨の間は、通信ポート、テレポート、またはその他のコネクターの接続または切断をしないでください。

hcsf0113



危険

<1-14> 通信ポート、テレポート、またはその他の接続コネクターの接続および切断を行う前に、プリンター電源をオフにしてプリンター電源コードのプラグを抜いてください。

hcsf0114



危険

本製品にはユーザーの安全のために、プラグ付き 3 芯電源コードが装備されています。感電事故を防止するため、この電源コードを使用して正しくアースされたコンセントと接続してください。

マシン・ラベル

これらとよく似たメッセージが、プリンターのカバー上に表示されています。



警告



高電圧
感電、やけど、または死亡の原因と
なる場合があります。
決して触れないでください。

CAUT0928



危険



高電圧
感電、やけど、または死亡の原因と
なる場合があります。
決して触れないでください。

CAUT0929



注意



可動部分
重大な怪我の原因となることが
あります。
カバーを外さないでください。

CAUT0930



注意



テーブルは上下に移動します。
手や足がはさまれないように、
テーブルが移動中は手や足を近くに
置かないでください。

CAUT0931



注意



高温のため危険
やけどの恐れがあります。
作動中は触れないでください。

CAUT0932



注意: 高温

CAUT0933



注意 - クラス 3R レーザー
開けるとレーザーが放射されます。
直接目に当てないでください。

CAUT0934



注意



回転部分
重大な怪我の原因となることがあり
ます。

CAUT0935

第 1 章 プリンターの概要

InfoPrint 75 および InfoPrint 100 は、報告書、請求書、伝票、およびステートメントなどの用途の印刷に適した設計の連続用紙プリンターです。以下の機能が備わっています。

- 高速印刷
 - InfoPrint 75
 - 8 行/インチ (lpi) において 5,100 行/分。
 - 8.5 インチ長用紙において 75 ページ/分。
 - 2 アップ印刷において 115 インプレッション/分。
 - InfoPrint 100
 - 8 行/インチ (lpi) において 6,800 行/分。
 - 8.5 インチ長用紙において 100 ページ/分。
 - 2 アップ印刷において 154 インプレッション/分。
- 高品質印刷: 600 x 600 ドット/インチ (dpi)。
- 用紙の取り扱いの柔軟性
 - 用紙幅: 165.1 から 457.2 mm (6.5 から 18 インチ)。
 - 用紙長: 152.4 から 355.6 mm (1/3、1/2、および 2/3 インチ増分時に 6 から 14 インチ)。
 - 用紙の質量: 64 から 157 g/m² (55 から 135 kg)。
 - 給紙スタック高: 64 g/m² 用紙で 3,000 シート。
 - 出力スタック高: 64 g/m² 用紙で 2,000 シート。
- マルチプル・オリジナル・プリンティング: 複数の丁合いの文書セットの印刷を行うのに、ファイル転送を複数回行う必要がありません。
- 仮想プリンター・テクノロジー: 1 台のプリンターに対するネットワーク経由での複数印刷サービス (仮想プリンター) の提供。 29 ページの『システム-仮想プリンター』を参照してください。
- Web インターフェース機能。 21 ページの『第 3 章 Web インターフェースの使用』を参照してください。
- 標準 PCL5e のサポート: オプションの PostScript 3 サポート、オプションの IPDS サポート。
- ネットワーク・サポート: TCP/IP (標準)、LPR/LPD、AppleTalk。
- I/O 構成:
 - 双方向 1284C パラレル・インターフェース (互換性、ニブル、およびバイト・モードをサポート)。
 - イーサネット 10/100/1000 Base-T (オンボード・ネットワーク上)。

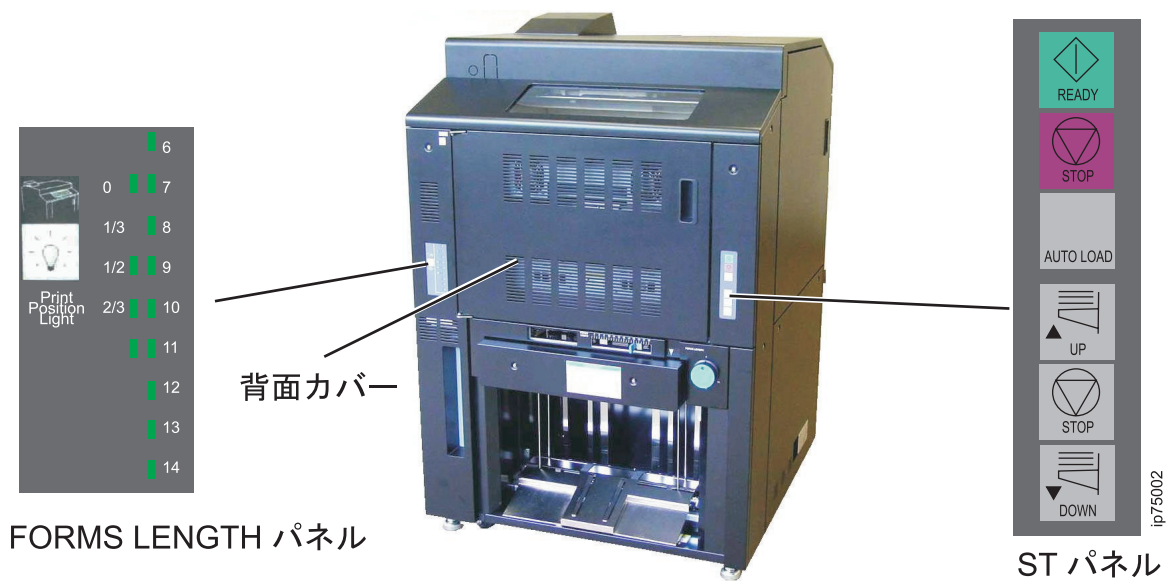
プリンターにおける各部の位置

プリンター外側における各部の位置

正面図



背面図



コンポーネントおよび説明

コンポーネント	説明
前面カバー	このカバーを開けて、用紙のロード、紙詰まりをクリア、またはプリンター内部のクリーニングを行います。
トナー・サプライ・カバー	このカバーを開けて、トナーを取り替えます。
サイド・カバー	このカバーを開けて、デベロッパー（現像剤）の取り替えまたはプリンター内のクリーニングを行います。
背面カバー	このカバーを開けて、HR ユニットの取り付け、HR クリーナーの取り替え、または紙詰まりのクリアを行います。
ボトル・カバー	このカバーを開けて、使用済みトナー・ボトルを取り替えます。
PF パネル	このパネルを使用して、自動的な用紙ロードおよび用紙送りを行うための折り畳み方向を指定します。『PF パネル』を参照してください。
ST パネル	このパネルを使用して、スタッカー・テーブル高を設定し、自動的に用紙をロードします。『ST パネル』を参照してください。
FORMS LENGTH パネル	このパネルを使用して、内部印刷位置ライトをオンにして、用紙の長さ設定を指定します。4 ページの『FORMS LENGTH パネル』を参照してください。

PF パネル

スイッチ	機能	LED
AUTO LOAD	自動的な用紙ロードを開始します。	なし
FORMS SET	用紙の折り畳み方向を指定します。	左方の LED がオンの場合、折り畳みは上向きです。右方の LED がオンの場合、折り畳みは下向きです。
FORMS SELECT A B	用紙の質量に応じてフューザー温度を調整します。A は、55 から 71 kg 用紙に使用します。B は、72 から 135 kg 用紙に使用します。	左方の LED がオンの場合、A が設定されています。右方の LED がオンの場合、B が設定されています。
FORWARD	用紙を順方向に送ります。1 回押すと、用紙を順方向に 1/6 インチ分移動します。押したままに保持すると、連続的に用紙を送ります。	なし
REVERSE	用紙を逆方向に送ります。1 回押すと、用紙を逆方向に 1/6 インチ分移動します。押したままに保持すると、連続的に用紙を逆方向に送ります。	なし

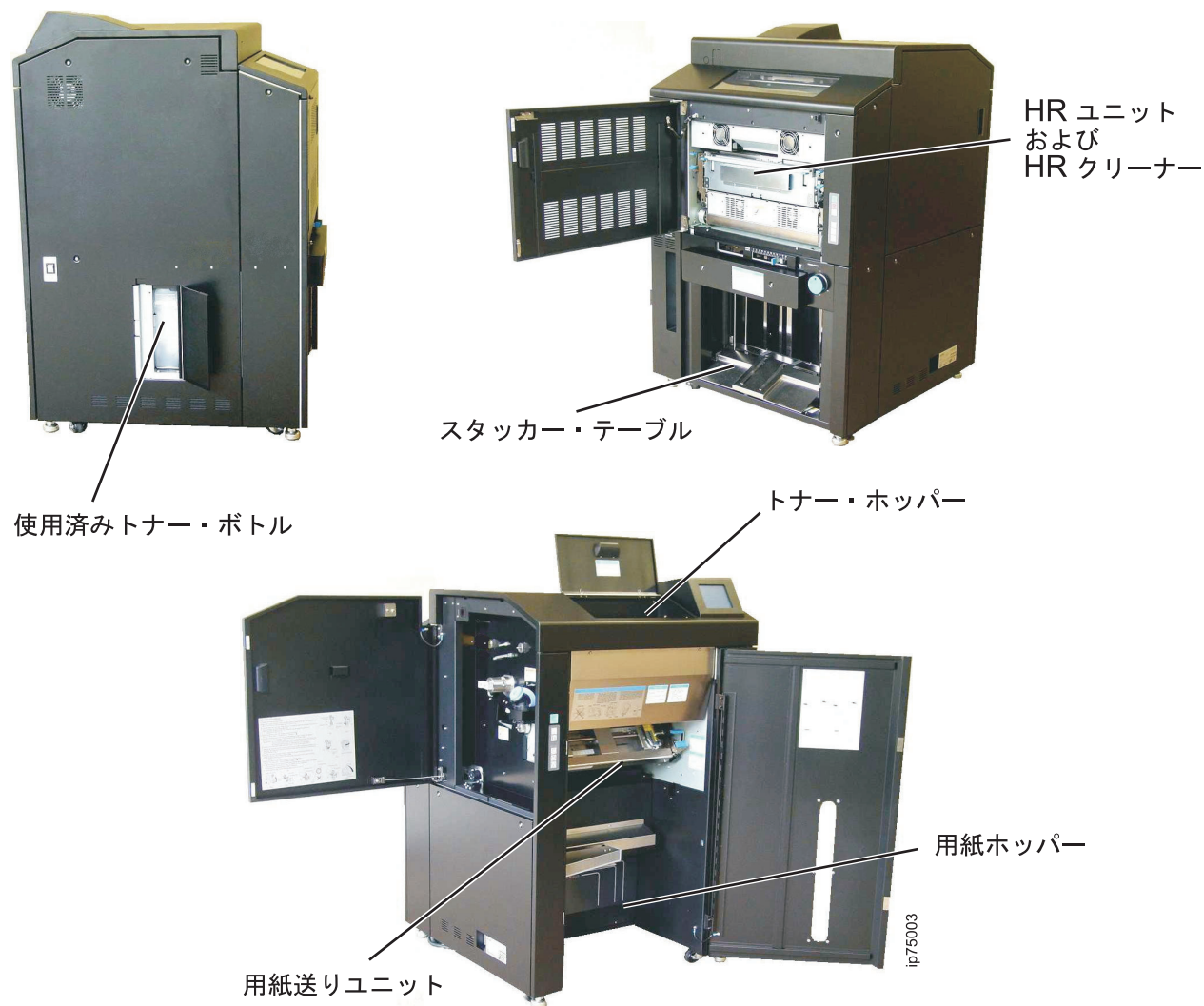
ST パネル

スイッチ	説明
START	プリンターを作動可能にします。
STOP (上部)	プリンターをオフラインにします。
AUTO LOAD	自動的な用紙ロードを開始します。
UP	スタッカー・テーブルを上げます。
STOP (下部)	スタッカー・テーブルを停止します。
DOWN	スタッカー・テーブルを下げます。

FORMS LENGTH パネル

スイッチ	説明
PRINT POSITION LIGHT	LED をオンにします。

プリンター内側における各部の位置



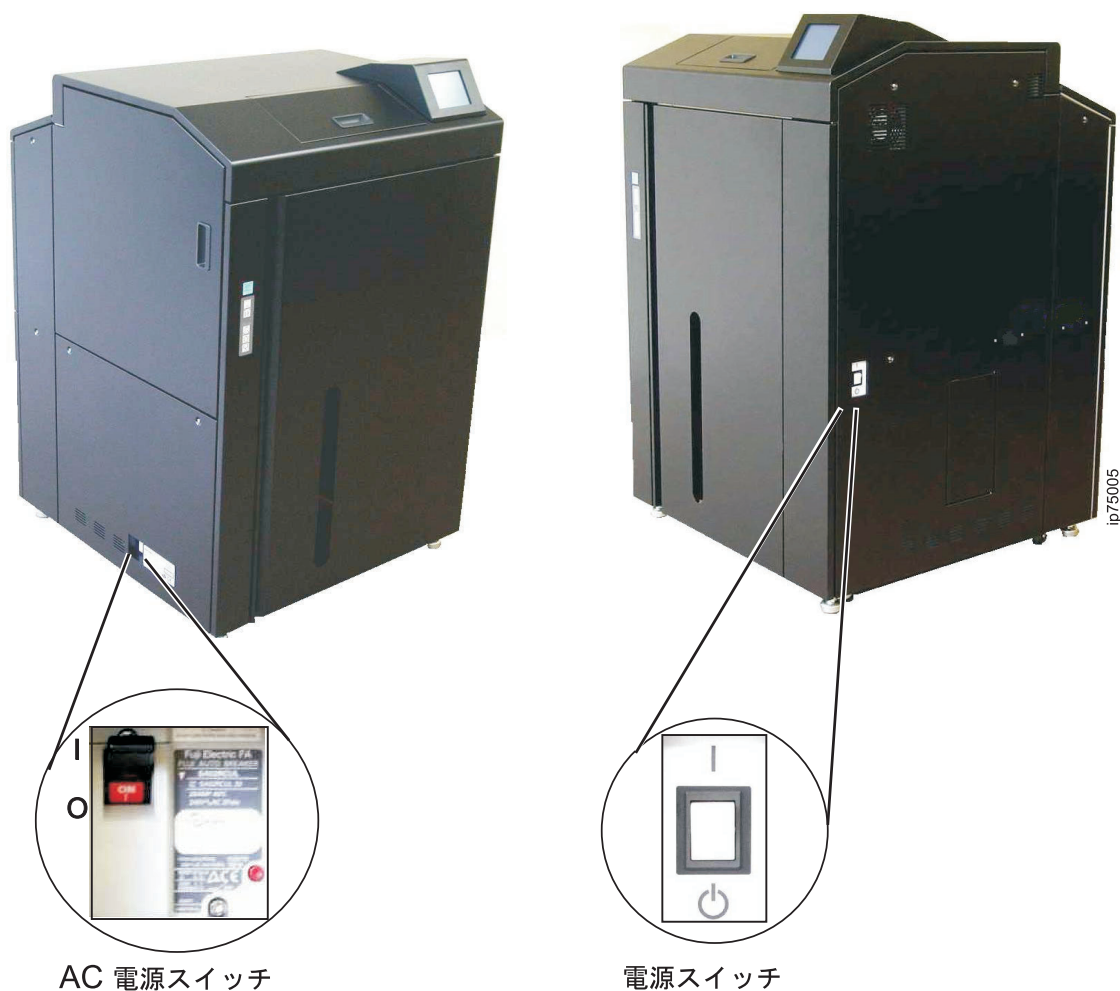
コンポーネント	説明
用紙送りユニット	用紙を送り、トナーを用紙に転写します。
トナー・ホッパー	新しいトナーが入ります。
用紙ホッパー	用紙を保持します。
使用済みトナー・ボトル	使用済みのトナーが入ります。
HR ユニット (ヒート・ロール・ユニット)	トナーを用紙に融着します。このコンポーネントには、ヒート・ロール、バックアップ・ロール、およびヒーター・ランプが組み込まれています。
HR クリーナー	ヒート・ロールのクリーニングおよび注油を行います。

コンポーネント	説明
スタッカー・テーブル	印刷後の用紙を格納します。

プリンターの電源オン

次の図に、電源スイッチの位置を示します。プリンターの電源をオンにするには、最初に AC 電源スイッチを押してから、電源スイッチを押します。

パワーオン・シーケンスには約 8 分掛かります。



注: プリンターの電源をオフにした後、再び電源オンをするためには最低でも 5 秒間はお待ちください。5 秒間待機した後もプリンターの電源がオンにならない場合は、再度電源をオフにし、30 秒間待機してから、電源をオンにしてください。

プリンターの電源オフ

以下のようにして、プリンターの電源をオフにします。

1. OCP に作動可能メッセージ（「オンライン」）が表示されていることを確認します。
2. 電源スイッチをオフ (O) に押してから、AC 電源スイッチをオフ (O) に押します。

注:

1. 緊急の場合は、AC 電源スイッチを押してプリンターの電源をオフにします。
2. NPRO 機能を使用して用紙をプリンター内に流した後は、5 分間待ってから電源オフしてください。
3. 次の表で、特別な状態における電源オフの方法を説明します。

状態	処置
プリンター状況が作動可能（「オンライン」）と処理中（「ジョリチュウ」）を交互に表示している。	<ol style="list-style-type: none">1. 数分間待機して、作動可能メッセージ（「オンライン」）のみが表示されるか確認します。2. 処理中（「ジョリチュウ」）が継続して表示される場合は、実行中のジョブがジョブ・キューにないか確認します。<ol style="list-style-type: none">a. PC 上で、「スタート」->「設定」->「プリンター」とクリックします。b. ターゲット・プリンターのアイコンをダブルクリックして、ウィンドウを開きます。c. すべての印刷ジョブを選択してから、「ドキュメント」->「一時停止」を選択します。
OCP にエラー・メッセージが表示されている。	エラーをクリアしてから、プリンターの電源をオフにします。
OCP に、「オフライン/ポーズ」が表示されている。	復帰/オンライン (▶) を押してから、電源をオフにします。

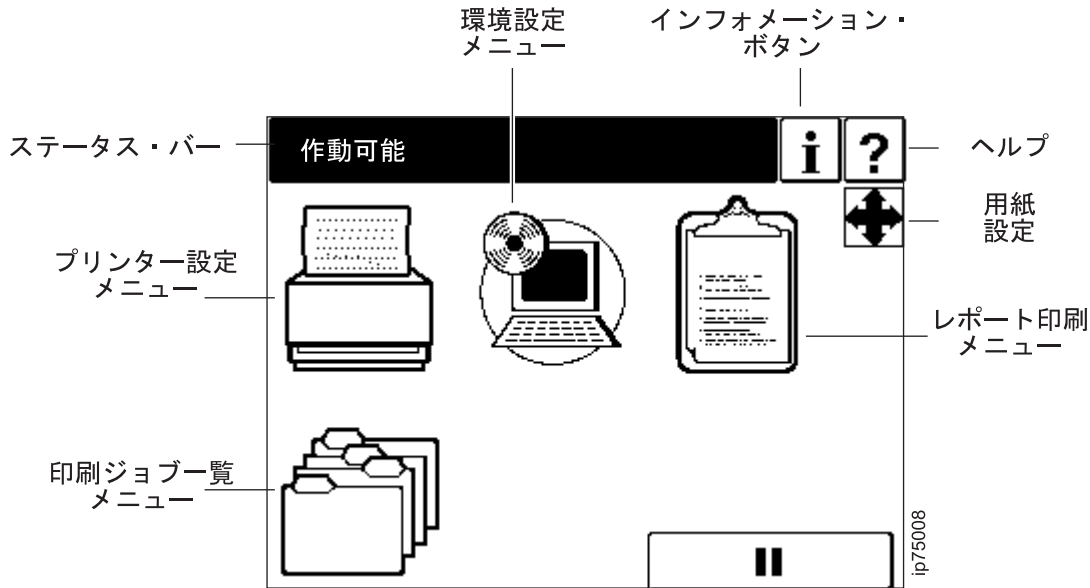
第 2 章 オペレーター・コントロール・パネル (OCP) の使用







OCP は、プリンターの制御、オプションのセットアップ、ジョブの追跡、およびプリンター状況のモニターに使用するタッチパネルです。



メインメニューの使用

次の図はメインメニューを示します。



アイコン	名前	機能
	プリンター設定メニュー	「プリンター設定」メニューを選択すると、用紙サイズおよびマージンの定義、プリンター・オプションの設定、テスト印刷の実行、PostScript、PCL、および IPDS 設定の定義を行うことができます。10 ページの『プリンター設定メニューの使用』を参照してください。
	印刷ジョブ一覧メニュー	「印刷ジョブ一覧」メニューを選択すると、現行ジョブのリストを表示し、ジョブを削除できます。20 ページの『印刷ジョブ一覧メニューの使用』を参照してください。
	環境設定メニュー	「環境設定」メニューを選択すると、OCP 設定の定義、サプライ・カウンターのリセット、表示言語の設定、ネットワークングのセットアップ、および保守機能へのアクセスを行うことができます。(保守および管理機能にはパスワードが必要です。) 16 ページの『環境設定メニューの使用』を参照してください。
	レポート印刷メニュー	「レポート印刷」メニューを選択すると、現行のプリンター設定、ハード・ディスクの内容、フォント、および用紙設定を表示できます。19 ページの『レポート印刷メニューの使用』を参照してください。
	インフォメーション	「インフォメーション」を押すと、サプライの使用量、ネットワーク設定、マシン・コードのレベルの詳細を表示します。
	ヘルプ	「ヘルプ」を押すと、現行パネルに関する情報を表示します。

注:

1. メニュー・アイコンを押すと、プリンターは一時停止します。
2. 次の表で、その他の共通 OCP アイコンについて説明します。

アイコン	名前	説明
	次の画面	「次の画面」を押して、次のメニュー・オプションを表示します。
	前の画面	「前の画面」を押すと、直前の画面を表示します。
	一時停止/オフライン	「一時停止/オフライン」を押すと、印刷ジョブを一時停止して、プリンターをオフラインにします。
	復帰/オンライン	「復帰/オンライン」を押すと、一時停止されていた印刷ジョブを再開したり、プリンターを作動可能にしたりします。
	実行または受け入れ	「実行/受け入れ」を押すと、新規の値または変更した値を有効にします。
	リピート・モード	「リピート・モード」を押すと、ジョブの最初のページを印刷し、プリンターをオフラインにします。こうすることにより、ジョブ全体の印刷を開始する前にマージンおよび印刷位置を調整できます。
	バック	「バック」を押すと、メインメニューに戻ります。
	スクロール・バー	スクロール・バーを押すと、印刷ジョブ一覧メニューに表示されたジョブのリストをスクロールできます。
	NPRO	「NPRO」(空送り)を押して、用紙をプリンター内で移動させます。NPRO は、プリンターがオフラインのときだけ使用可能です。
	クリア	「Clr」を押すと、OCP で入力したすべての値を消去します。
	削除	「Del」を押すと、OCP で最後に入力した文字を削除します。
	用紙設定	「用紙設定」を押して、用紙サイズおよびマージンを定義します。

プリンター設定メニューの使用

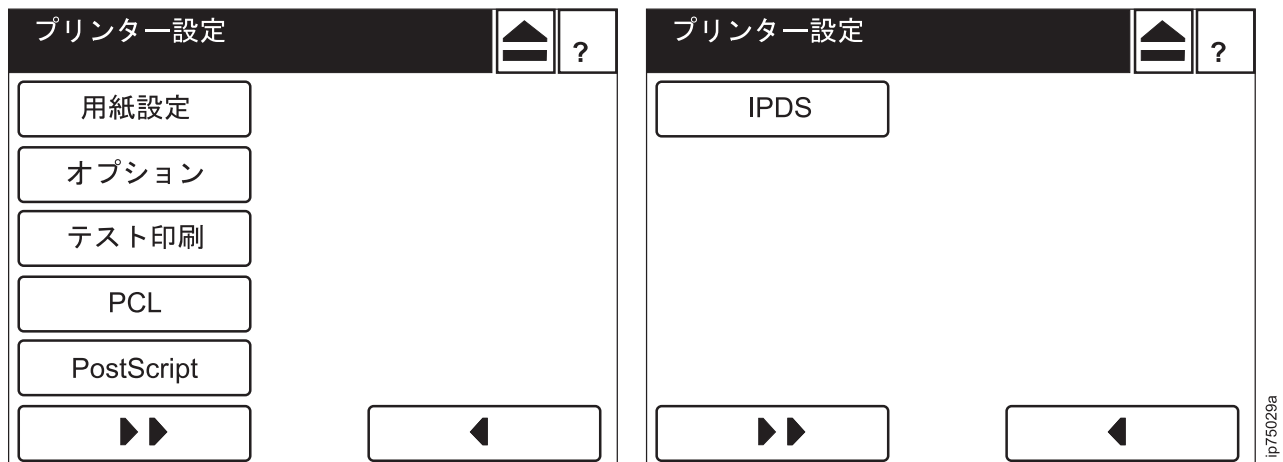


図1. プリンター設定メニュー

「プリンター設定」メニューを使用すると、以下のことができます。

作業	サブメニュー	参照
用紙サイズおよび印刷マージンの構成	用紙設定	ページ 11
プリンター設定の定義	オプション	ページ 12
テスト・ページの印刷	テスト印刷	ページ 13
PCL ジョブ設定の定義	PCL	ページ 13
PostScript ジョブ設定の定義	PostScript	ページ 14
IPDS ジョブ設定の定義	IPDS	ページ 15

用紙の構成

用紙を構成するには、用紙メニューの「用紙設定」を選択します。表 1 は、設定可能な値を示しています。

注: 印刷データがまだ残っているときに用紙サイズを変更すると、「用紙サイズが間違っています」が表示されます。この場合は、既存のデータを削除し、正しい用紙サイズを設定してから、ジョブをもう一度印刷してください。

表 1. 「プリンター設定」メニューの値

フィールド	値	説明
用紙サイズ	幅 長さ	用紙の幅および長さを指定します。 幅は、「用紙の幅」パネル上のキーパッドを使用して変更します。幅は、6.50 から 18.00 インチ (165.1 から 457.2 mm) の範囲です。 長さは、「用紙の長さ」パネルを使用して変更します。長さは、1/6 インチ増分の場合で 3.00 から 14.00 インチ (76.2 から 355.6 mm) の範囲です。
調整	上部マージン 左マージン	上部マージンおよび左マージンの調整を指定します。許容される調整範囲は、 ± 4.23 mm (± 0.16 インチ) です。
プリセット値指定	1-99	登録済み用紙をロードします。33 ページの『用紙を登録する』を参照してください。
プリセット値登録	1-99	用紙の定義および登録を行います。登録済み (つまり、プリセット) 用紙では、用紙の幅と長さ、およびマージン調整を定義します。33 ページの『用紙を登録する』を参照してください。

オプションの構成

プリンターのオプションを設定するには、用紙メニューの「オプション」を選択します。表2は、設定可能な値を示しています。

表2. 「オプション」メニューの値

フィールド	オプション	説明
出口ジャム・リカバリー	有効 無効	用紙ジャムがクリアされた後で、ジャムしたページを再印刷するかどうかを指定します。
ウェイト・タイムアウト	0-999	プリンターがジョブに関して受信するデータはもう存在しないと判断するまで、データを待機する秒数を指定します。その後プリンターはそのジョブを終了し、新しいジョブをチェックします。有効な値は 0 から 999 です。ゼロは無限大のタイムアウト期間を指定することになり、プリンターが接続を終了するのはホスト・システムに依存します。
LPD キューイング	有効 無効	LPD キューを有効に設定すると、プリンターは多数の PC に対応可能になります。デフォルトは無効です。
NPRO 選択	有効 無効	NPRO 選択を有効に設定すると、「 NPRO 」を押したときに用紙が移動する距離を指定できます。デフォルトは無効です。 NPRO 選択が無効のときは、NPRO アイコンを押すと用紙を順方向に自動的に送ります。NPRO 選択が有効のときは、NPRO アイコンを押すと以下の値のどれかが選択できるようになります。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動: 用紙送りの長さが自動的に設定され、NPRO が実行されます。 • 単一: 用紙送りの長さが 1 ページに設定され、NPRO が実行されます。 • 手動: 指定された用紙送りの長さ (2 から 9 ページの範囲) で NPRO が実行されます。
印刷濃度	薄い やや薄い 中間 やや濃い 濃い	印刷濃度を指定します。
スタッカー	有効 無効	スタッカー・テーブルおよびスイング・フィン動作の制御を有効にします。
スタック・レベル	標準 3/4 1/2	スタッキングのレベルを指定します。
印刷速度	標準 低	InfoPrint 100 で印刷速度を指定します。標準は 100 ppm で、低は 75 ppm です。この設定は、InfoPrint 75 では利用できません。プリンターの電源をオフにすると、この設定は標準に戻ります。
ブザー	有効 無効	プリンターのブザーを有効または無効にします。

表2. 「オプション」メニューの値 (続き)

フィールド	オプション	説明
オートロード	標準 用紙削減	用紙オートロードの方法を選択します。用紙削減では 1 または 2 枚のシートの使用が減りますが、用紙ロード手順のステップは増えます。 38 ページの『用紙削減オートロードを使用して用紙をセットする』を参照してください。
カード紙制御	有効 無効	カード紙制御を有効に設定すると、カード用紙を使用する場合にカードのはがれ、およびスタッカーでの紙詰まりを減少させることができます。 46 ページの『カード紙制御』を参照してください。

テスト印刷の実行

テスト印刷をするには、用紙メニューの「テスト印刷」を選択します。

PCL の構成

PCL 設定を定義するには、用紙メニューの「PCL」を選択します。表 3 は、設定可能な値を示しています。

表3. 「PCL」メニューの値

フィールド	値	説明
フィックス・オリエンテーション	なし ランドスケープ ポートレイト	印刷方向 (ランドスケープまたはポートレイト) を指定します。「なし」はジョブに設定された値を使用します。ランドスケープまたはポートレイトは、ジョブに設定された値をオーバーライドします。
2 アップ	有効 無効	2 アップ印刷 (2 ページのイメージが横並びに印刷される) を有効にします。デフォルトは無効です。
第 2 ページ・オフセット	nn	2 番目のページをオフセットする量を指定します。オフセットは、0.1 インチ増分で 0 から 1 インチの範囲です。デフォルトは 0.0 インチです。

PostScript の構成

PostScript 設定を定義するには、用紙メニューの「ポストスクリプト」を選択します。表 4 は、設定可能な値を示しています。

表 4. 「ポストスクリプト」メニューの値

フィールド	値	説明
エラー印刷	有効 無効	プリンターが PostScript エラーを処理する方法を指定します。「無効」はジョブをキャンセルし、エラー・ページは印刷しません。「有効」はジョブをキャンセルし、エラー・ページを印刷します。
ベスト・フィット	有効 無効 無効 (OCP 優先)	現行用紙サイズに対して大きすぎるジョブをサイズ変更するかどうかを指定します。「有効」は大きすぎるジョブを縮小します。「無効」は、正しい用紙サイズをセットするようにプロンプトのメッセージを生成します。「無効 (OCP 優先)」は、「無効」と同様に作動しますが、例外は、ジョブが以下の基準を満たす場合、プリンターはプロンプトを出さずにジョブを印刷します。 <ul style="list-style-type: none"> ジョブがプリンターにセットされたものとは異なる用紙サイズを要求している場合。 ジョブが、要求した用紙サイズを無視してもかまわないとも指定している場合。
ジョブ・タイムアウト	0, 15-999	プリンターがジョブをキャンセルするまでにジョブの処理に消費できる時間の長さを指定します。有効な値は 15 から 999 です。ゼロは処理時間に制限がないことを表します。
正方形イメージ方向	ランドスケープ ポートレート	印刷方向を指定します。
ハーフトーン濃度	薄い 中間 濃い	ハーフトーン濃度を指定します。この値を変更する場合、新規の値を有効にするためにはプリンターの電源をオフにし、電源を再度オンにする必要があります。
PS ウェイト・タイムアウト	0-999	プリンターがジョブに関して受信するデータはもう存在しないと判断するまで、データを待機する秒数を指定します。その後プリンターはそのジョブを終了し、新しいジョブをチェックします。有効な値は 0 から 999 です。ゼロは無限大のタイムアウト期間を指定することになり、プリンターが接続を終了するのはホスト・システムに依存します。
180 度回転	有効 無効	PostScript データを印刷前に 180 度回転するかどうかを指定します。データを回転させるために処理時間が長くなります。デフォルトは無効です。

IPDS の構成

IPDS 設定を定義するには、用紙メニューの「IPDS」を選択します。表 5 は、設定可能な値を示しています。

表 5. 「IPDS」メニューの値

フィールド	値	説明
リセット IPDS フォント		取り込み済みのすべての IPDS フォントを消去します。この項目は、IPDS が非アクティブの場合のみに有効です。 注: この項目は、以下のエラー・メッセージを受けとったときにのみ使用します。 IPDS Database Error
キャッシング	有効 無効	繰り返しオーバーレイに対してキャッシングを使用するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「有効」 - プリンターはキャッシングを使用します。この場合、繰り返しオーバーレイを使用するジョブのパフォーマンスは向上しますが、より多くのメモリーを使用します。 「無効」 - プリンターはキャッシングを使用しません。この場合、プリンターの使用するメモリーは少なくともすみませんが、繰り返しオーバーレイを使用するジョブのパフォーマンスは悪くなります。「無効」がデフォルト値です。 注: 繰り返しオーバーレイに対してはオーバーレイ・キャッシングを推奨します。オーバーレイ・キャッシングを使用しても、非オーバーレイ IPDS データに対して、またはオーバーレイを 1 回のみ使用する場合あるいは使用頻度の低いオーバーレイに対してはパフォーマンスの向上はありません。
フォント取り込み	有効 無効	フォント取り込み処理を以下のように設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「有効」 オン - プリンターがダウンロードされたフォント・リソースをハード・ディスクに保管し、電源サイクルをまたいで使用できるようにします。IPDS ホストは、取り込みフォント・リソースをダウンロードする前に、正しいリソース ID が指定された Activate Resource コマンドを発行する必要があります。「有効」がデフォルト値です。 オフ - プリンターは電源サイクルの後はダウンロードされたフォント・リソースを保管しません。
NPRO タイムアウト	15 (秒) 20 45 60 120	PCL または PostScript ジョブが終了するまでプリンターが待機し、待機中の IPDS ジョブの処理を開始するまでの秒数を指定します。

環境設定メニューの使用

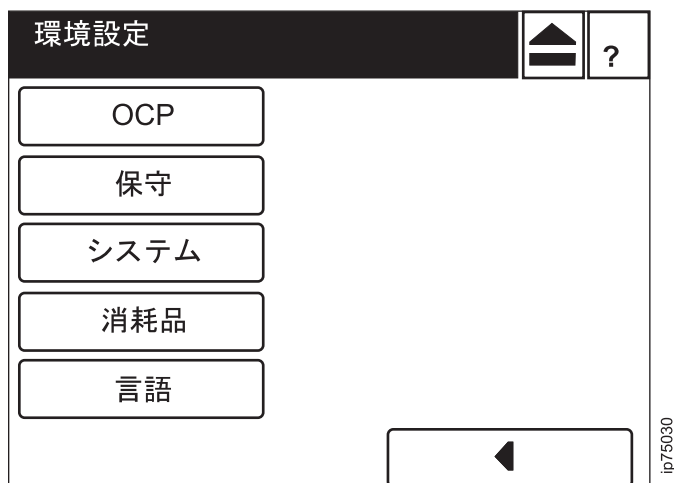


図2. 環境設定メニュー

「環境設定」メニューを使用すると、以下のことができます。

作業	サブメニュー	参照
輝度、コントラスト、およびブザーのボリュームの設定	OCP	ページ 16
保守機能へのアクセス (サービス担当員のみ。)	保守	
ソフトウェア・ロギング、パラレル・ポートおよびネットワークのパラメーター、カレンダー、国番号、省電力モード、システム・パスワード、およびその他のセットアップ。「環境設定-システム」メニューは、システム管理者向けで、パスワード保護されています。	システム	ページ 17
新しいデベロッパーを追加し、HR クリーナー・ユニット、HR ユニット、OPC ドラム、およびドラム・クリーナーのカウンターをリセットします。	消耗品	ページ 19
OCP で使用する言語を指定します。	言語	

OCP の構成

OCP コントラストおよびブザー・ボリュームを構成するには、環境設定メニューの「OCP」を選択します。表6は、設定可能な値を示しています。

表6. 「OCP」メニューの値

	OCP のコントラストを指定します。
	OCP ブザーの音量を指定します。

システム値のセットアップ

システム値を構成するには、環境設定メニューの「システム」を選択します。表7は、設定可能な値を示しています。

注: システム値の変更にはパスワードが必要です。

表7. 「システム」メニューの値

フィールド	値	説明
ソフトウェア・ログ		プリンター・コントローラー・ソフトウェアのロギングを開始します。ログが完了した後に、プリンターの電源をオフにしてからオンにする必要があります。
パラレル	Ack パルス幅 モード	確認応答パルス幅をナノ秒で指定します。有効な値は 500 から 12750 です。デフォルトは 1000 です。通常、デフォルトを変更する必要はありません。 モードは、通信モードが選択でき、これは出荷時に双方向 (プリンターとホスト・コンピューターがパラレル・チャンネル上で相互に通信できるモード) に設定されています。互換モードを指定すると、ホストはパラレル・チャンネル上でプリンターに情報を送信できるが、プリンターからのデータは受信できません。
ネットワーク	IP アドレス サブネット・マスク ゲートウェイ・アドレス ブート方式 HTTP ポート	デフォルト値は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス: 192.0.0.192 • サブネット・マスク: 0.0.0.0 • ゲートウェイ・アドレス: 0.0.0.0 • HTTP ポート番号: 80 HTTP ポート番号を変更した場合は、プリンターを再始動してください。 「ブート方式」では、プリンターを静的アドレスまたは DHCP アドレスのどちらにブートするかを選択します。デフォルトは静的です。IP アドレスは、出荷時設定で静的になっています。
「印刷中」表示	有効 無効	ジョブの印刷中に、印刷ジョブ・リスト・アイコン上に単語の「印刷中」を表示するかどうかを指定します。
PS エラー時動作	印刷継続 印刷停止	PostScript エラーが発生したときに、印刷を続行するか停止するかを指定します。「印刷停止」を選択した場合は、エラーのあと手動で印刷を再開する必要があります。
カレンダー	タイム・ゾーン 日付 時間	日付、時刻、および時間帯を指定します。
国番号		国際電話に使用する国番号を指定します。出荷時設定は 81 (日本の国番号) です。

表7. 「システム」メニューの値 (続き)

フィールド	値	説明
省電力モード	有効 無効	省電力モードをオンまたはオフにします。有効に設定された場合、プリンターが「省電力時間」に指定された時間を経過するまでアイドル状態が続くと、省電力モードが開始します。省電力モードは、以下のイベントのいずれかで終了します。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンター状況がオンラインに変更された。 • ユーザーが OCP 上のアイコンを押した。 • プリンターが Web からアクティブにされた (たとえば、用紙設定が変更された)。
省電力時間	nnn	省電力モードを開始するまでにプリンターがアイドルになっている時間の長さを指定します。
用紙情報表示	有効 無効	用紙情報 (たとえば、幅および長さ) をコンソールに表示するかどうかを指定します。
パスワード	nnn	システム・パスワードを指定します。デフォルトは 1000 です。 注: システム・パスワードが失われた場合は、許可されたサービス技術員によりリセットする必要があります。
エミュレーション	自動選択 PostScript PCL	着信ジョブの扱い方を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「自動選択」では、各ジョブを識別し PostScript または PCL として処理します。 • 「PostScript」では、すべてのジョブを PostScript として処理します。PostScript ジョブの場合は、「通常モード」、「TBCP モード」、および「Raw モード」も指定できます。 • PCL は、すべてのジョブを PCL として処理します。
public R/W	有効 無効	SNMP 通信を有効または無効に設定します。デフォルトは無効です。
自動バックアップ時刻	0-23	プリンターが自動バックアップを実行する時刻を指定します。有効な範囲は 0-23 です。デフォルトは 1 (1:00 AM) です。プリンターは、電源オンされていれば自動的にバックアップを実行します。
ジョブ区切り印刷	有効 無効	ジョブ区切りマークを印刷するかどうかを指定します。デフォルトは有効です。この項目は、サービス担当員が無効に設定した場合は表示されません。
ジョブ区切り枚数	3-11	ジョブ区切りマークが印刷される用紙の枚数を指定します。デフォルトは 4 です。
PS フォント・キャッシュ	20% 40% 60% 80%	PostScript フォント用キャッシュとして使用するハード・ディスク・スペースの最大容量を指定します。20% (デフォルト値) が選択された場合、有効な最大値は 4MB に制限されません。この値を変更する場合、新規の値を有効にするためにはマシンの電源をオフにし、再度オンにする必要があります。

消耗品のセットアップ

デベロッパーの交換およびカウンターのリセットを行うためには、環境設定メニューの「消耗品」を選択します。表8は、設定可能な値を示しています。

表8. 「消耗品」メニューの値

フィールド	処置	説明
現像剤	排出 注入	残りのデベロッパーを使い切るには「排出」を選択します。新しいデベロッパー・ミックスを追加する場合は、「注入」を選択します。それぞれの処置については、オペレーター・パネルの説明に従ってください。56ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。
HR クリーナー・ユニット		HR クリーナー・ユニットのカウンターをリセットします。
HR ユニット		HR ユニットのカウンターをリセットします。
OPC ドラム		OPC ドラムのカウンターをリセットします。
ドラム・クリーナー		ドラム・クリーナーのカウンターをリセットします。

言語メニューの使用

OCF に表示される言語を変更するには、環境設定メニューの「言語」を選択します。

レポート印刷メニューの使用

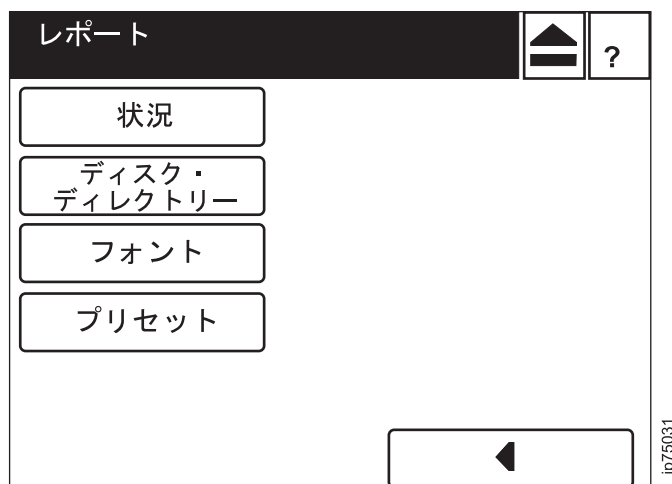


図3. レポート印刷メニュー

以下のレポートを印刷するには、レポート印刷メニューを使用します。

- ステータス: 現行のプリンター設定
- ディスク: PCL/PostScript のディスク・ディレクトリーの内容
- フォント: PCL/PostScript/IPDS 用のフォント
- プリセット値: 登録済みの用紙

印刷ジョブ一覧メニューの使用

「印刷ジョブ一覧」メニューは、プリンターに実行依頼されたジョブのリストを表示します。各ジョブの情報には、ジョブ名、部数、ページ数、ユーザー名、ジョブを受信した時刻、およびジョブ状況 (P=一時停止、A=アクティブ、C=削除中、D=転写済み) が含まれています。

ジョブを削除するには、削除したいジョブを選択してから「削除」を押します。

第 3 章 Web インターフェースの使用

InfoPrint 75/100 の場合は、Web ブラウザーを使用して該当のプリンターに関する情報の表示および一部のプリンター設定の変更を行うことができます。この章では、Web ブラウザーからプリンターにアクセスする方法について説明します。Web から設定するプリンターの値が、プリンターに設定されている値をオーバーライドすることに注意してください。

Web ブラウザーからプリンターへのアクセス

以下の Web ブラウザーがサポートされています。

- Internet Explorer: バージョン 6 以降
- NetScape: バージョン 7.1 以降

Web ブラウザーからプリンターにアクセスするには、以下のようにします。

1. ブラウザーのアドレス・フィールドにプリンターの IP アドレスを入力して、「実行」を押します。プリンターのホーム・ページが表示されます。
2. 「管理」を押して、プリンター機能にアクセスします。以下のような画面が表示されます。

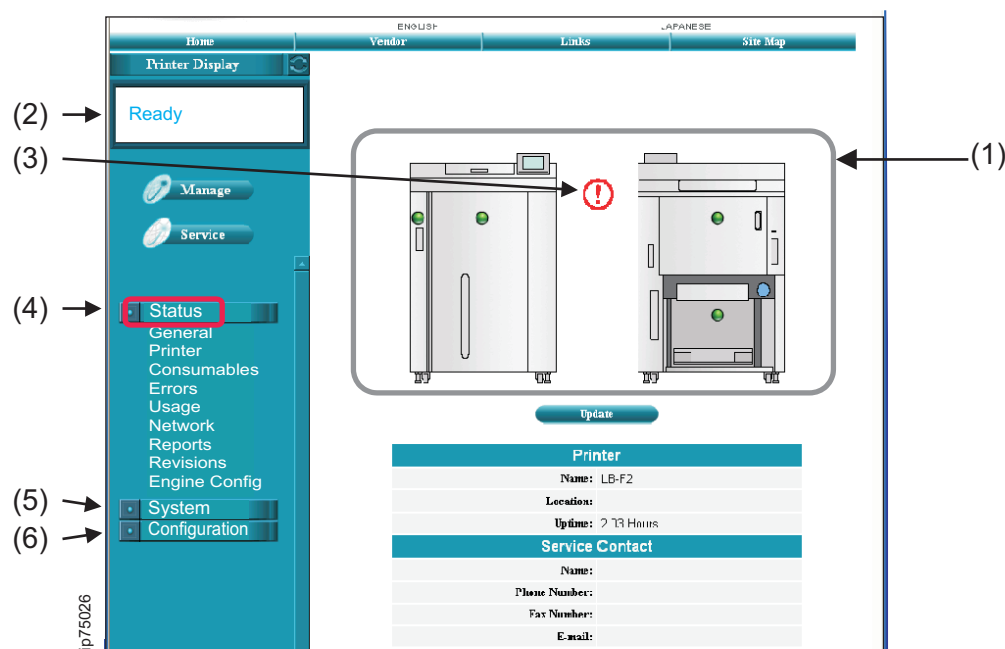


図 4. Web インターフェース - 一般状況

- (1) -- プリンター・アイコンはプリンター・コンポーネントの状況を表示します。緑は通常オペレーションを示し、赤はエラーを示します。状況を更新するには、「更新」をクリックします。
- (2) -- プリンター表示は、OCP に表示されるものと同じメッセージを表示します。
- (3) -- アラート・シンボルは、トナーまたはデベロッパ・ミックスのようなサプライ用品に適用される警告またはエラーを示します。

- (4) -- プリンターに関する詳細状況を表示するには、「状況」メニューから項目を選択します。 21 ページの図 4 に、一般状況情報を示します。その他のオプションでは、用紙設定、サプライ、エラー、プリンター使用量、ネットワーク設定などに関する情報を表示します。
- (5)、(6) -- 「システム」メニューまたは「構成」メニューから項目を選択して、プリンターの管理あるいは構成を行います。『システム・ページの使用』および 31 ページの『構成-イベント』を参照してください。

システム・ページの使用

「システム」ページでは、各種のプリンター値を表示および変更できます。「システム」ページにアクセスするには、「システム」を選択します。ユーザー名およびパスワードのプロンプトが出ます。システム・デフォルトは以下のとおりです。

- ユーザー名: system (すべて小文字です)
- パスワード: 1000

システム-一般

「システム-一般」ページは、PostScript、IPDS、およびその他のオプションの値を設定するために使用します。ジョブに設定されている値は、Web または OCP から設定された値をオーバーライドします。

Web のみの IPDS 設定

「システム-一般」ページでは、OCP からは利用不可の IPDS 値の一部を設定できます。アスタリスク(*)で示された値はデフォルト値です。

表 9. 「IPDS」メニューの値

フィールド	値	説明
エミュレーション・モード	ネイティブ* 4028	使用するエミュレーション・モードを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ネイティブ - InfoPrint 75 または InfoPrint 100 の IPDS エミュレーションを指定します。 • 4028 - 4028 IPDS エミュレーションを指定します。

表9. 「IPDS」メニューの値 (続き)

フィールド	値	説明
デフォルト・コード・ページ	nnnn	<p>デフォルトのコード・ページを指定します。デフォルト値はコード・ページ 037 です。</p> <p>037 US, Canada, Netherlands, Portugal 038 US English ASCII 260 Canadian French 273 Austrian/German 274 Belgium 276 Canadian French 277 Danish/Norwegian 278 Finnish/Swedish 280 Italian 281 Japanese 284 Spanish 285 UK English 286 Austrian/German (alternate) 287 Danish/Norwegian (Alternate) 288 Finnish/Swedish (Alternate) 290 Japanese/Katakana 297 French 420 Arabic 423 Greek 424 Hebrew 500 Belgium, Switzerland / International 870 Latin 2 Multilingual 871 Icelandic 875 Greek 880 Cyrillic 892 OCR - A 893 OCR - B 905 Turkish 1025 Cyrillic 1026 Turkish</p> <p>The following code pages include the Euro character: 1140 - US, Canada, Netherlands, Brazil, Portugal 1141 - Austrian/German 1142 - Danish/Norwegian 1143 - Finnish/Swedish 1144 - Italian 1145 - Spanish 1146 - UK English 1147 - French 1148 - Belgium, Switzerland/International 1149 - Icelandic</p>
デフォルト FGID	nnnnn	<p>デフォルトの FGID (フォント字体グローバル ID (Font Typeface Global Identifier)) を指定し、この ID がプリンターが使用するデフォルトの常駐フォントを識別します。デフォルトの FGID は 416 で、これは Courier 10 ポイントをデフォルトの常駐フォントとして指定します。</p> <p>プリンターがサポートするフォントおよび FGID のリストを表示するには、IPDS 常駐フォントのリストを印刷します。</p>
文字数/インチ	nn.n	<p>デフォルトのフォントに対する文字数/インチ (ピッチ) を指定します。有効な値は、5.0 から 30.0 (1 インチ の 1/10 単位) です。デフォルト値は 10 です。</p>

表9. 「IPDS」メニューの値 (続き)

フィールド	値	説明
有効印刷域チェック	有効* 無効	<p>有効印刷可能域チェックをオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 有効 - プリンターは、論理ページと物理ページの交差する線の外側になるピクセルがないかチェックします。ピクセルが領域の外側にある場合で、IPDS の例外処理制御 (Exception Handling Control) コマンドの設定がエラー報告を要求している場合、プリンターはホストに対してエラーを報告します。 • 無効 - 有効な印刷可能域の外側のピクセルをプリンターは報告しません。

表9. 「IPDS」メニューの値 (続き)

フィールド	値	説明
ページ	全体* Comp1 Comp2 印刷	<p>データがページにどのように配置されるかを決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体 - IPDS のページ全体 (デフォルト)。プリンターは、ページを移動したり圧縮したりしません。これが望ましい方式です。すべてのページ位置決めおよびフォーマット設定は、ホスト上のアプリケーション・レベルで行われます。印刷、Comp1、および Comp2 オプションでは、ページの外觀が変更されたり、以前に使用されていた製品 (たとえば、3116、3916) との互換性が失われたりする可能性があります (特に、両面印刷およびその他の IPDS メニューのページ・フォーマット調整と結合されたとき)。印刷、Comp1、および Comp2 は、ライン・プリンター・ジョブを端から端の印刷が不可能なページに収めるために組み込まれていますが、新規アプリケーションを生成するときに使用することは推奨されません。 印刷 - IPDS 印刷ページ。ページ起点が印刷不能領域にある場合、ページの起点を最も近い印刷不能領域の境界線の内側の端に移動します。起点が印刷不能領域の 2 つの端の外側にある場合は、印刷不能領域に最も近い内側のコーナーに移動します。起点が印刷不能領域の片方の端の外側にある場合は、その領域のみを避けるように起点が調整されます。 <p>位置の調整が行われると、印刷されるページは調整された方向にシフトします。圧縮は行われなため、反対側の端のデータがページの外に押し出される場合があります。</p> <p>注: 「印刷」が機能するためには、端-端設定オフ (Edge-Edge set Off) にする必要があります。この印刷不能領域に配置されたすべてのデータは失われます。また、「印刷」はメディア・オーバーレイ (基本ページの一部としてのオーバーレイで、可変印刷データに組み込まれているオーバーレイではない) では機能しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> Comp1 - Comp1 フォーマットは、「印刷」ページをベースとして使用し、IPDS Begin Line コマンドで生成されるテキスト行の間のスペースを圧縮します。主な目的は、Begin Line テキスト・データを圧縮して、印刷不能境界線のあるページ内に収めることです。 Comp2 - Comp2 フォーマットは、「印刷」ページをベースとして使用し、圧縮 IPDS Begin Line コマンド (Comp1 を参照) および垂直テキスト位置決めコマンドの Absolute Move Baseline、Relative Move Baseline、Draw B Axis Rule、Draw I Axis Rule を追加します。 <p>注: Comp1 または Comp2 を選択し、画像、グラフィックス、またはバーコードとテキストが混用されているジョブを印刷すると、位置合わせに関する問題が発生することがあります。この問題は、テキスト位置決めコマンドを使用してテキスト領域をまたぐ場合、または非テキスト (画像、グラフィック、またはバーコード) 領域まで移動する場合に発生します。</p> <p>Comp1 および Comp2 の両方は、テキストの行送りのみを縮小し非テキスト・データには影響を与えません。この問題を最小化するためには、Comp1 を選択します。理由は、Begin Line コマンドをテキストをまたぐように、または非テキスト領域まで移動するように通常は使用しないためです。ただし、圧縮したいアプリケーションが Begin Line コマンドを使用していない場合は、Comp2 を選択すべきです。</p>

表9. 「IPDS」メニューの値 (続き)

フィールド	値	説明
代替フォント	オフ* オン	<p>代替フォントをオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オフ - ジョブがプリンターにロードされていないフォントを要求した場合、プリンターは IPDS NACK メッセージを生成し、ホストはジョブを保留します。 ・ オン - ジョブがプリンターにロードされていないフォントを要求した場合、プリンターは他のフォントと置換を試みます。
解像度	300* 600 Auto 240	<p>ラスター・コード化フォントおよび IM1 イメージ・サポートの IPDS XOA-OPC コマンドに対してホストに報告される解像度を指定します。「解像度」メニュー項目は、プリンター常駐ラスター・フォントを活動化するかどうかの決定にも役立ちます。たとえば、240 dpi ラスター・フォントは 240 設定で活動化され、300 または 600 では活動化されません。「解像度」メニュー項目は、アウトライン・フォントには影響せず、一時的に活動化されるフォントとしてどのラスター・フォントがプリンターにダウンロードできるかに関しても影響しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 300 - プリンターが 300-dpi ラスター・フォントおよび IM1 イメージをサポートすることをホストに報告します。その他の解像度の常駐または取り込みラスター・フォントは、一致する「フォント解像度」および「メトリック・テクノロジー・トリプレット」が提供され活動化要求されていない限り、活動化されません。 ・ 600 - プリンターが 600-dpi ラスター・フォントおよび IM1 イメージをサポートすることをホストに報告します。その他の解像度の常駐または取り込みラスター・フォントは、一致する「フォント解像度」および「メトリック・テクノロジー・トリプレット」が提供され活動化要求されていない限り、活動化されません。 ・ 240 - プリンターが 240-dpi ラスター・フォントおよび IM1 イメージをサポートすることをホストに報告します。その他の解像度の常駐または取り込みラスター・フォントは、一致する「フォント解像度」および「メトリック・テクノロジー・トリプレット」が提供され活動化要求されていない限り、活動化されません。 ・ 自動 - プリンターがすべての dpi ラスター・フォントおよび IM1 イメージをサポートすることをホストに報告します。すべての解像度の常駐または取り込みラスター・フォントの活動化は、一致する「フォント解像度」および「メトリック・テクノロジー」が必ず付随している必要があります。そうでない限り活動化は成功しません。
図形文字ストリング	自動* 文字スケール フォント活動化	<p>図形文字ストリング (図形文字のサイズ変更) 処理を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 - プリンターが IPDS メニューの「エミュレーション」項目 (ネイティブまたは 4028) で指定された値を使用することを指定します。 ・ 文字スケール - 4028 IPDS エミュレーションを指定します。文字スケールは、その時点で活動化されているフォントの文字を拡大縮小して、グラフィックス・テキスト文字を印刷します。「文字セル・サイズ」は GOCA データ・ストリームで定義されます。DBCS では無効です。 ・ フォント活動化 - ネイティブ IPDS エミュレーションを指定します。フォント活動化は、その時点で活動化されているフォントから、フォントの活動化されているサイズで、拡大縮小を行わずに、グラフィックス・テキスト文字を印刷します。GOCA データ・ストリームの「文字セル・サイズ」情報は無視されます。

表9. 「IPDS」メニューの値 (続き)

フィールド	値	説明
バーコード	自動* 4028 ネイティブ	<p>バーコード・レベルのプロトコルを以下のように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動 - プリンターが IPDS メニューの「エミュレーション」項目 (ネイティブまたは 4028) で指定された値を使用することを指定します。 • 4028 - 4028 IPDS エミュレーションを指定します。 • ネイティブ - InfoPrint 75 または InfoPrint 100 の IPDS エミュレーションを指定します。
ボックス描画	オフ* オン	<p>ボックス描画処理を以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ - ボックスの描画をするために、文字がフォントで定義されているのと同様に、アウトライン・フォントの「シンボル・セット」文字を使用します。 • オン - 「シンボル・セット・ボックス」文字を描画するために、特殊なアウトライン・フォントを使用します。「オン」は、特殊なラスター・フォントが、拡張された長さのボックス文字を使用していた従来のアプリケーションを実行する場合に、一部のギャップを塗りつぶすために使用されることがあります。
カラー・シミュレーション	精度* レガシー	<p>単色プリンターにおいて、カラー仕様制御がどのように処理されるかを指定できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 精度 - プリンターがすべてのカラー仕様制御を受け入れ、固有の色をグレイの陰影でシミュレートすることを指定します。これはデフォルトです。 • レガシー - プリンターはすべてのカラー仕様制御を受け入れるが、限定された色だけのシミュレーションを黒を使用して行うことを指定します。
テキスト・カラー・シミュレーション	オフ オン*	<p>単色プリンターにおいて、テキストのカラー仕様制御が処理される方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン - プリンターがすべてのテキスト・カラー仕様制御を受け入れ、固有の色をグレイの陰影でシミュレートすることを指定します。これはデフォルトです。 • オフ - プリンターがすべてのテキスト・カラー仕様制御を受け入れるが、限定された色だけのシミュレーションを黒を使用して行うことを指定します。 <p>注: このメニュー項目は、「カラー・シミュレーション」モードが「精度」モードに設定されている場合のみ選択可能です。</p>

表9. 「IPDS」メニューの値 (続き)

フィールド	値	説明
取り込みおよび印刷	有効 無効*	<p>「取り込みおよび印刷」を有効にすると、すべてのインバウンドおよびアウトバウンド・データを保管します。IPDS セッションで取り込まれるデータは、以下の 2 つのファイルで構成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イン・データ - クライアントからプリンターに送信されたデータが、<code>printjob.bin</code> と名前が付けられたファイルに書き込まれます。 • • アウト・データ - プリンターからクライアントに送信されたデータ (存在すれば) が、<code>backchan.bin</code> と名前が付けられたファイルに書き込まれます。 <p>「取り込みおよび印刷」は、プリンターの電源をオフにすると自動的に「無効」に設定されます。</p> <p>注: 「取り込みおよび印刷」および「IPDS トレース」で作成されるファイルの最大データ・サイズは、ディスクの残りの容量に応じて、約 2GB です。トレースは、ディスクがフルになると停止します。</p>
IPDS トレース	有効 無効*	<p>IPDS トレースを有効にすると、IPDS インタープリター処理データを <code>ipdsbin.hrb</code> と名前が付けられたファイルに保管します。「IPDS トレース」は、プリンターの電源をオフにすると自動的に「無効」に設定されます。</p> <p>注: 「取り込みおよび印刷」および「IPDS トレース」で作成されるファイルの最大データ・サイズは、ディスクの残りの容量に応じて、約 2GB です。トレースは、ディスクがフルになると停止します。</p>

システム-仮想プリンター

この「システム-仮想プリンター」は、仮想プリンターの設定を構成するために使用します。「仮想プリンター」は、ネットワーク上のプリンターとして表示されます。InfoPrint 75/100 では複数の仮想プリンターが定義できるため、これらの仮想プリンターは、InfoPrint 75/100 が単一の物理プリンターを使用して、複数の印刷サービスを提供することを可能にします。図 5 に、仮想プリンター・ページを表示します。

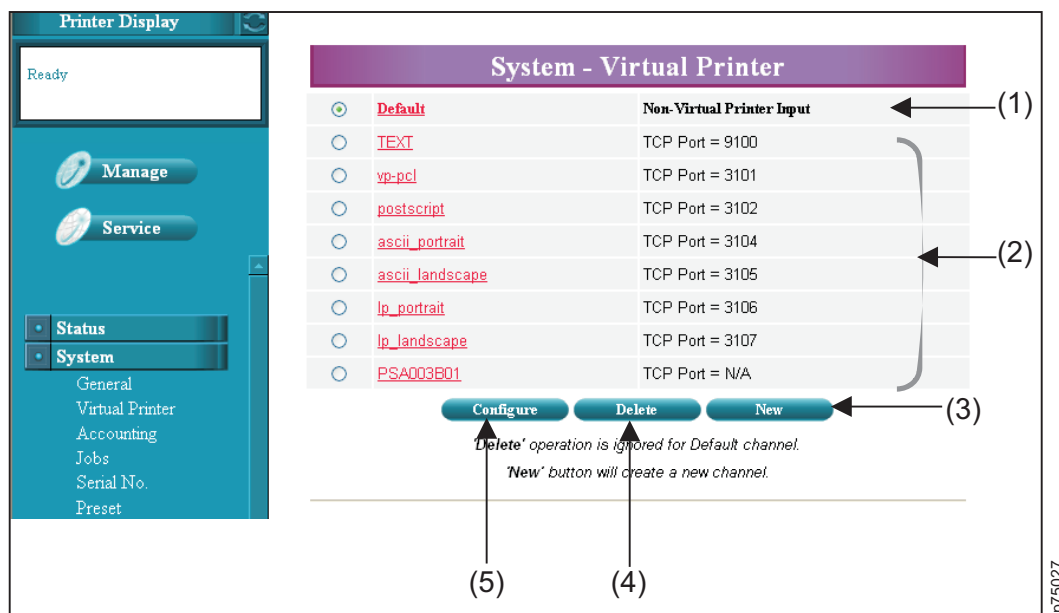


図 5. Web インターフェース - 仮想プリンター

- (1) -- デフォルト・プリンターは、パラレル・チャンネル経由のデータを受信します。このチャンネルは、ネットワークでは認識されません。
- (2) -- vp-pcl から ip-landscape は、出荷時設定の仮想プリンターです。初期設定を以下に示します。(実際の値は、どのネットワーク・インターフェースがアクティブかに依存することに注意してください。)

仮想プリンター	プロトコル	エミュレーション	注釈
TEXT	TCP/IP	自動選択	TCP ポート = 9100
vp-pcl	TCP/IP	PCL	TCP ポート = 3101
Postscript ¹	TCP/IP	Postscript	TCP ポート = 3102
ascii_portrait	TCP/IP	PCL	TCP ポート = 3103、用紙の向き = ポートレイト
ascii_landscape	TCP/IP	PCL	TCP ポート = 3104、用紙の向き = ランドスケープ
lp_portrait	TCP/IP	PCL	TCP ポート = 3105、用紙の向き = ポートレイト
lp_landscape	TCP/IP	PCL	TCP ポート = 3106、用紙の向き = ランドスケープ
PSAxxxxx*1	AppleTalk	Postscript	Xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です

¹ PostScript がインストールされたモデル専用です。

- (3) -- 新規仮想プリンターを作成するには、「新規作成」を押します。
- (4) -- 仮想プリンターを削除するには、「削除」を押します。

- **(5)** -- 仮想プリンターまたはパラレル・チャンネルの値を変更するには、「**設定**」を押します。仮想プリンターの値について、以下に説明します。

一般セットアップ・ページ

- 仮想プリンター名
- エミュレーション - AutoSelect、PostScript、または PCL が可能です。**PCL** または **PostScript** を選択すると、仮想プリンターは選択されたタイプのジョブのみを処理します。
- プロトコル - プロトコルを有効または無効に設定し、TCP ポート番号を指定します。
- スプーリング
 - なし: データは、受信した順序で処理され印刷されます。
 - LPD のみ / Raw Socket のみ / LPD および Raw Socket: 選択されたプロトコルで送信されたデータは、処理される前にプリンターのハード・ディスクに一時的に保管されます。
 - ファイルに取り込み: ジョブはプリンターのハード・ディスクに保管され、印刷されません。

PostScript セットアップ・ページ (PostScript ジョブの値が、ここで設定する値をオーバーライドすることに注意してください)

- PostScript 入出力モード - PostScript データが、バイナリー (未加工)、タグ付きバイナリー・データ (TBCP)、または標準かを指定します。

PCL セットアップ・ページ (PCL ジョブの値が、ここで設定する値をオーバーライドすることに注意してください)

- ページの向き
- ページ長
- 行の終了
- 行の折り返し
- フィックス・オリエンテーション
- 2 アップ
- 上部マージン
- 下部マージン・フォント

用紙処理セットアップ・ページ (ジョブの値が、ここで設定する値をオーバーライドすることに注意してください)

- 用紙の長さ
- 用紙の幅
- コピー
- 丁合い

システム-印刷履歴

「システム-印刷履歴」ページは、トナー・カバレッジ、印刷済みジョブの数、および印刷済みの用紙の枚数 (11 インチ用紙長をベース) に関する情報を提供します。

印刷履歴情報のファイルをダウンロードするには、ダウンロード・アイコンを右クリックし、「**対象をファイルに保存**」を選択します。

システム-ジョブ

「システム-ジョブ」ページは、ジョブ状況を表示し、ユーザーによるジョブのキャンセルを可能にします。ジョブによっては、正確な状況を表示しないことがあります。

システム-シリアル番号

「システム-シリアル番号」ページは、プリンター・コントローラーのシリアル番号を表示します。

システム-プリセット

「システム-プリセット・ファイル」は、用紙登録 (プリセットとも呼ばれます) の管理を可能にします。プリセット用紙を Web から適用すると、OCP でロードした値をオーバーライドします。

「システム-プリセット」の登録/検索は、用紙位置決めで作成および更新を可能にします。用紙登録情報には、番号、名前、説明、用紙の長さ、用紙の幅、開始印刷位置の調整、および IPDS ジョブのホスト・セットアップ ID が含まれます。ホスト・セットアップ ID は、プリンターにロードされた用紙がプリンターに送られる印刷ジョブにとって正しい用紙であるかどうかをホスト・システムに知らせるために、企業単位で定義します。ロードされた用紙が、そのホスト・セットアップ ID によって要求された用紙であれば、ジョブはプリンターに送信されます。ロードされた用紙が、そのホスト・セットアップ ID によって要求された用紙でなければ、エラー・メッセージがホスト・システムのコンソールに送られます。

構成ページの使用

構成ページを使用すると、システム管理者は各種のプリンター値が構成できます。

構成-一般

カスタマー情報、プリンター情報、サービスおよび連絡先情報が表示および構成可能です。

構成-イベント

エラーが発生した場合、トナー量が低下した場合、または印刷履歴期間が終了する場合の E メール通知をセットアップします。

構成-構成

「構成-構成」ページを使用すると、Web アクセス用のパスワードおよびその他のシステム情報が定義できます。

構成-通信

「構成-通信」ページを使用すると、パラレル・チャネル、TCP/IP、および AppleTalk に関する値をセットアップできます。

第 4 章 用紙を操作する




用紙の取り扱いにおける予防措置

以下のガイドラインに従って、印刷品質の改善および紙詰まりの防止の支援としてください。

- 仕様に準拠した用紙を使用してください。 97 ページの『付録 C. 用紙の仕様』を参照してください。
- カバーを開けたまま印刷しないでください。
- 印刷を開始する前に必ず用紙送りユニットを閉じます。
- 用紙を正しくロードします。
- 「FORMS WIDTH」レバーおよび「FORMS LENGTH」ノブを使用して、正しい用紙の幅および用紙の長さを確実にセットします。
- 印刷する前に、用紙をプラスチックの包装材から取り出します。
- 用紙が HR ユニットを通過するまで印刷出力には触らないでください。
- 印刷済み用紙をプリンター内で移動させるときは、NPRO 機能を使用します。PF パネル上の FORWARD スイッチを使用すると、トナーが用紙に融着されず、プリンターが汚染されます。
- FORMS SELECT を正しくセットします。
- 印刷後 30 分間プリンター内に残された用紙は、熱により変色することがあります。プリンターを使用しないときは用紙をプリンターから取り出すか、印刷を再開する前に変色した用紙を順方向に送ります。
- 用紙ホッパーおよびスタッカーの容量を超えないようにします。
- プリンターが省電力モードになっている場合は、カバーを開けない、用紙送りユニットを開けない、あるいはホッパーまたはスタッカーから用紙を引き出さないようにしてください。

用紙を登録する

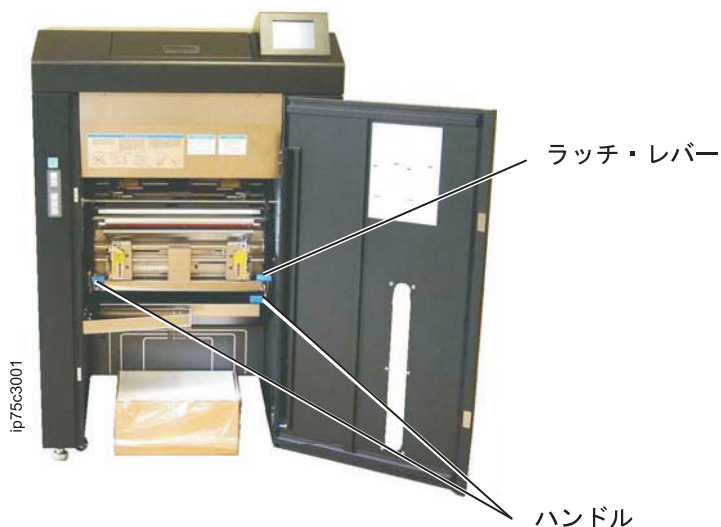
用紙の登録は、用紙をプリンターに対して定義することが基礎になります。この定義には、長さ、幅、および開始印刷位置の調整が含まれます。最大で 99 個の用紙登録 (プリセットとも呼ばれます) が作成可能です。デフォルトで、プリンターにはいくつかの定義が組み込まれています。

- 現行の用紙登録を表示するには、プリセット値登録またはプリセット値指定メニューのどちらかで「インフォメーション」() を押します。
- 用紙登録を選択するには、以下のようになります。
 1. プリンター設定メニューから「用紙設定」を選択します。
 2. 「プリセット値指定」を選択します。
 3. 登録したい用紙登録を選択してから、実行 () を押します。
- 新規の用紙登録を作成するには、以下のようになります。
 1. プリンター設定メニューから「用紙設定」を選択します。
 2. 「プリセット値登録」を選択します。
 3. 番号、幅および長さを指定し、オプションとして開始印刷位置への調整を指定します。次に、実行 () を押します。

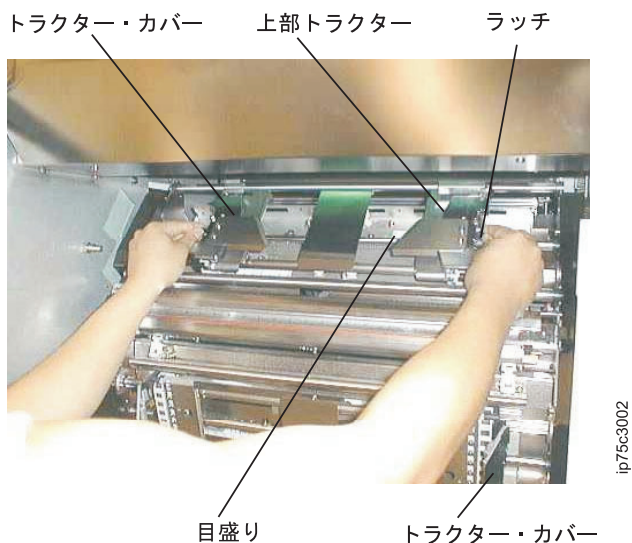
用紙をセットする

以下の手順に従って用紙をロード (セット) します。

1. 前面カバーを開きます。
2. 用紙送りユニットのハンドルをつかみ、ラッチ・レバーのロックを解除して、用紙送りユニットを開きます。



3. 印刷面がプリンターの前面を向くように用紙を置きます。用紙の入った箱を中央に置き、箱の背面が用紙ホッパーの奥側に当たるようにします。プリンター上のラベルを確認します。
4. 上部トラクター・ラッチの両端のロックを解除します (両方のノブが上を向きます)。トラクターを正しい用紙幅に調整します。

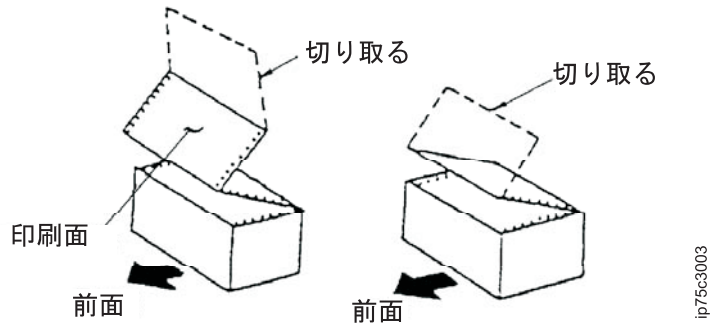


5. 下のトラクターを正しい用紙幅に調整します。
6. 上部および下部のトラクター・カバーを開きます。

注: トラクター・カバーを開くときにトラクターを動かさないでください。

7. 最初の用紙を以下のようにして取り付けます。

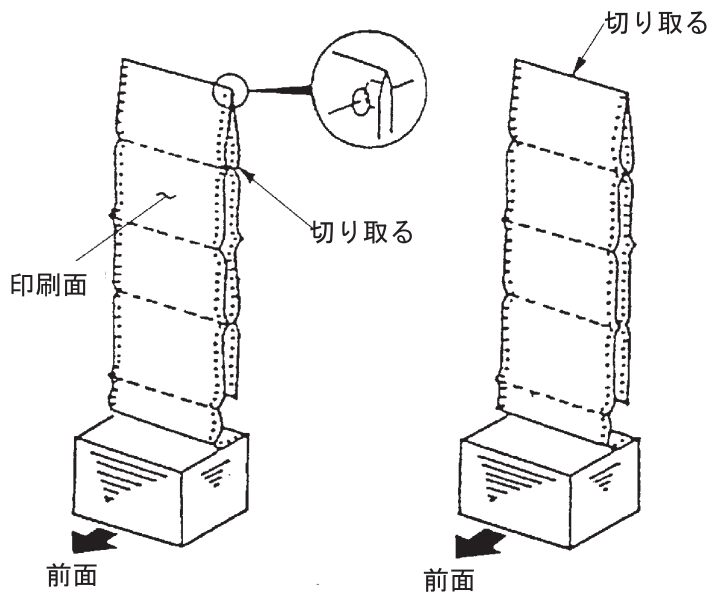
- 用紙の長さが 1/2 インチの倍数の場合



90 kg 未満の連量 90 kg 以上の連量

ip75c3003

- 用紙の長さが 1/2 インチの倍数でない場合

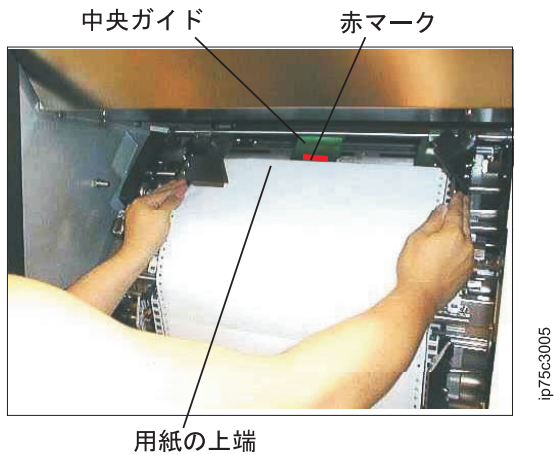


90 kg 未満の連量 90 kg 以上の連量

ip75c3004

注:

- 用紙をマシン目で切り取ります。
 - 用紙に切り取り断片を残さないようにします。
 - 用紙の端を折り返さないでください。
8. 用紙の上端を中央ガイドの赤マークに位置合わせします。用紙の送り穴をトラクターのピンにはめて、用紙のテンションを調整します。 39 ページの『用紙テンションを調整する』を参照してください。



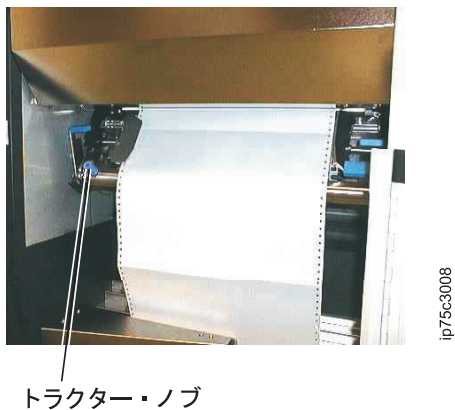
9. 上部トラクター・カバーを閉じます。



10. 用紙送りユニットのハンドルを持ち上げて、ラッチがロックするまで閉じます。

注: 18 インチ (457.2mm) 幅の用紙の場合、用紙を用紙送りユニットのハンドルの下にします。そうしないと、用紙がからむことがあります。

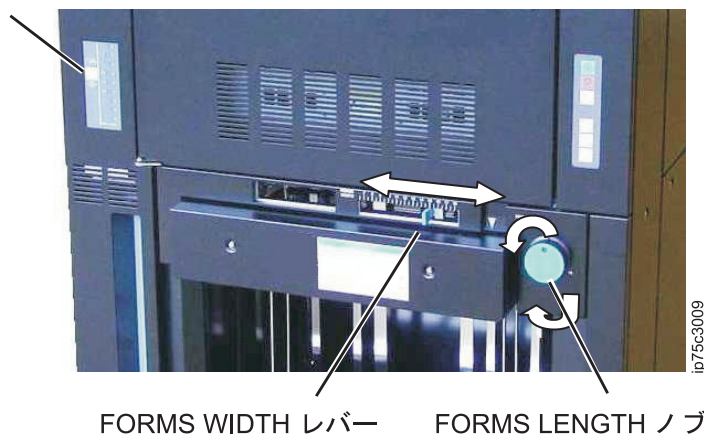
11. 用紙の送り穴を下部トラクターのピンにはめます。上部トラクターおよび下部トラクターの間でたるみがないようにします。トラクター・ノブを使用して、トラクターの幅を正確に調整します。大きな調整が必要な場合は、39 ページの『用紙テンションを調整する』を参照してください。



12. 下部トラクター・カバーを閉じます。
13. 前面カバーを閉じます。

14. スタッカートの FORMS WIDTH レバーを使用して、用紙幅をセットします。FORMS LENGTH ノブを使用して、用紙の長さをセットします。

FORMS LENGTH パネル



注: 長さおよび幅が正しくセットされているか確認します。

15. ST パネルまたは PF パネルのどちらかで「**AUTO LOAD**」を押します。短いピープ音が鳴るのは、プリンターが用紙をロードする準備をしていることを表します。ピーパーがオフになれば、ロードは成功です。ピープ音が長くなる場合、問題があることを表します。

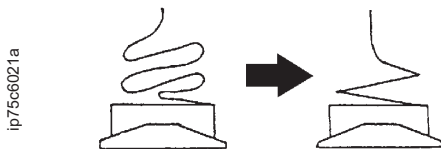
注:

- 「**AUTO LOAD**」を押す前にスタッカー・テーブルの上に用紙が無いことを確認します。用紙が残っていると、印刷の問題および紙詰まりが発生することがあります。
- 幅の広い用紙では、用紙をロードするまでに最大 3 分間プリンターが一時停止する場合があります。
- 以下の状態はオートロードが失敗する原因となることがあります。その状態を修正してから、オートロードを再試行してください。

原因	処置
カバーが開いている。	カバーを閉じてください。
送りユニットが開いている。	送りユニットを閉じてください。
用紙が正しくセットされていない。	用紙が用紙ガイドの間を通り、用紙の穴がトラクター・ピンにはまっていることを確認してください。
前に使用した用紙がプリンターに残されている。	前の用紙をプリンターから除去します。
自動的に用紙をロードするとき頻りに障害が発生する。	<ul style="list-style-type: none"> 連量が 90 kg 以上の場合でも、連量が 90 kg 以下の場合と同様に、最初の用紙を折り返してからトラクターに取り付けてください。 最初の用紙が反り返っていないか確認します。

16. 印刷を開始する前に、以下を行ってください。

- 停止位置を確認します。42 ページの『用紙の停止位置を確認する』を参照してください。
- PF パネル上の「FORMS SELECT」スイッチのランプ・インディケータが、用紙の連量と一致しているか確認します。A は 55-71 kg の用紙連量で、B は 72-135 kg の用紙連量です。正しくない場合は、「FORMS SELECT」を押して正しくセットします。
- 用紙が正しく折り畳まれていることを確認します。



17. OCP を使用して、用紙サイズをセットします。11 ページの『用紙の構成』を参照してください。

用紙削減オートロードを使用して用紙をセットする



ユーザーは 2 つの用紙オートロード方式 (標準と用紙削減) を選択できます。用紙削減は、用紙をオートロードするごとに 1 または 2 枚の用紙を節約できますが、オートロード処理時にいくつかのステップを追加して行う必要があります。

1. プリンター設定メニューから「オプション」を選択します。
2. 「オートロード」が表示されるまで、「次の画面」 (▶) を押します。
3. 「オートロード制御」を選択してから、「用紙削減」を選択します。
4. 34 ページの『用紙をセットする』に記載されているオートロード手順を実行します。
5. 数ページを印刷します。数ページが印刷されると、以下のメッセージが表示され、プリンターが停止します。

Stacker Not Ready/Check Forms in Stacker E02C

6. スタッカー内の用紙をチェックし、折り畳みが正しいか確認します。**実行** を押して、メッセージをクリアします。別のメッセージが表示されます。

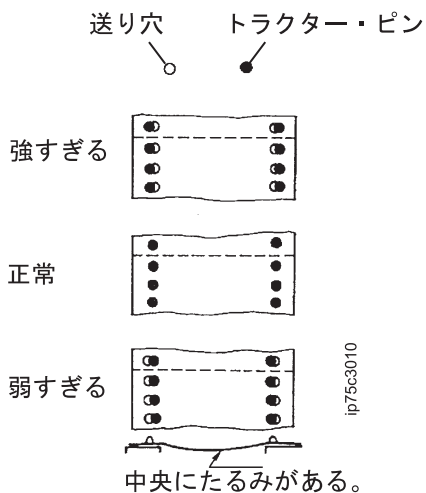
Swing Fin Not Ready/Press Forms Set Switch E012

7. FORMS SET () を押して、用紙の折り畳みの方向を指定します。
8. **実行** () を押して、メッセージをクリアします。

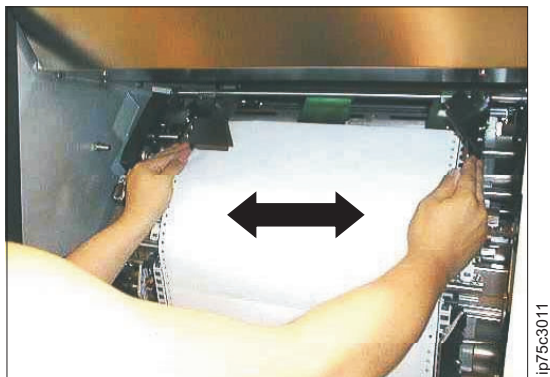
用紙テンションを調整する

次の手順で、トラクターにセットされた用紙のテンションを確認および調整する方法を説明します。

1. 上部および下部のトラクター・カバーを開きます。
2. 用紙の穴がトラクター・ピンにぴったりとはまっていることを確認します。穴が伸びている場合は、テンションが強すぎます。用紙の中央にたるみがある場合は、テンションが弱すぎます。



3. 以下のようにして、テンションを調整します。
 - a. 上部トラクターのラッチのロックを解除します (ノブが上を向きます)。
 - b. テンションを弱めるにはトラクターを内側にスライドし、テンションを強めるには外側にスライドします。下部トラクターの調整は、トラクター・ノブを使用して行います。
 - c. 上部トラクターのラッチを閉じます。



4. 上部および下部のトラクター・カバーを閉じます。

用紙を除去する

以下の手順で、スタッカーから用紙を取り外す方法を説明します。



<9-14>

注意:

危険な可動部品。スタッカー・テーブルが稼働中は、指、手、およびその他の身体部分をスタッカー・テーブルに近づけないでください。


CAUT0914

ホッパー・サイドで用紙を切り取る場合は、以下のようにします。

1. 前面カバーを開きます。
2. 用紙送りユニットと用紙箱の間のミシン目で、用紙を切り離します。

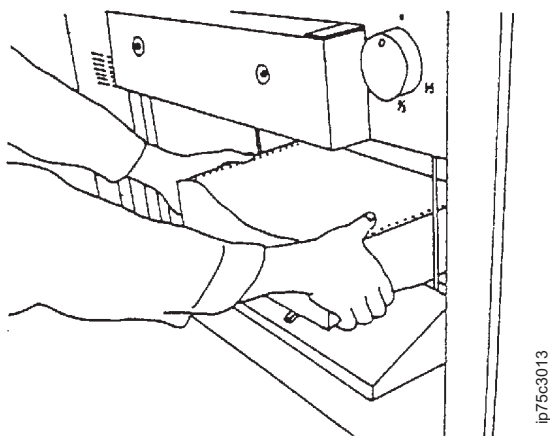


切り取り位置

3. 「**NPRO**」  を押して用紙を送ります。

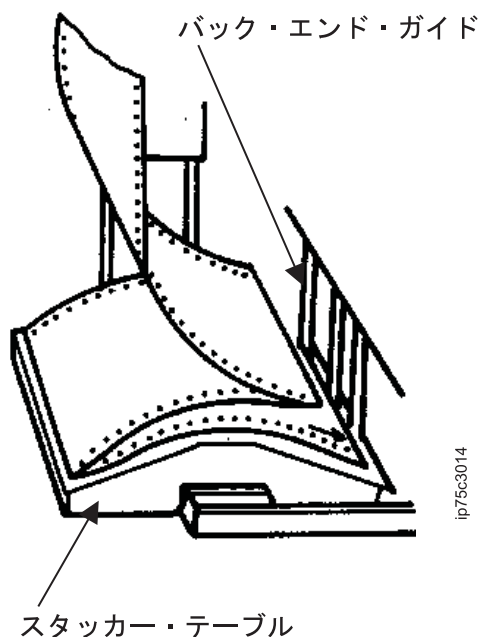
4. ST パネルの **DOWN** を押して、スタッカー・テーブルを下げます。

5. 用紙をスタッカー・テーブルから取り出します。



スタッカー・サイドで用紙を切り取る場合は、以下のようにします。

1. ST パネルの **DOWN** を押して、スタッカー・テーブルを下げます。
2. 複数のページがスタッカー・テーブルに残るように、ミシン目で用紙を切り離します。用紙をスタッカー・テーブルから取り出します。
3. 図のように用紙を折り畳みます。用紙の上部端が均等にバック・エンド・ガイドに当たるようにします。

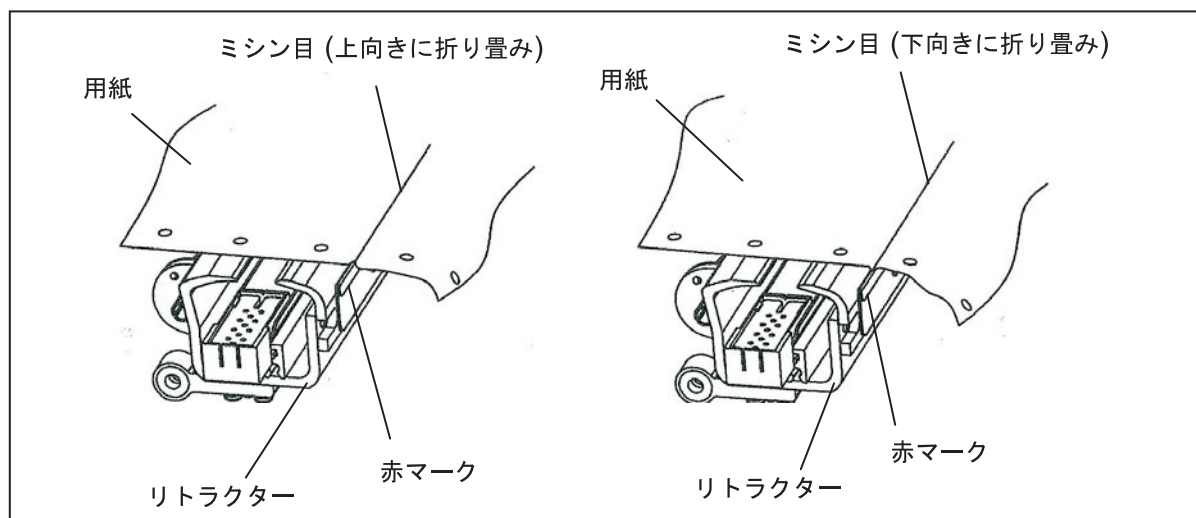


4. ST パネルの **UP** を押して、スタッカー・テーブルを上げます。用紙が飛び出した場合は、ST パネルの **STOP** を押して、スタッカー・テーブルを停止します。用紙を調整し直してから、**UP** をもう一度押します。

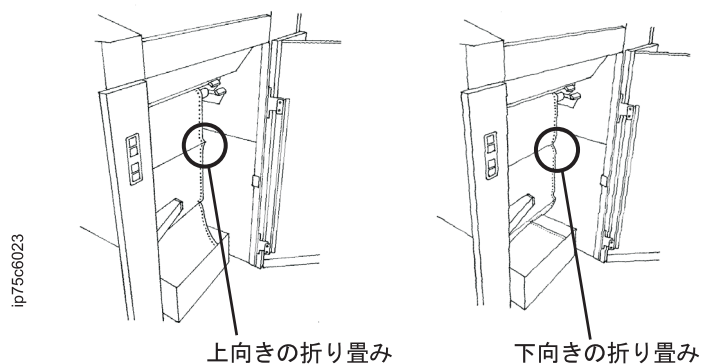
用紙の停止位置を確認する


印刷位置が送り方向に 1/6 インチ以上ずれている場合は、以下の手順に従って用紙の停止位置を調整します。(紙詰まりがある場合は、66 ページの『紙詰まりのクリア』の手順に従ってください。)

1. ゆっくりと用紙送りユニットを開きます。
2. 用紙のミシン目がリトラクター上の赤マークに合っているか確認します。合っている場合は、用紙の停止位置は正しいです。合っていない場合は、用紙のミシン目が赤マークに合うまで PF パネルの **FORWARD** または **REVERSE** を押します。



3. 用紙送りユニットを閉じます。
4. 用紙送りユニットの外側にある最初の折り畳みが上向きか下向きかを判別します。



5. PF パネルの **FORMS SET** () を押して、スイッチのランプ・インディケーターを上向き (Upward) または下向き (Downward) にセットします。折り畳みとランプ・インディケーターが一致している場合は、**FORMS SET** を 2 回押します。

印刷位置を確認する

次の手順に従って、印刷位置の確認と調整を行います。

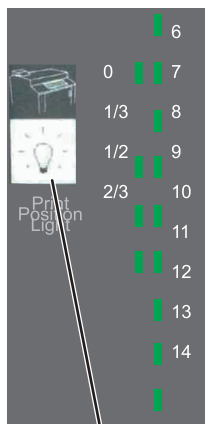
手順 A

1. 用紙をロードします。
2. テスト・ジョブを数ページ印刷します。
3. ST パネルの **DOWN** を押して、スタッカー・テーブルを下げます。
4. 印刷結果を確認します。
5. ST パネルの **UP** を押して、スタッカー・テーブルを上げます。
6. 印刷位置がずれている場合は、以下のようにします。
 - a. プリンター設定メニューから「**用紙設定**」を選択します。
 - b. 「**調整**」を選択します。
 - c. 必要に応じて開始印刷位置を調整してから、**実行 (■)** を押します。

手順 B

1. 用紙をロードします。
2. テスト・ジョブを数ページ印刷します。
3. 印刷位置チェック・ウィンドウを通して結果を確認します。暗くて見にくい場合は、**PRINT POSITION LIGHT** を押します。

印刷位置チェック・ウィンドウ



PRINT POSITION LIGHT スイッチ

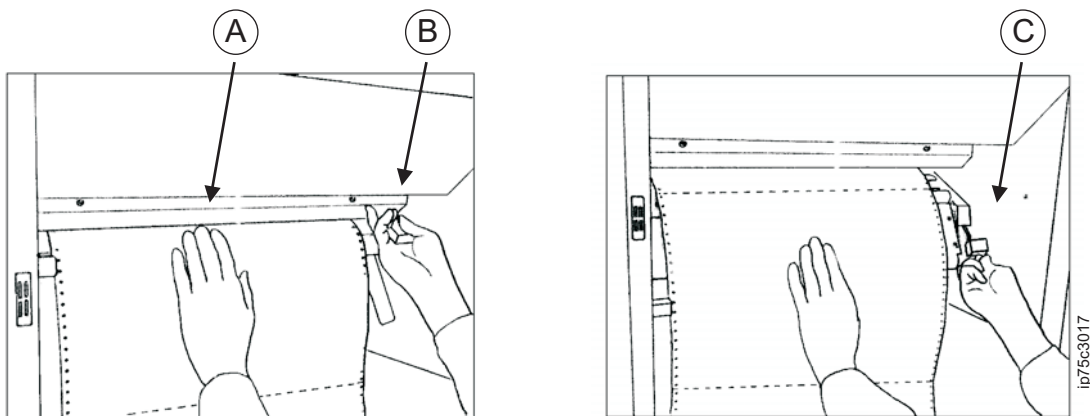


ip75c3016

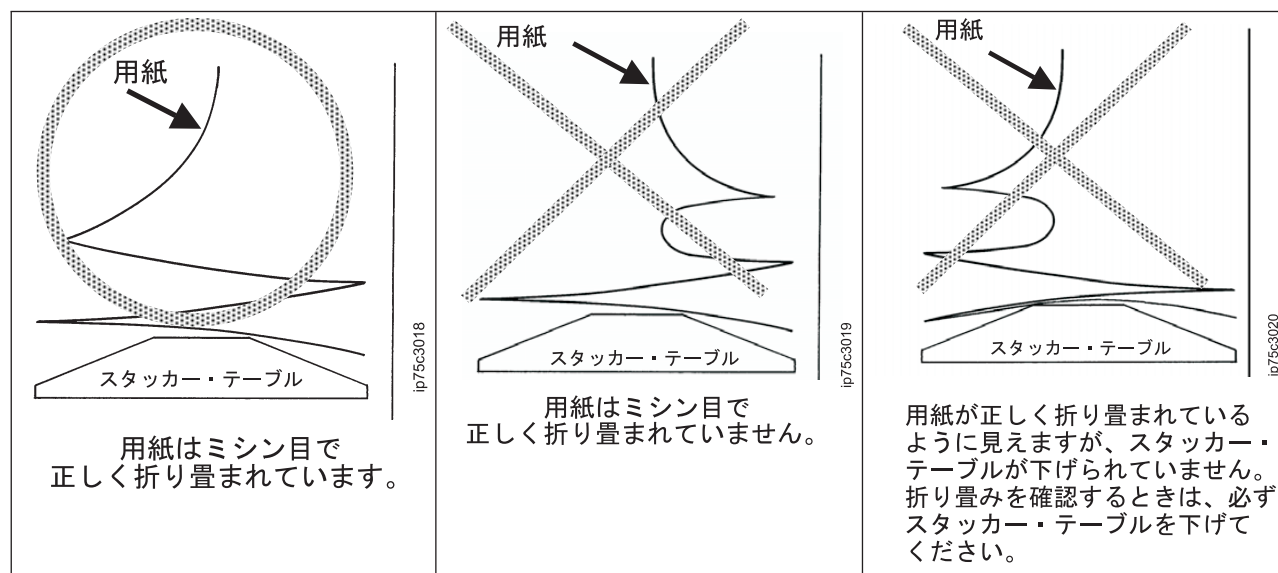
4. 印刷位置がずれている場合は、以下のようにします。
 - a. プリンター設定メニューから「用紙設定」を選択します。
 - b. 「調整」を選択します。
 - c. 必要に応じて開始印刷位置を調整してから、**実行 (■)** を押します。
5. この方法が有効でない場合は、手順 C を試します。

手順 C

1. 用紙をロードします。
2. テスト・ジョブを数ページ印刷します。
3. 前面カバーを開きます。
4. 用紙を慎重に押し下げて (A)、用紙送りユニットをゆっくりと開きます (B および C)。用紙を押し下げると用紙がからんだり傷ついたりするのを防止しますが、このときトナーを汚さないように注意してください。



5. 用紙の停止位置を確認します。42 ページの『用紙の停止位置を確認する』を参照してください。印刷位置がずれている場合は、用紙を再ロードします。
6. 印刷位置がずれている場合は、46 ページの『印刷位置を調整する』を参照してください。
7. 用紙送りユニットを閉じます。用紙送りユニットの両方のハンドルを持ち、ロックするまで閉じます。用紙送りユニットが正しく閉じられていないと、ジャムが発生することがあります。
8. 前面カバーを閉じます。
9. 用紙の折り畳みを確認します。スタッカー・テーブルを中間点の位置まで下げて、用紙の折り畳みが正しいことを確認します。必要な場合は折り畳みを調整してから、スタッカー・テーブルを上げます。



印刷位置を調整する

次の手順で、印刷位置を調整する方法を説明します。

1. プリンター設定メニューから「用紙設定」を選択します。
2. 「調整」を選択します。
3. 必要に応じて開始印刷位置を調整してから、**実行** (■) を押します。

カード紙制御

プリンターにはカード紙制御と呼ばれるオプションが組み込まれていて、カード用紙を使用する場合にカードのはがれ、およびスタッカーでの紙詰まりを減少させることができます。

カード紙制御を有効に設定するには、次のようにします。

1. プリンター設定メニューから「オプション」を選択します。
2. 「カード紙制御」が表示されるまで、「次の画面」 (▶) を押します。
3. 「カード紙制御」を選択してから、「有効」を選択します。

カード紙制御を使用する場合は、以下の推奨事項に従ってください。

1. 可能な限り連続して印刷してください。頻繁に開始および停止を行うと、プリンター・ジャムの原因となることがあります。
2. プリンターが停止すると、スタッカーが下がり、その結果用紙が所定の位置からずれることがあり、スタッカー・エラー (E015) となることがあります。このエラーを防止するには、オートロードを実行した後、より大容量のジョブ (少なくとも 5 セット) を印刷するようにします。E015 エラーが発生した場合は、以下のようになります。
 - a. 用紙を後部サイドに押し付けます。



- b. スタッカー・テーブル・パネルの **UP** を押します。
 - c. スタッカー・テーブル・パネルの **READY** を押して、印刷を再開します。
3. カード用紙の印刷が終了したら、できる限り早くプリンターから用紙を取り出します。フューザーからの熱で用紙が損傷することがあります。

第 5 章 ネットワーク設定

この章では、プリンターをネットワークに接続する方法、プリンターのネットワーク・インターフェースの構成方法、およびネットワーク通信プロトコルのセットアップ方法について説明します。

ネットワークへの接続

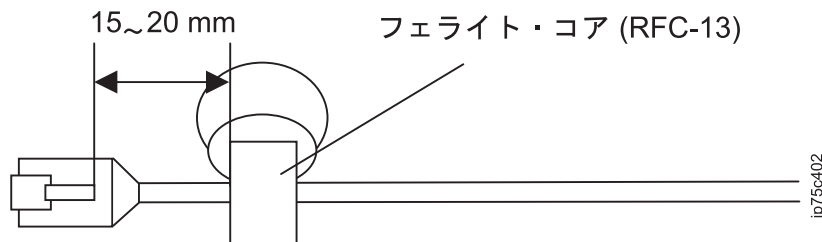
プリンターは以下のネットワークをサポートします。

- 10 BASE-T
- 100 BASE-TX
- 1000 BASE-T

プリンターは以下のネットワーク・プロトコルをサポートします。

- TCP/IP
- LPR/LPD
- AppleTalk

イーサネット・ケーブルをプリンターに接続する前に、ケーブルのプリンターに最も近い場所にフェライト・コア (RFC-13) を取り付けます。このフェライト・コアは、イーサネット・ケーブルの RJ-45 コネクターから 15 から 20 mm の位置に取り付けてください。



プリンターのネットワークへの接続には、10 BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上の対より線 (シールドなし) (UTP) ケーブルを、100 BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上のケーブルを、1000 BASE-T の場合はカテゴリ 5e 以上のケーブルを使用します。48 ページの図 6 に、プリンターの背面にあるネットワーク・コネクター (10/100/1000B-T コネクター) の場所を示します。

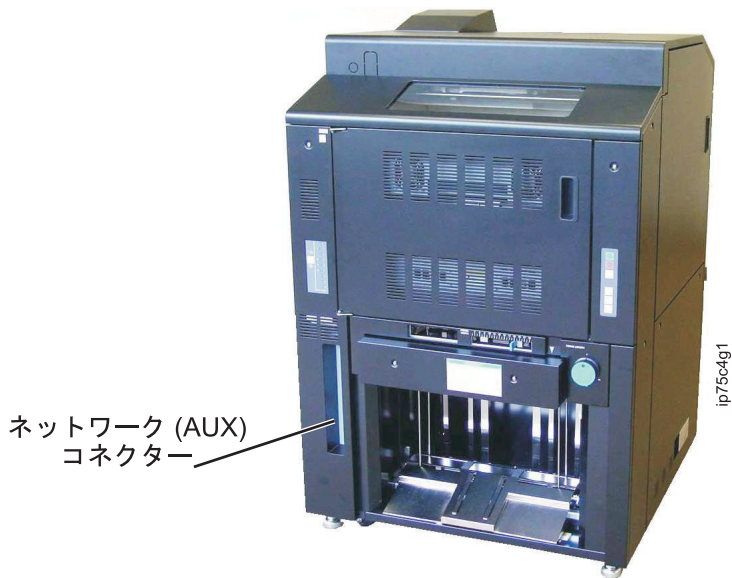


図6. ネットワーク・コネクターの場所

ネットワーク・インターフェースの構成



危険


<1-13> 雷雨の間は、通信ポート、テレポート、またはその他のコネクターの接続または切断をしないでください。

hcsf0113

注:

1. 電源オンしてネットワーク設定を構成する前に、イーサネット・ケーブルを図6に示したネットワーク・コネクターに接続します。プリンターがすでに電源オンされている場合は、電源をオフにし、コネクターを接続してから、電源をオンにします。
2. ネットワーク設定を構成する前に、システム管理者からIPアドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスを入手してください。

ネットワーク設定を構成するには、次のようにします。

1. メインメニューで「環境設定」  を選択します。
2. 「システム」を選択します。パスワードのプロンプトが出ます。
3. 「ネットワーク」を選択します。ここで、IPアドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスを適切に更新します。

TCP/IP の下での LPR/LPD 印刷

プリンターを TCP/IP 用に構成するには、以下の名前のいずれかを使用してキューをセットアップします。

- PostScript 印刷ジョブには、キュー名を *postscript* (すべて小文字) と指定
- PCL 印刷ジョブには、キュー名を *vp-pcl* (すべて小文字) と指定

Windows 2000、XP、Server 2003、または Vista の場合は、標準 TCP/IP ポートを構成するときに、LPR 設定の「LPR バイト・カウントを有効にする」を選択してください。

また、ホスト上の「LPR バイト・カウントを有効にする」設定と、仮想プリンターを定義するときに指定するプリンターの「スプーリング」設定は、プリンターが受信できるデータの量に影響することに注意してください。仮想プリンターの定義に関する情報については、29 ページの『システム-仮想プリンター』を参照してください。

- 「LPR バイト・カウントを有効にする」が選択されているときの印刷可能最大ファイル・サイズは 4 GB です。4 GB より大容量のジョブは印刷されません。
- 「スプーリング」設定が「LPD のみ」または「LPD および Raw Socket」の場合に、「LPR バイト・カウントを有効にする」が設定されていない場合、印刷は実行されません。
- 「スプーリング」設定が「Raw Socket のみ」、「ファイルにキャプチャー」、「LPD のみ」または「LPD と Raw Socket」の場合、印刷可能な最大ファイル・サイズは 2 GB です。

MAC アドレスの確認

プリンターの MAC アドレスは、以下のようにして表示します。

1. メインメニューで、「インフォメーション」() を選択します。
2. 「ネットワーク」を選択します。MAC アドレス、IP アドレス、およびその他のネットワーク設定が表示されます。

AppleTalk プロトコルを使用する印刷

AppleTalk プロトコルを使用する場合、仮想プリンターの名前を指定する必要があります。仮想プリンター名の形式は、PSAxxxxxx にする必要があります。ここで、xxxxxxx は MAC アドレスの最後の 6 文字、たとえば PSA0DAB9E です。

Web インターフェースを使用して、AppleTalk ゾーンを定義します。

1. システム管理者から正しい AppleTalk ゾーンを入手します。
2. Web ブラウザーからプリンターにアクセスするには、アドレス・フィールドにプリンターの IP アドレスを入力して、**実行** を押します。
3. 「管理」->「構成」->「通信」と選択します。
4. 「AppleTalk」を選択してから、AppleTalk ゾーン・フィールドにゾーンの名前をします。
5. **実行** を押して、変更を保管します。

注: Windows Server 2003 でプリンター・ポートを構成する場合、「AppleTalk 印刷装置の確保」を選択しないでください。このプリンターは、セキュア AppleTalk 印刷をサポートしていません。

プリンター・ドライバーのインストール

プリンター・ドライバーは、オペレーティング・システムに付属の CD-ROM からクライアント PC にインストールします。詳しくは、プリンター・ドライバーの README ファイルを参照するか、サーバーの管理者に相談してください。

UNIX オペレーティング・システム用のプリンターの構成

以下の該当するセクションを参照してください。

- 『Solaris 2、6、7、8、および 9』
- 『HP-UX 11i』
- 52 ページの『AIX 5L』

注: プリンターを UNIX システム用に構成する前に、必ずプリンターに IP アドレスを設定します。 48 ページの『ネットワーク・インターフェースの構成』を参照してください。

Solaris 2、6、7、8、および 9

プリンターを構成するためには、ホスト・システムへの "root" アクセスが必要です。プリンターをリモート・プリンターとして使用するためには、ホスト名がホスト・ファイルに設定されていること、および、リモート (仮想) プリンター名が必要です。

1. スーパーユーザー "root" としてホストにログインします。 *printer1* という名前が付いてセットアップされたプリンターが無いことを確認します。
2. 装置ファイルを作成するために、**lpsystem -tbsd printer1** を実行します。
3. 実行中の印刷ジョブが無いことを確認するために、**lpstat -0** を実行します。印刷ジョブが実行中の場合は、ジョブが完了するまで待つてから、Ip スケジューラーを停止するために **/usr/lib/ lpshut** コマンドを使用します。
4. プリンターを構成するために、**/usr/sbin/lpadmin -prpr1 -sprinter1!vp-pcl -lany -Tunknown** を実行します。
5. プリンターをデフォルト・プリンターとするために、**/usr/sbin/lpadmin -d rpr1** を実行します。
6. lp スケジューラーを再開するために、**/usr/lib/lpsched** を実行します。
7. プリンターを受け入れて、有効に設定するために以下を実行します。

```
/usr/sbin/accept rpr1
```

および

```
/usr/bin/enable rpr1
```

8. プリンター状況を確認するために、**lpstat -t** を実行します。
9. プリンター・セットアップをテストするために、**lp -d rpr1 <file name>** を実行します。

HP-UX 11i

プリンターを構成するためには、ホスト・システムへの "root" アクセスが必要です。

1. スーパーユーザー "root" としてホストにログインします。 *printer1* という名前が付いてセットアップされたプリンターが無いことを確認します。
2. System Administration Manager (SAM) を開始するために、**sam** を実行します。

3. 画面に SAM オペレーションの説明が表示されたら、**実行** を押します。画面に SAM メニューが表示されます。
4. 「**プリンターおよびプロッター (Printers and Plotters)**」を選択し、**実行** を押します。
5. 「**LP スプーラー (LP Spooler)**」を選択し、**実行** を押します。
6. 「**プリンターおよびプロッター (Printers and Plotters)**」を選択し、**実行** を押します。その時点でホストに登録済みのプリンターのリストが表示されます。
7. **タブ**・キーを押して、アクション・メニューから「**リモートのプリンター/プロッターの追加 (Add Remote Printer/Plotter)**」を選択して、**実行** を押します。
8. 「リモートのプリンター/プロッターの追加 (Add Remote Printer/Plotter)」画面で、以下のようにフィールドを埋めます。
 - 名前: *rpr1*
 - リモート・システム名: *printer1*
 - リモート・プリンター名: *postscript*
9. 「**リモート・プリンターは BSD システム上です (Remote Printer is on a BSD System)**」を選択または有効に設定します。その他の設定については、デフォルト値を使用します。
10. 画面に注意およびその他の情報が表示されます。内容を読み、**タブ**・キーで **OK** を選択し、登録処理を続行します。
11. 登録処理が完了すると、「**プリンターおよびプロッター (Printers and Plotters)**」画面は、次のような結果を表示します。

```

Name Type   Enable To Print Accepting Requests Location
-----
rpr1 remote yes, idle      yes          vp-pcl on printer1
rpr1 remote yes, idle      yes          postscript on printer1

```

12. これで登録は完了です。SAM を終了するには、**タブ**・キーを押して、ファイル・メニューから「**終了 (Exit)**」を押し、もう一度**タブ**・キーを押して、ファイル・メニューからもう一度「**終了 (Exit)**」を押します。
13. プリンター・セットアップをテストするために、**lp -d rpr1 <file name>** を実行します。

AIX 5L

プリンターを構成するためには、ホスト・システムへの "root" アクセスが必要です。ホスト・ファイル (/etc/hosts) 内にプリンター・ホスト名とリモート・プリンター名 (仮想プリンター名) が必要です。

1. スーパーユーザー **root** としてホストにログインします。 *printer1* という名前が付いてセットアップされたプリンターが無いことを確認します。
2. System Manager Interface Tool (SMIT) を開始するために、**smitty mkrque** を実行します。
3. 「印刷キューの追加 (Print Queue Add)」画面が表示されたら、接続タイプに対して「リモート (**remote**)」を選択し、**実行** を押します。
4. 「プリンターおよびプロッター (**Printers and Plotters**)」を選択し、**実行** を押します。
5. 「LP スプーラー (**LP Spooler**)」を選択し、**実行** を押します。
6. 「プリンターおよびプロッター (**Printers and Plotters**)」を選択し、**実行** を押します。その時点でホストに登録済みのプリンターのリストが表示されます。
7. タブ・キーを押して、アクション・メニューから「リモートのプリンター/プロッターの追加 (**Add Remote Printer/Plotter**)」を選択して、**実行** を押します。
8. 「リモートのプリンター/プロッターの追加 (Add Remote Printer/Plotter)」画面で、以下のようにフィールドを埋め、**実行** を押します。
 - 名前: *printer1*
 - リモート・システム名: *rhost1*
 - リモート・プリンター名: *vp-pcl*
9. 登録が完了すると、以下の状況が表示されます。

```
Command status
Command: OK stdout: presence stderr: none
```

Print queue "printer1" is added. という説明が表示される場合があります。
10. これで登録は完了です。 **PF10** を押して終了します。
11. プリンター・セットアップをテストするために、**lp -d printer1 print <file name>** を実行します。

第 6 章 プリンターの保守

この章では、以下の作業について説明します。

- 『トナーの補給』
- 56 ページの『使用済みトナー・ボトルの取り替え』
- 56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』
- 61 ページの『HR クリーナーの取り替え』
- 63 ページの『HR ユニットの取り替え』
- 66 ページの『スタッカー・ジャムのクリア』
- 68 ページの『トラクターまたは HR ユニットのジャムのクリア』
- 69 ページの『印刷品質の検査』
- 70 ページの『用紙ホッパーのクリーニング』
- 71 ページの『スタッカーのクリーニング』
- 72 ページの『転写ユニットのクリーニング』
- 73 ページの『トナー・ホッパー周辺のクリーニング』
- 74 ページの『使用済みトナー・ボトルのクリーニング』
- 74 ページの『プリクリーン・アSEMBリーのクリーニング』

サプライの取り替え

トナーの補給

1. 開始する前に、以下に注意してください。

- コンソールに以下のメッセージのどれかが表示されるまで、トナーを補給しないでください。

トナーガ アリマセン
ホキユウシテクダサイ E006

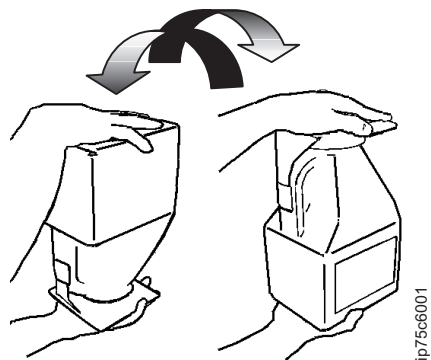
または

トナーガスクナクナッテイマス

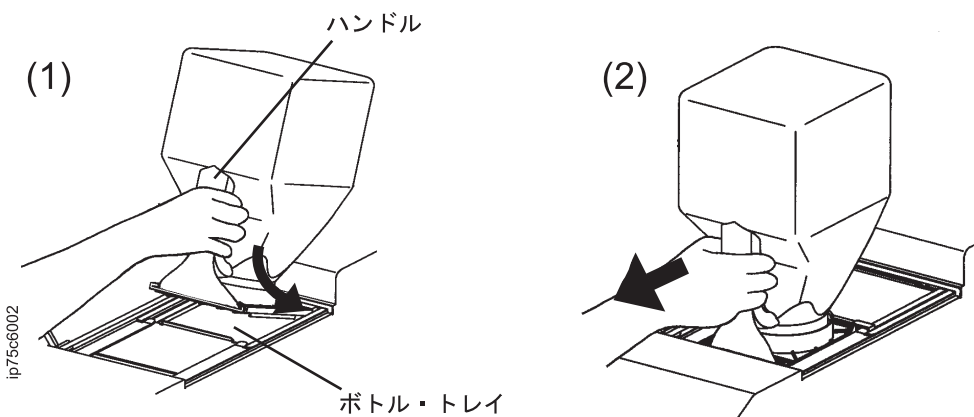
必ずボトル 1 本分のトナーを補給してください。多くても、少なくてもいけません。

- 収集された廃棄トナーは再利用しないでください。
 - 購入後 1 年以内のトナーのみを使用してください。シールを外したトナーはすぐに使用し、後で使用するために保管しないでください。
 - こぼれたトナーは、承認された掃除機で掃除してください。
2. トナーの新しいボトルを準備します。
3. トナー・サプライ・カバーを開けます。

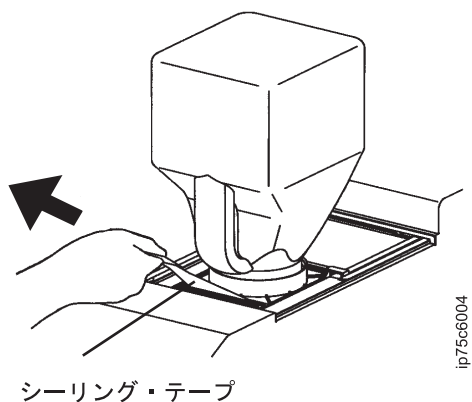
4. 図のように、トナー・ボトルを少なくとも 10 回振ります。



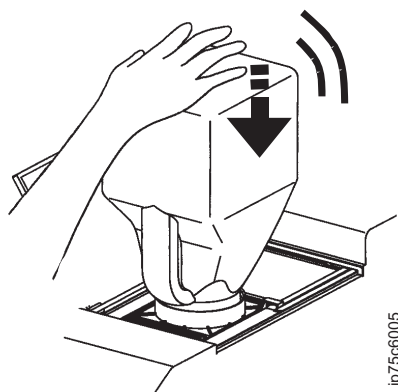
5. トナー・ボトルのハンドルを持ち、ボトルをボトル・トレイ (1) に挿入します。次に、トナー・ボトルが停止するまで手前に引きます (2)。



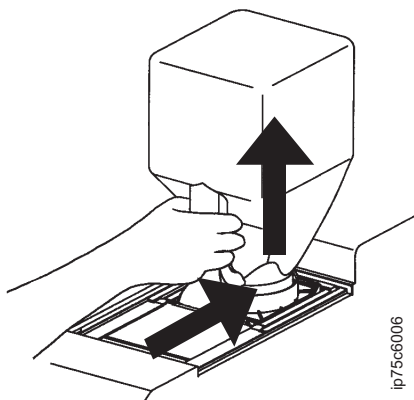
6. シーリング・テープを引いてトナー・ボトルから外します。



7. トナー・ボトルが空になるまでトナー・ボトルの上部を数回たたきます。



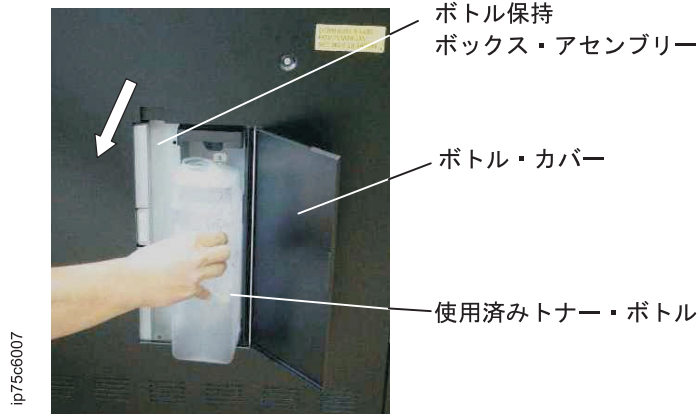
8. 30 秒間待機します。トナー・ボトルを元の位置になるように後ろに押して、ボトルを取り外します。



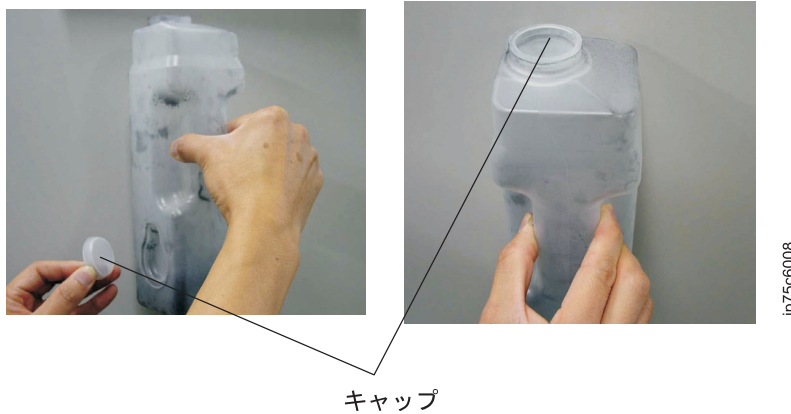
9. トナー・サプライ・カバーを閉じます。トナー・ボトルを地方自治体の規定に従って廃棄します。

使用済みトナー・ボトルの取り替え

1. ボトルのカバーを開け、使用済みトナー・ボトルを手前に引き、ボトル保持ボックスから取り外します。



2. 使用済みトナー・ボトルにキャップをして、地方自治体の規則に従って廃棄します。



3. 新規の使用済みトナー・ボトルをボトル保持ボックスに取り付けて、ボトル・カバーを閉じます。

デベロッパー・ミックスの交換

以下のメッセージが表示されたら、デベロッパー・ミックスを交換します。

ゲンゾウザイ ジュミョウ
コウカンシテクダサイ E007

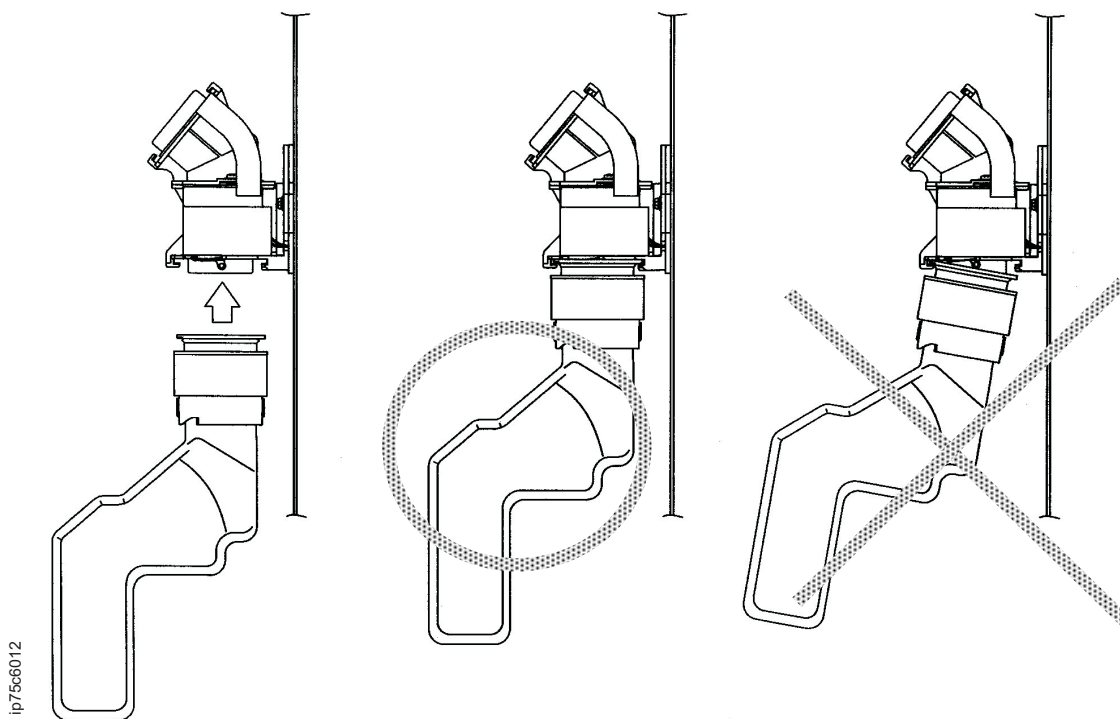
注:

1. 使用済みデベロッパーは地方自治体の規定に従って廃棄します。
2. 指定されたデベロッパーのみ使用します。
3. メッセージの「ゲンゾウザイ ジュミョウ/コウカンシテクダサイ E007」が表示されても、その後最大約 10,000 ページの印刷が可能です。メッセージをクリアするには、「復帰」を押す (▶)。ただし、印刷品質を維持するためには、できる限り早めにデベロッパーを交換します。
4. 必ずボトル 1 本分のデベロッパーをロードしてください。多くても、少なくともいけません。

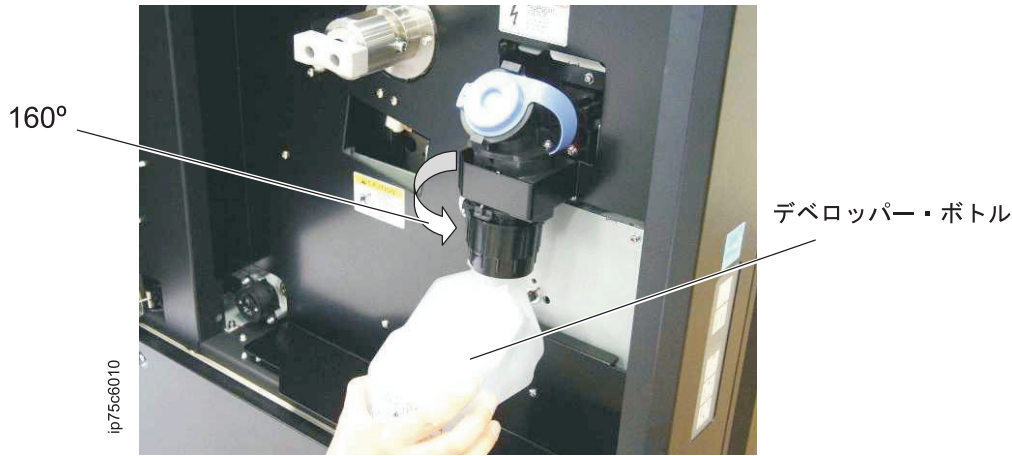
5. デベロッパー・ミックスが汚れないようにします。デベロッパー・ミックスは再利用しないでください。デベロッパー・ミックスがごみ、油、水、またはその他の異物で汚染された場合は、プリンターをすぐに停止して、サービス担当員に連絡してください。
6. デベロッパー・ミックスは購入後 1 年以内に使用してください。いったんデベロッパーのシールを外した場合は、すぐに使用し、後で使用するために保管しないでください。

手順


1. 空のデベロッパー・ボトルを準備します。
2. サイド・カバーを開きます。
3. 空のデベロッパー・ボトルをデベロッパー・ダクトに置きます。デベロッパー・ボトルは、ダクト内に必ず真っすぐに取り付けてください。



- 片手でデベロッパー・ボトルをしっかりと保持しながら、デベロッパーのボトル・キャップを右に停止するまで (約 160 度) ひねります。

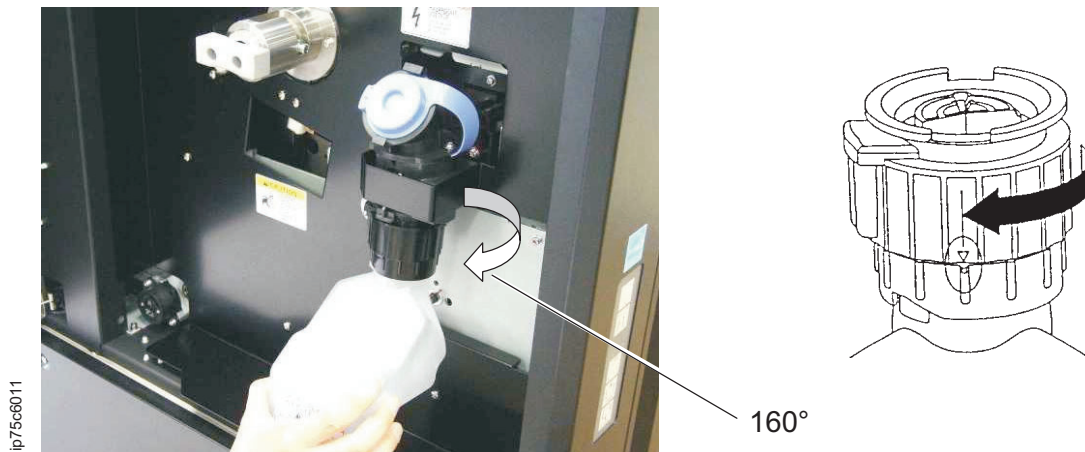


- 残ったデベロッパーを空にするには、次のようにします。

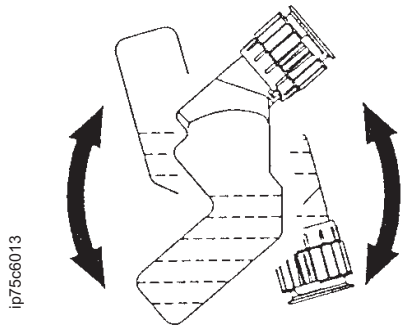
- メインメニューで「環境設定」  を選択します。
- 「消耗品」を選択します。
- 「現像剤」を選択します。
- 「排出」を選択してから、実行 (■) を押します。

デベロッパーの排出が終了するまで、約 3 分 20 秒かかります。

- 片手でデベロッパー・ボトルをしっかりと保持しながら、デベロッパーのボトル・キャップを左に停止するまで (約 160 度) ひねります。ボトルを取り外します。



7. 新しいデベロッパーのボトルを準備し、5 または 6 回振ります。



8. デベロッパー・ダクトからダクト・キャップを取り外します。新しいデベロッパーのボトルをデベロッパー・ダクトにセットします。

新しいデベロッパー・
ボトル




ダクト・キャップ

9. 片手でデベロッパー・ボトルをしっかりと保持しながら、デベロッパーのボトル・キャップを右に停止するまで (約 160 度) ひねります。



160°

10. 新しいデベロッパーを追加するには、次のようにします。

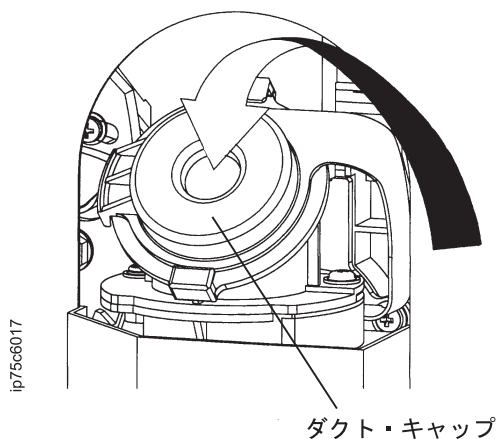
- a. メインメニューで「環境設定」  を選択します。
- b. 「消耗品」を選択します。
- c. 「現像剤」を選択します。
- d. 「注入」を選択してから、実行 (■) を押します。

デベロッパーの追加には約 4 分かかります。

11. デベロッパー・ボトルを取り外すには、片手でデベロッパー・ボトルをしっかりと保持しながら、デベロッパーのボトル・キャップが音を出して停止するまで左にひねります。



12. ダクト・キャップをデベロッパー・ダクトに戻して取り付けます。



13. こぼれたデベロッパーをクリーニングします。空のデベロッパー・ボトルを次の交換のために保管しておきます。
14. サイド・カバーを閉じます。

HR クリーナーの取り替え

注:

1. メッセージの「HR クリーナー・ジュミョウ / コウカンシテクダサイ」がコンソールに表示されてから、最高 10,000 ページの印刷を続行できます。メッセージをクリアするには、「復帰」を押す (▶)。ただし、印刷品質を維持するためには、できる限り早めに HR クリーナーを交換します。
2. 日本では、HR クリーナーの交換はお客様の作業ではありません。
- 3.



注意:

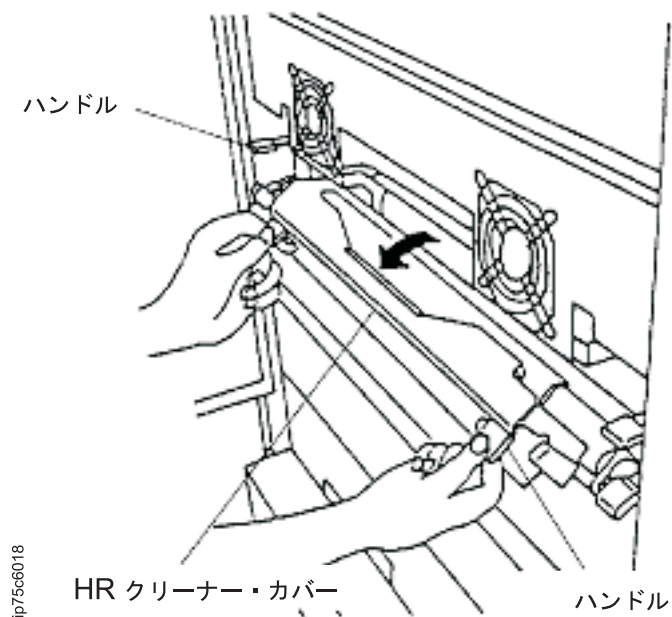
<9-16>

HR ユニットは非常に高温になることがあります。
断熱シートおよびハンドル以外の部分に触らないでください。

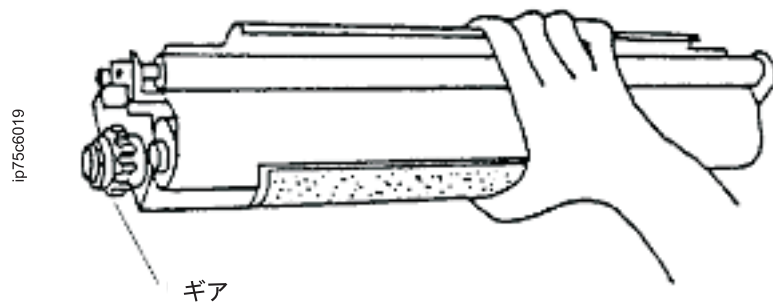
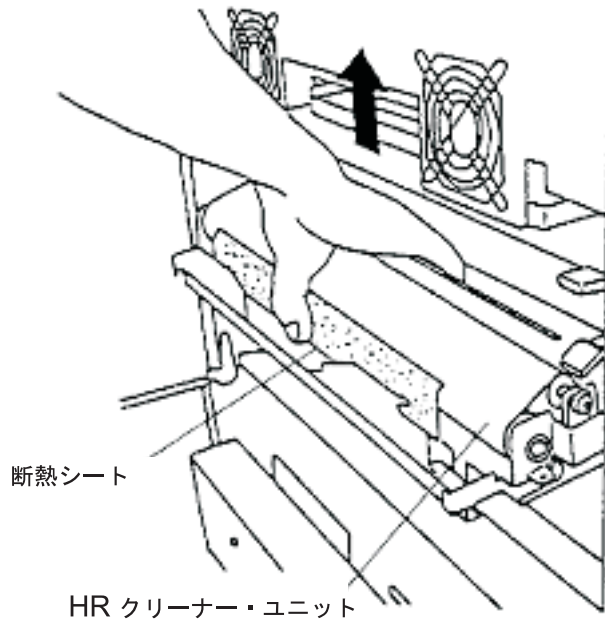
CAUTION0916

手順:

1. 背面カバーを開きます。HR クリーナーのハンドルを両手でつかみ、前方に押しながら押し下げてカバーを開きます。




2. HR クリーナーを持ち上げて取り外します。



ip75c6019

3. 新しい HR クリーナーを取り付けます。
4. HR クリーナーのカバーを閉じて、ラッチがロックしたことを確認します。
5. 背面カバーを閉じます。
6. 以下のようにして、HR クリーナーのカウンターをリセットします。

- a. メインメニューで「環境設定」  を選択します。
- b. 「消耗品」を選択します。
- c. 「HR クリーナー」を選択してから、実行 (■) を押します。

HR ユニットの取り替え

注:

1. 日本では、HR ユニットの交換はお客様の作業ではありません。
- 2.



<9-16>

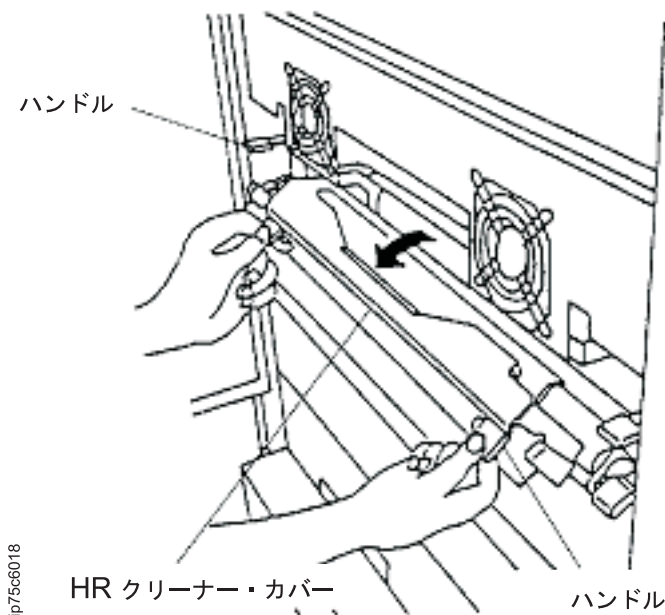
注意:

HR ユニットは非常に高温になることがあります。
断熱シートおよびハンドル以外の部分に触らないでください。

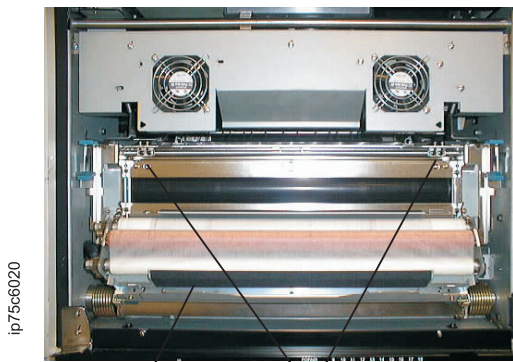
CAUTION0916

手順:

1. 用紙をプリンターから取り外します。40 ページの『用紙を除去する』を参照してください。
2. プリンターの電源を切ります。
3. 背面カバーを開きます。
4. HR クリーナー・カバーを開けます。HR クリーナーのハンドルを両手でつかみ、前方に押しながら押し下げてカバーを開きます。



5. HR ユニートを固定している 2 本のねじを取り外します。

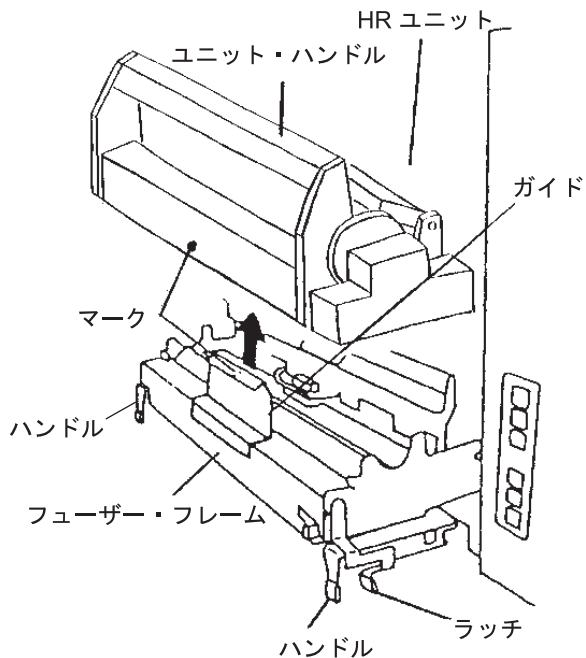


ip75c6020

HR ユニットを固定するねじ

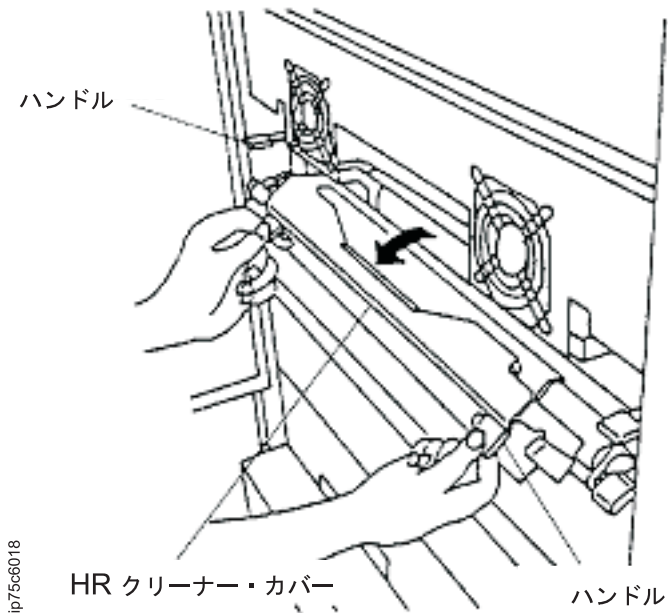
HR クリーナー・カバー

6. HR クリーナー・カバーを閉じます。
7. フューザー・フレームのハンドルを引いて、ラッチのロックを解除します。




ip75c6020a

8. HR ユニットのユニット・ハンドルをつかみ、HR ユニットを取り外します。
9. 新しい HR ユニットを取り付けます。このとき、HR ユニット上のマークがフューザー・フレームと合うようにします。
10. フューザー・フレームのハンドルをつかみ、フューザー・フレームを閉じます。フューザー・フレームのラッチがロックしたことを確認します。
11. HR クリーナー・カバーを開けます。HR クリーナーのハンドルを両手でつかみ、前方に押しながら押し下げてカバーを開きます。



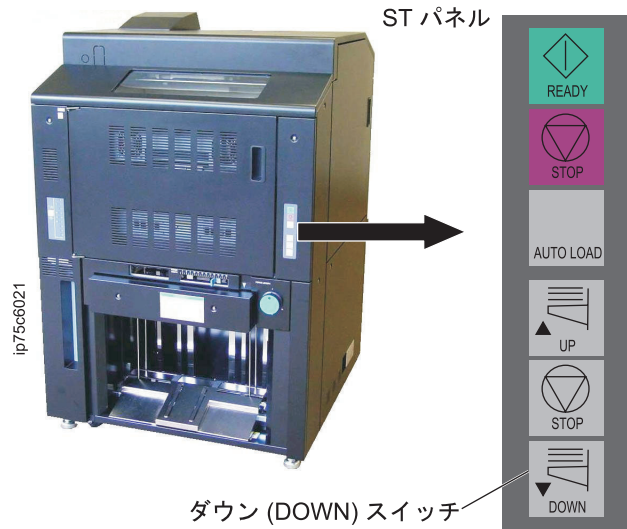
12. HR ユニットを固定する 2 本のねじを締めます。
13. HR クリーナー・カバーを閉じます。
14. 背面カバーを閉じます。
15. 以下のようにして、HR ユニットのカウンターをリセットします。

- a. メインメニューで「環境設定」  を選択します。
- b. 「消耗品」を選択します。
- c. 「定着器」を選択してから、実行 (■) を押します。

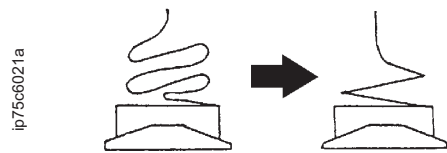
紙詰まりのクリア

スタッカー・ジャムのクリア

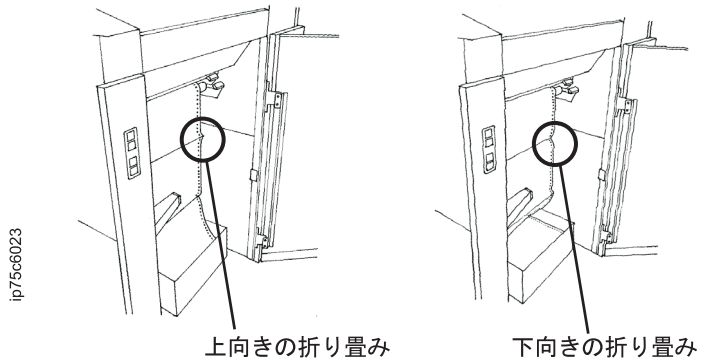
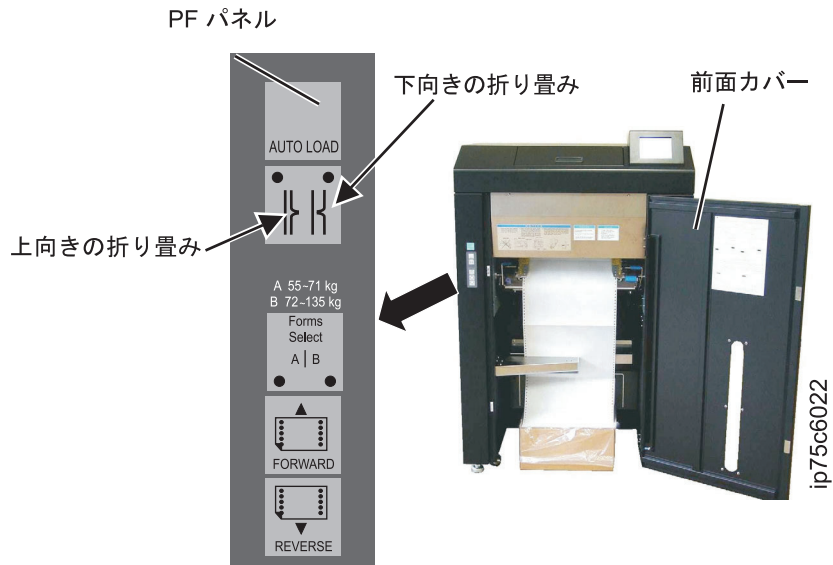
1. ST パネルの **DOWN** を押して、スタッカー・テーブルを下げます。



2. 用紙が正しく折り畳まれていることを確認します。

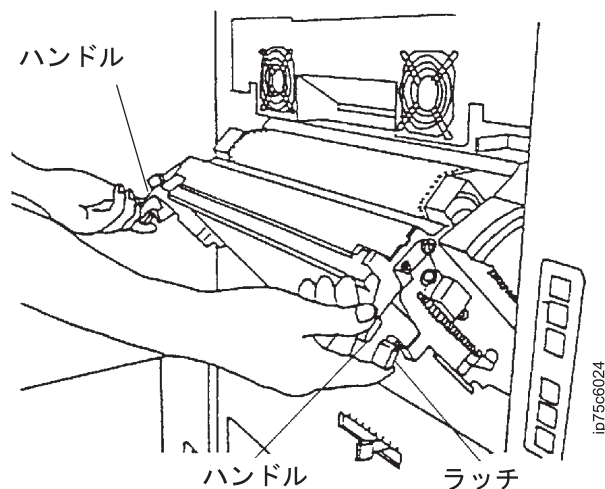


3. 前面カバーを開きます。
4. PF パネルの **FORMS SET** を押して、用紙送りユニットの前の最初の折り畳みが上向きか下向きかを表示させます。設定が折り畳みの方向と一致しているか確認します。



トラクターまたは HR ユニットのジャムのクリア

1. ST パネルの **DOWN** を押して、スタッカー・テーブルを下げます。
2. スタッカー内の用紙をミシン目で切り取ります。
3. 前面カバーを開きます。
4. 用紙をミシン目で切り取ります。
5. 用紙送りユニットを開きます。
6. トラクター・カバーを開きます。
7. ジャムした用紙がある場合は、それをホッパー・サイドから引いて取り除きます。
8. 背面カバーを開きます。
9. ハンドルを持ち上げてラッチを解除し、フューザー・フレームを開きます。



10. HR ユニットの周囲からジャムした用紙をすべて除去します。



注意:

<9-16>

HR ユニットは非常に高温になることがあります。
断熱シートおよびハンドル以外の部分に触らないでください。

CAUTION0916

11. フューザー・フレームを閉じます。フューザー・フレームのラッチがロックしたことを確認します。
12. 背面カバーを閉じます。
13. 残っているジャム用紙があれば、スタッカー・サイドから引いてすべて除去します。
14. 用紙をロードします。

印刷品質の検査

定期的に印刷品質を確認し、プリンターをクリーニングしてください。特に、高品質が求められるジョブを実行する前は必ず実施してください。

テスト・パターンの印刷結果を確認します。異常が無いことを確認します。

注: ミシン目から 1/3 インチ以内の領域、および用紙の両端から 1/2 インチ以内の領域の印刷品質は保証されません。

プリンターのクリーニング

以下の表を使用して、いつプリンターをクリーニングすべきか判別してください。

注: プリンターをクリーニングする前に、プリンターの電源はオフにします。

項目	クリーニングのスケジュール	参照
用紙ホッパー	毎日 (印刷の前)	70 ページの『用紙ホッパーのクリーニング』
スタッカー	毎日 (印刷の前)	71 ページの『スタッカーのクリーニング』
転写ユニット	毎日 (印刷の前)	72 ページの『転写ユニットのクリーニング』
トナー・ホッパーのまわりの領域	トナーを補給したとき	73 ページの『トナー・ホッパー周辺のクリーニング』
使用済みトナー・ボトルのまわりの領域	使用済みトナー・ボトルの取り替えたとき	74 ページの『使用済みトナー・ボトルのクリーニング』
プリクリーン・アセンブリー	毎日 (印刷の前)	74 ページの『プリクリーン・アセンブリーのクリーニング』

用紙ホッパーのクリーニング



<9-36>

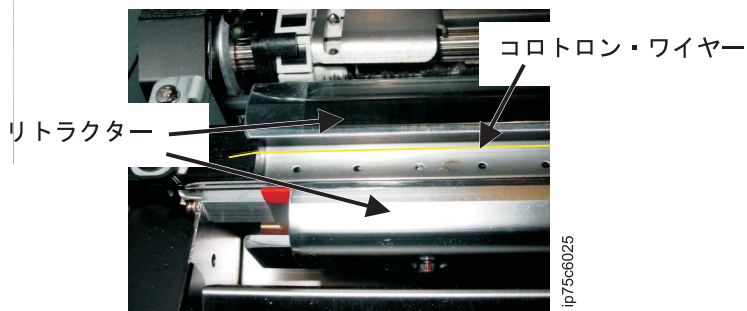
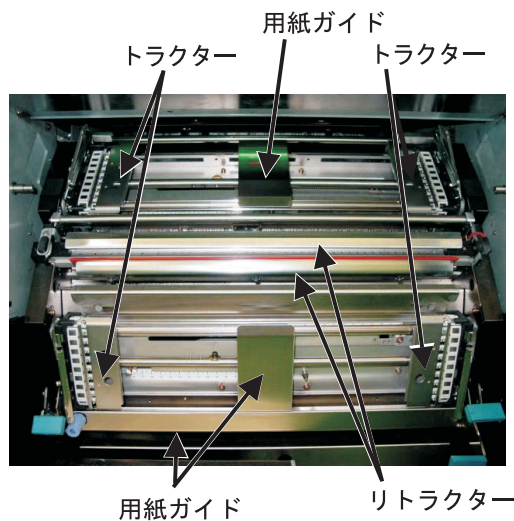
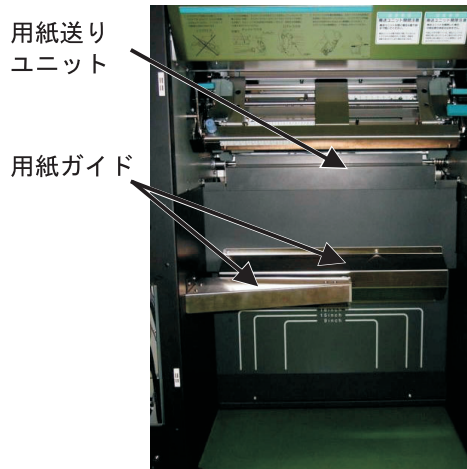
注意:

トナーを掃除機で吸い取る場合は、承認された掃除機のみを使用してください。

CAUT0936

1. 前面カバーを開きます。
2. 用紙送りユニットから用紙を取り出します。
3. 用紙ホッパーから用紙箱を取り外します。
4. プリンターの電源を切ります。
5. 用紙のほこりおよびトナーを、用紙ホッパー内のフロア、用紙ガイド、および用紙送りユニットの下から除去します。

注: トラクターをクリーニングするときは、コロトロン・ワイヤーに触れないように注意してください。



6. 前面カバーを閉じます。

スタッカーのクリーニング



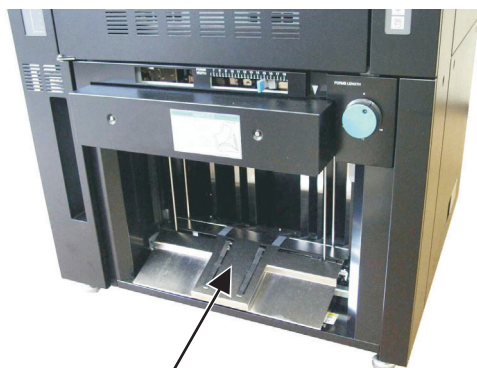
<9-36>

注意:

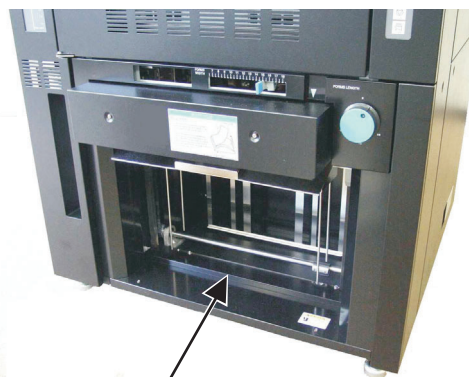
トナーを掃除機で吸い取る場合は、承認された掃除機のみを使用してください。

CAUT0936

1. スタッカー・テーブルから用紙を取り出します。
2. ST パネルの **DOWN** を押して、スタッカー・テーブルを最下部まで下げます。
3. プリンターの電源を切ります。
4. 電気掃除機を使用して、スタッカー・テーブルおよびその周囲の用紙のほこりを除去します。



スタッカー・スタッカーが下がったら、
スタッカー・テーブルの上を
きれいにしてください。



スタッカー・スタッカーが上がったら、
スタッカー・テーブルの下を
きれいにしてください。

ip75c6027

5. スタッカー・テーブルにトナーが付いている場合は、湿らせた布でテーブルを拭いてください。
6. プリンターの電源を入れます。
7. ST パネルの **UP** を押して、スタッカー・テーブルを最上部まで上げます。
8. プリンターの電源を切ります。
9. 電気掃除機を使用して、スタッカー・テーブルの下から用紙のほこりを除去します。

転写ユニットのクリーニング

1. サイド・カバーを開きます。
2. 用紙送りユニットが閉じられていることを確認します。図に示されているように、転写ユニットを前後に数回スライドさせます。



転写ユニット

3. 転写ユニットが停止するまで奥に押し込みます。
4. サイド・カバーを閉じます。
5. 転写ユニットのクリーニングが終了した後は、印刷品質を確認します。69ページの『印刷品質の検査』を参照してください。

トナー・ホッパー周辺のクリーニング



<9-36>

注意:

トナーを掃除機で吸い取る場合は、承認された掃除機のみを使用してください。

CAUT0936

1. トナー・サプライ・カバーを開けます。
2. トナーを吸引しても安全な掃除機を使用して、トナー・ホッパーの周囲のトナーを除去します。



3. 湿らせた布を使用して残っているトナーをすべて除去します。
4. トナー・サプライ・カバーを閉じます。

使用済みトナー・ボトルのクリーニング



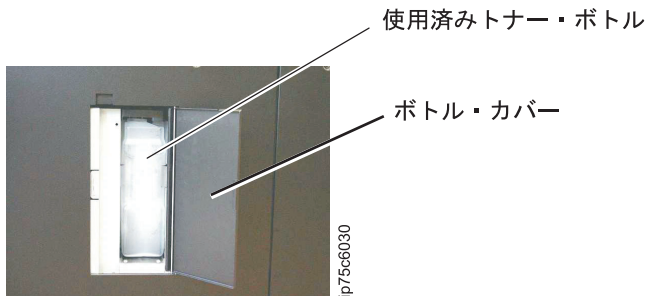
<9-36>

注意:

トナーを掃除機で吸い取る場合は、承認された掃除機のみを使用してください。

CAUTION0936

1. ボトル・カバーを開きます。
2. トナーを吸引しても安全な掃除機を使用して、使用済みトナー・ボトルの周囲のトナーを除去します。



3. 湿らせた布を使用して残っているトナーをすべて除去します。
4. ボトル・カバーを閉じます。

プリクリーン・アセンブリーのクリーニング

1. サイド・カバーを開きます。
2. 図に示されているように、プリクリーン・アセンブリーを前後に数回動かします。




3. プリクリーン・アセンブリーが停止するまで奥に押し込みます。
4. サイド・カバーを閉じます。
5. 印刷品質を検査します。 69 ページの『印刷品質の検査』を参照してください。

第 7 章 トラブルシューティング

基本

問題	手順
プリンターの電源オンができない。	両方の電源スイッチがオンになっていることを確認します。 5 ページの『プリンターの電源オン』を参照してください。
プリンターがホストに接続できない。	装置アドレスがホスト・システム上で正しく定義されていることを確認します。ケーブルの接続を確認します。
印刷品質の問題	用紙、トナー、およびデベロッパの品質を確認します。プリンター内部の部品が汚れていないか確認します。
プリンター・エラーのためジョブが印刷できない。	メッセージに指示された修正処置を取ります。

注: 現行プリンター設定を印刷するには、次のようにします。

1. メインメニューで「レポート印刷」 を選択します。
2. 「ステータス」を選択します。

一般的な印刷の問題

発生した問題	試行する手順
スタッカーで紙詰まりが起こる。	<ul style="list-style-type: none">• 66 ページの『スタッカー・ジャムのクリア』を参照してください。• 用紙の長さがプリンターに定義された用紙の長さとは一致していることを確認します。
HR ユニットで紙詰まりまたはスキューが発生する。	<ul style="list-style-type: none">• 68 ページの『トラクターまたは HR ユニットのジャムのクリア』を参照してください。• HR ユニットがしっかりと固定されていることを確認します。• 用紙テンションを確認します。 42 ページの『用紙の停止位置を確認する』を参照してください。• 用紙の折り畳みが正しいことを確認します。• 用紙が仕様に準拠していることを確認します。
印刷の開始位置が正しくない。	<ul style="list-style-type: none">• 用紙の折り畳みが正しいことを確認します。• 用紙の長さがプリンターに定義された用紙の長さとは一致していることを確認します。

発生した問題	試行する手順
「状況ページ」が印刷されない。	<ul style="list-style-type: none"> • OCP 上に表示されたエラーをクリアします。 • OCP がブランクの場合は、プリンターをシャットダウンしてから再始動します。プリンターが作動可能（「オンライン」）を表示している場合は、「状況ページ」を「レポート印刷」メニューから印刷してみます。 • それでも「状況ページ」が印刷できない場合は、サービス担当員に連絡を取ってください。

印刷品質の問題

発生した問題	試行する手順
トナーの筋状汚れが発生する、またはその他の低品質結果となる。	プリンターをクリーニングします。69 ページの『プリンターのクリーニング』を参照してください。

その他の各種の問題

発生した問題	試行する手順
丁合の問題が発生する。	アプリケーション・プログラムの代わりに、プリンター・ドライバーから丁合を指定します。
レポート印刷およびテスト印刷が遅い。	現行ジョブが完了するまで待ちます。プリンターは、現行ジョブが終了するまでレポート印刷およびテスト印刷を遅らせます。
プリンターがエラーの後スローダウンした。	数分間待機して、速度が改善されるか確認します。プリンターは、エラーから回復する間スローダウンすることがあります。
予期した行より多く印刷される。	「ページの長さ」設定が 100 行より多く、用紙の長さが 4 インチより小さい場合、あるいは用紙の幅が 8.5 インチより小さい (2 アップ印刷のとき) 場合、プリンターは 1 または 2 行余分に印刷することがあります。
並列インターフェースから送信されたジョブが、間違っって削除される。	プリンターが現行ジョブを削除しているときに新規ジョブを受信すると、新規ジョブも削除されることがあります。「PS ウェイト・タイムアウト」および「ウェイト・タイムアウト」に対して、もっと小さな値を使用します。

ネットワークの問題

ネットワーク経由のジョブを印刷するときに問題が発生する場合は、以下のような手順を試行してください。

1. プリンターの電源がオンになっていて、ケーブルが接続されていることを確認してください。
2. プリンターが機能するか確認するために、テスト印刷を実行してみます。
3. ケーブルの問題がないか確認するために、別のイーサネット・ケーブルを試してみます。
4. 問題がプリンターにあるのかホストにあるのかを確認するために、異なるホスト・システムから印刷してみます。
5. テスト印刷を実行して、プリンターに問題がないことを確認します。

- イーサネット・カードを交換した直後の場合は、プリンターの設定を確認し、Web インターフェースで
使用している仮想プリンターを再定義したことを確認します。

AppleTalk プロトコルで発生する問題


- ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
- AppleTalk が作動していることを確認します。 macOS X の「システム環境設定」から、「ネットワー
ク」を選択し、内蔵イーサネットから「**AppleTalk**」を選択し、「**AppleTalk を使用**」を選択します。
- Web インターフェースの「通信-構成」ページを使用して、仮想プリンター用の AppleTalk プロトコル
が「有効」に設定され、AppleTalk ゾーンが正しいことを確認します。
- ネットワークが安定していることを確認します。
- ジョブが何も印刷されていないのに「ジョブレコードフル」エラーが発生する場合は、Windows Server
2003 でプリンター・ポートを構成するときに「**AppleTalk 印刷装置の確保**」を選択していないことを
確認します。このプリンターは、セキュア AppleTalk 印刷をサポートしていません。

TCP/IP プロトコルで発生する問題

発生した問題	試行する手順
プリンターが ping に対して 応答しない。	<ul style="list-style-type: none"> プリンターの電源がオンになっていて、すべてのネットワーク・ケーブルが接続され ていることを確認してください。 IP アドレス、サブネット・マスク、およびデフォルトのゲートウェイが適切に設定 されていることを確認します。
TIME LIMIT EXPIRED (制 限時間が満了)	IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。
NODE name NOT KNOWN or xxx : Unknown (ノード名 が不明または xxx : 不明)	サーバーのノード・テーブルに、ノード名および IP アドレスを登録したことを確認し ます。
ジョブが印刷されない、また はタイムアウト・エラーが印 刷される。	<ol style="list-style-type: none"> プリンターに ping できることを確認します。できない場合は、以下のようにしま す。 <ul style="list-style-type: none"> プリンターの電源がオンになっていて、すべてのネットワーク・ケーブルが接続 されていることを確認してください。 IP アドレス、サブネット・マスク、およびデフォルトのゲートウェイが適切に設 定されていることを確認します。 printcap ファイルが正しく設定されていることを確認します。 ジョブのサイズがプリンターのネットワーク容量を超えていないか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 「LPR バイト・カウントを有効にする」が選択されているときに印刷できる最大 ファイル・サイズは 4 GB です。4 GB を超えるデータが送信されると、何も 印刷されません。 「スプール」設定が「LPD のみ」または「LPD および Raw Socket」の場合に、 「LPR バイト・カウントを有効にする」が設定されていない場合、印刷は実行さ れられません。 「スプーリング」設定が「Raw Socket のみ」、「ファイルにキャプチャー」、 「LPD のみ」または「LPD および Raw Socket」の場合、印刷可能な最大ファ イル・サイズは 2 GB です。

エラー・リカバリー印刷

InfoPrint 75/100 は、プリンターでジャムが発生した後に失われたページの回復を試みることができます。エラー・リカバリーを有効にするには、次のようにします。

1. メインメニューで「**プリンター設定**」  を選択します。
2. 「**オプション**」を選択します。
3. 「**出口ジャム・リカバリー**」を選択します。
4. 「**有効**」を選択してください。

注: ジャムをクリアしプリンターを再開した後は、必ず脱落したページが再印刷されたか確認してください。

OCF 情報メッセージ

表 10 は、OCF メッセージ、説明、および取るべき処置 (ある場合) のリストです。エラー・メッセージについて詳しくは、82 ページの『OCF のエラー・メッセージ』を参照してください。

表 10. メッセージ

メッセージ	説明	処置
オンライン	プリンターは作動可能で、待機中です。	なし。
ポーズ/オフライン	プリンターがオフラインです。	「復帰」を押す (▶)。
インサッチュウ: x/x	プリンターが複数コピーのジョブを印刷中です。	なし。
インサッチュウ	プリンターが印刷中です。	なし。
ショリチュウ	プリンターが印刷ジョブ・データを処理しています。	なし。
データマチ	大容量ファイルを処理しているか、ネットワークが遅いか、または印刷ジョブが正しく終了しませんでした。	プリンターが作動可能状況に戻るまで待ちます。
ツギノデータマチ	プリンターは、処理中のジョブからのデータを待機中です。	プリンターが作動可能状況に戻るまで待ちます。
NPRO	NPRO が進行中です。	NPRO が完了するまで待ちます。
ウォーミングアップチュウ	プリンターがウォームアップ中です。	プリンターが作動可能状況に戻るまで待ちます。
トナーガスクナクナッテイマス	トナー・サプライが少なくなっています。	新しいトナーを追加します。53 ページの『トナーの補給』を参照してください。
ネットワークロードチュウ		プリンターが作動可能状態に戻るまで待ちます。
アタラシイパスワードヲ ニュウリョクシテクダサイ	許可されたユーザーがパスワードを変更しています。	新規パスワードを入力します。
カクニンノタメ サイド ニュウリョクシテクダサイ		パスワードをもう一度入力します。
パスワードヲ ニュウリョクシテクダサイ	システム管理者機能およびサービス機能にはパスワードが必要です。	パスワードを入力するか、別の機能を選択します。
AppleTalk ジュシンチュウ	AppleTalk により印刷データが受信中です。	プリンターが作動可能状況に戻るまで待ちます。
アタイガ チガイマス	間違った値が入力されました。	正しい値を入力します。
パスワードガ チガイマス		正しいパスワードを入力します。パスワードを忘れた場合は、システム管理者にお問い合わせください。
ヨウシサイズガ マチガッテイマス セットシテクダサイ XX.X x XX.X	使用している用紙が、プリンターに指定されている用紙と一致していません。	正しい用紙をロードするか、正しいサイズを指定します。
レディー IPDS (Ready IPDS)	IPDS ネットワーク接続がアクティブで、プリンターが IPDS ジョブで作動可能です。	なし。

表 10. メッセージ (続き)

メッセージ	説明	処置
IPDS ポーズ/オフライン	IPDS ネットワーク接続がアクティブで、プリンターがオフラインです。	「復帰」を押す (▶)。
IPDS: xxxx	現行 IPDS ジョブの名前が xxxx で、オフラインです。	なし。
ジョブマチ	ジョブが、以下の理由のいずれかで一時的に保留されています。 <ul style="list-style-type: none"> • IPDS ジョブが、フォントが処理されるのを待機中。 • 非 IPDS ジョブが、IPDS がアクティブのときに送信された。 • 非 IPDS ジョブがプリンターにあるときに、IPDS ジョブが IPDS 接続を待機中。 	プリンターが現行ジョブを完了するまで待ちます。
PS サイズシテイガ マチガッテイマス ジョブヲ キャンセルシテクダサイ	ジョブが指定した用紙サイズが最大用紙サイズを超えています。	許容される用紙サイズを指定してから、ジョブを再サブミットします。
ナイブエラー TIFF/CCITT メモリブソク	TIFF/CCITT が印刷されるときのメモリーが不足しています。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。
Insufficient disk space One Copy Job	ジョブがプリンターのハード・ディスクに対して大きすぎるため、1 部のみが印刷されます。	以下の用紙サイズの場合、ジョブは 1500 ページ以下に制限されます。 6.5 x 7 インチ 15 x 11 インチ 18 x 14 インチ
ヒータオフモード	ヒーターがオフです。	なし。プリンターがアクティブになれば、ヒーターが始動します。
スリープモード	プリンターがエネルギーを節約中です。	なし。スリープ・モードは、プリンターがアクティブになれば終了します。
タイムサーバ xxx.xxx.xxx	プリンターがタイム・サーバーから時刻を取得中です。	なし。
Getting Time xxx.xxx.xxx	プリンターがタイム・サーバーから時刻を取得中です。	なし。
タイムサーバガ ミツカリマセン	プリンターがタイム・サーバーを検出できません。	正しいアドレスを指定したことを確認します。
Preserving Parameters	プリンターがユーザー設定値を保存中です。	なし。
Spool directory is full	スプール用に使用可能なメモリーが少なくなっています。	スプール・ジョブが完了するまで待ちます。
Spooling	ジョブがハード・ディスクにジョブをスプール中です。	スプールが完了するまで待ちます。
Job too big Data Flushed	ジョブをスプールするためのディスク・スペースが不足しています。	スプールをキャンセルして、ジョブをもう一度送信します。
インサツジョブ サクジョチュウ		なし
ポストスクリプトエラー チェック・リセットヲ オシテクダサイ	PostScript エラーが発生しました。	「復帰」を押す (▶)。

表 10. メッセージ (続き)

メッセージ	説明	処置
ジョブレコードフル NPRO ヲジッコウシテクダサイ	受信済みジョブが指定された数を超えました。	「NPRO」を押します。

OCF のエラー・メッセージ

表 11 は、OCF エラー・メッセージ、説明、および取るべき処置 (ある場合) のリストです。

注:

1. 「エラー・リカバリー?」が「はい」の場合、プリンターは脱落したページを再印刷しようとします。エラーを訂正し、用紙を再ロードして、「復帰」を押す (▶)。
2. 以下のような、いくつかのエラー・メッセージは以下のリストに示していません。

Call For Service
E030

サービスを依頼する前に、以下を確認してください。

- a. 用紙を正しくロードし、エラーをクリアするために「復帰」を押す (▶)。
- b. エラーが残る場合は、プリンターの電源をオフにしてからオンにします。
- c. 同じエラーが再び発生する場合は、サービス担当者に連絡してください。

表 11. メッセージ

メッセージ	説明	修正処置	エラー・リカバリー
ヨウシ キレ ヨウシヨ セットシテクダサイ E001	プリンターの用紙切れです。	追加の用紙をロードします。	
スタッカ フル スタッカカラヨウシヨトリダシテク ダサイ E004	スタッカーがフルです。	スタッカーから用紙を取り出します。40 ページの『用紙を除去する』を参照してください。	
トナーボトル フル コウカンシテクダサイ E005	トナー収集ボトルがフルのため、空にする必要があります。	トナーを交換します。	
トナーガ アリマセン ホキウシテクダサイ E006	トナー・サプライ・ボックスが空です。	トナーを補給します。	
ゲンゾウザイ ジュミョウ コウカンシテクダサイ E007	デベロッパー・ミックスを交換する必要があります。	デベロッパー・ミックスを交換します。56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。	
HR クリーナ ジュミョウ コウカンシテクダサイ E009	HR クリーナー・ウェブを交換する必要があります。	サービス担当者に連絡してください。	
HR ユニット ジュミョウ コウカンシテクダサイ E00A	HR ユニットの交換する必要があります。	サービス担当者に連絡してください。	
OPC ドラム ジュミョウ コウカンシテクダサイ E00B	OPC ドラムを交換する必要があります。	サービス担当者に連絡してください。	
ドラムクリーナーユニット ジュミョウ コウカンシテクダサイ E00C	ドラム・クリーナー・ユニットを交換する必要があります。	サービス担当者に連絡してください。	
トナーボトルガ セットサレテイマセン トナーバッグヲ セットシテクダサイ E00E	トナー・ボトルが所定の場所ではありません。	トナー・ボトルをセットします。56 ページの『使用済みトナー・ボトルの取り替え』を参照してください。	はい
ハンソウユニットガイテイマス トジテクダサイ E010	搬送 (用紙送り) ユニットが開いています。	搬送 (用紙送り) ユニットの閉じます。	はい

表 11. メッセージ (続き)

メッセージ	説明	修正処置	エラー・リカバリー
ゲンゾウザイボトルガ セットサレテイマス ハズシテクダサイ E011	デベロッパー・ボトルが取り付けられています。	デベロッパー・ボトルを取り外します。56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。	
スイングフィン ミセッテイ ヨウシミンメヲ カクニンシテクダサイ E012	スイング・フィンが開始位置から外れています。	用紙を確認します。必要な場合は、用紙を再ロードします。34 ページの『用紙をセットする』を参照してください。	
テーブルカコウチュウ テーブルヲ テイシシテクダサイ E013	スタッカー・テーブルの DOWN キーが押されました。	スタッカー・テーブルを停止する必要がある場合は、 STOP を押します。	
スタッカ セーフティ スタッカテーブルヲ カクニンシテクダサイ E015	スタッカー・テーブルの安全スイッチがオンです。	用紙が正しくロードされていることを確認します。	
リアカバーガ アイテイマス トジテクダサイ E016	背面カバーが開いています。	背面カバーを閉じます。	はい
サイドカバーガ アイテイマス トジテクダサイ E018	サイド・カバーが開いています。	サイド・カバーを閉じます。	はい
ヨウシジドウソウテンチュウ オマチクダサイ (サイダイ 3 プン) E019	用紙をロード中です。	なし。ロードが完了するまで待ちます。	
HR クリーナガセットサレテイマセン HR クリーナヲセットシテクダサイ E01D	HR クリーナー・ユニットが正しくセットされていません。	HR クリーナーをセットします。56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。	
HR ユニットガセットサレテイマセン HR ユニットヲセットシテクダサイ E01E	HR ユニットが正しくセットされていません。	HR ユニットのセットします。	はい
ゲンゾウザイコウカチュウ オマチクダサイ E01F	デベロッパーがロード中です。	完了するまで待ちます。	
ヨウシ キレ ヨウシジドウソウテンヲヤリナオシ テクダサイ E020	用紙オートロード中に用紙の終わりが検出されました。	「復帰」を押す (▶)。	
ハンソウユニットガアイテイマス ヨウシジドウソウテンヲヤリナオシ テクダサイ E021	ヨーク機構 (用紙送りユニット) が開いています。	「復帰」を押す (▶)。オートロードを再試行します。	
スタッカ セーフティ ヨウシジドウソウテンヲヤリナオシ テクダサイ E022	スタッカー・テーブルの安全スイッチがオンです。	用紙が正しくロードされていることを確認します。「復帰」を押す (▶)。オートロードを再試行します。	
リアカバーガ アイテイマス ヨウシジドウソウテンヲヤリナオシ テクダサイ E023	背面カバーが開いています。	カバーを閉じます。「復帰」を押す (▶)。オートロードを再試行します。	

表 11. メッセージ (続き)

メッセージ	説明	修正処置	エラー・リカバリー
サイドカバーが アイテイマス ヨウシジドウソウテンヨヤリナオシ テクダサイ E024	サイド・カバーが開いていま す。	カバーを閉じます。「復帰」を 押す (▶)。オートロードを再試 行します。	
テイチャクユニットガセットサレテ イマセン ヨウシジドウソウテンヨヤリナオシ テクダサイ E025	HR ユニットが正しくセットさ れていません。	HR ユニットを確認します。 「復帰」を押す (▶)。オートロ ードを再試行します。	
オートロードジャム ヨウシジドウソウテンヨヤリナオシ テクダサイ E026	用紙オートロード中に用紙ジャ ムが用紙送りユニット内で発生 しました。	「復帰」を押す (▶)。オートロ ードを再試行します。	
オートロードジャム ヨウシジドウソウテンヨヤリナオシ テクダサイ E027	用紙オートロード中に用紙ジャ ムが HR ユニット内で発生し ました。	ジャムをクリアします。 「復帰」を押す (▶)。オートロ ードを再試行します。	
オートロードジャム ヨウシジドウソウテンヨヤリナオシ テクダサイ E028	用紙オートロード中に用紙ジャ ムがスタッカーで発生しまし た。	ジャムをクリアします。 「復帰」を押す (▶)。オートロ ードを再試行します。	
オートロードセンサオフ ヨウシヨトリノゾイテクダサイ E029	用紙オートロード中にエラーが 発生しました。	「復帰」を押す (▶)。オートロ ードを再試行します。	
スタッカジャムオフ ヨウシヨトリノゾイテクダサイ E02A	用紙オートロード中にエラーが 発生しました。	「復帰」を押す (▶)。オートロ ードを再試行します。	
オートロードシッパイ ヨウシジドウソウテンヨヤリナオシ テクダサイ E02B	用紙オートロード中にエラーが 発生しました。	「復帰」を押す (▶)。オートロ ードを再試行します。	
スタッカガ テイシチュウデス スタッカノヨウシヨ カクニンシテク ダサイ E02C	用紙オートロード中にエラーが 発生しました。	38 ページの『用紙削減オート ロードを使用して用紙をセット する』を参照してください。	
ヨウシミセッテイ ヨウシチョウノブラ カクニンシテク ダサイ E02D	OCP に指定された用紙の長さ が、スタッカーの用紙の長さノ ブの用紙の長さとは一致しま せん。	設定を一致させます。	
ヨウシジャム: バッファプレートアガ リスギ ヨウシヨトリノゾイテクダサイ E077	用紙送りの問題が発生しまし た。	用紙を再ロードします。 34 ペ ージの『用紙をセットする』を 参照してください。	はい
ヨウシジャム: バッファプレートサガ リスギ ヨウシヨトリノゾイテクダサイ E078	用紙送りの問題が発生しまし た。	用紙を再ロードします。 34 ペ ージの『用紙をセットする』を 参照してください。	はい
ヨウシジャム: ヨウシスキュー ヨウシヨ トリノゾイテクダサイ E07D	印刷の問題が発生しました。	ジャムがある場合は、ジャムを クリアします。用紙を再ロード します。用紙が仕様に準拠して いることを確認します。 97 ペ ージの『付録 C. 用紙の仕様』 を参照してください。	はい

表 11. メッセージ (続き)

メッセージ	説明	修正処置	エラー・リカバリー
ヨウシジャム: ヨウシスキュー ヨウシヨ トリノゾイテクダサイ E07E	印刷の問題が発生しました。	ジャムがある場合は、ジャムをクリアします。用紙を再ロードします。用紙が仕様に準拠していることを確認します。 97 ページの『付録 C. 用紙の仕様』を参照してください。	はい
ヨウシジャム: ヒートロール ヨウシヨ トリノゾイテクダサイ E07F	用紙ジャムが HR ユニット内で発生しました。	66 ページの『紙詰まりのクリア』を参照してください。	はい
ヨウシジャム: スタッカ ヨウシヨ トリノゾイテクダサイ E080	用紙ジャムがスタッカーで発生しました。	66 ページの『紙詰まりのクリア』を参照してください。	
HR ユニットガセットサレテイマセン ゲンゾウザイコウカンヨヤリナオシ テクダサイ E0EA	デベロッパー・ミックスを交換中に、HR ユニットが所定の場所にセットされていないことをプリンターが検出しました。	HR ユニットがしっかりと固定されていることを確認します。「復帰」を押す (▶)。デベロッパーの交換を再開します。56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。	
ゲンゾウザイ コウカンエラー ゲンゾウザイコウカンヨヤリナオシ テクダサイ E0EB	デベロッパー・ミックスの交換中にエラーが発生しました。	「復帰」を押す (▶)。デベロッパーの交換を再開します。56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。	
ゲンゾウザイガ ノコッテイマス テジュンヨカクニンシテクダサイ E0EC	現在使用しているデベロッパー・ミックスを排出する前に、デベロッパー・ミックスを追加しようとしてしました。56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。	既存のデベロッパー・ミックスを除去します。56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。「復帰」を押す (▶)。	
ゲンゾウザイボトル セットエラー タダシクセットシテクダサイ E0ED	デベロッパー・ボトルが正しく配置されていません。	「復帰」を押す (▶)。ボトルをセットします。56 ページの『デベロッパー・ミックスの交換』を参照してください。	
isSdInit	ハード・ディスクに問題があります。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Invalid Mac Address	コントローラーのハードウェア・エラーです。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
StartUp	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Boot Error	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Boot failed	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	

表 11. メッセージ (続き)

メッセージ	説明	修正処置	エラー・リカバリー
CheckNmi	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Suspended Task	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
IPDS Database Error	IPDS エラーです。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
IPDS Internal Error	IPDS エラーです。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service IPDS Startup	IPDS プリンター構成にエラーがあります。	「復帰」を押す (▶)。	
Call for Service ログ メッセージ フル	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service コンフィグレーション ファイル エラー	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service ゲンゴ ファイル エラー	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service コウジヨウ シュッカチ エラー	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service オフライン プリント エラー	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service ログ ファイル エラー	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service アラート ファイル エラー	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service インサツ リレキ ファイル エラー	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	
Call for Service PCL イニシャライズ エラー	エラーが発生しました。	プリンターの電源をオフにし、再度オンにします。	

付録 A. 設置計画および仕様

この付録では、プリンターの設置準備について説明します。サプライ用品がお手元にあることを確認します。95 ページの『付録 B. サプライ用品の発注』および 97 ページの『付録 C. 用紙の仕様』を参照してください。

基本プリンター仕様

設計および仕様は、予告なしに変更される場合があります。

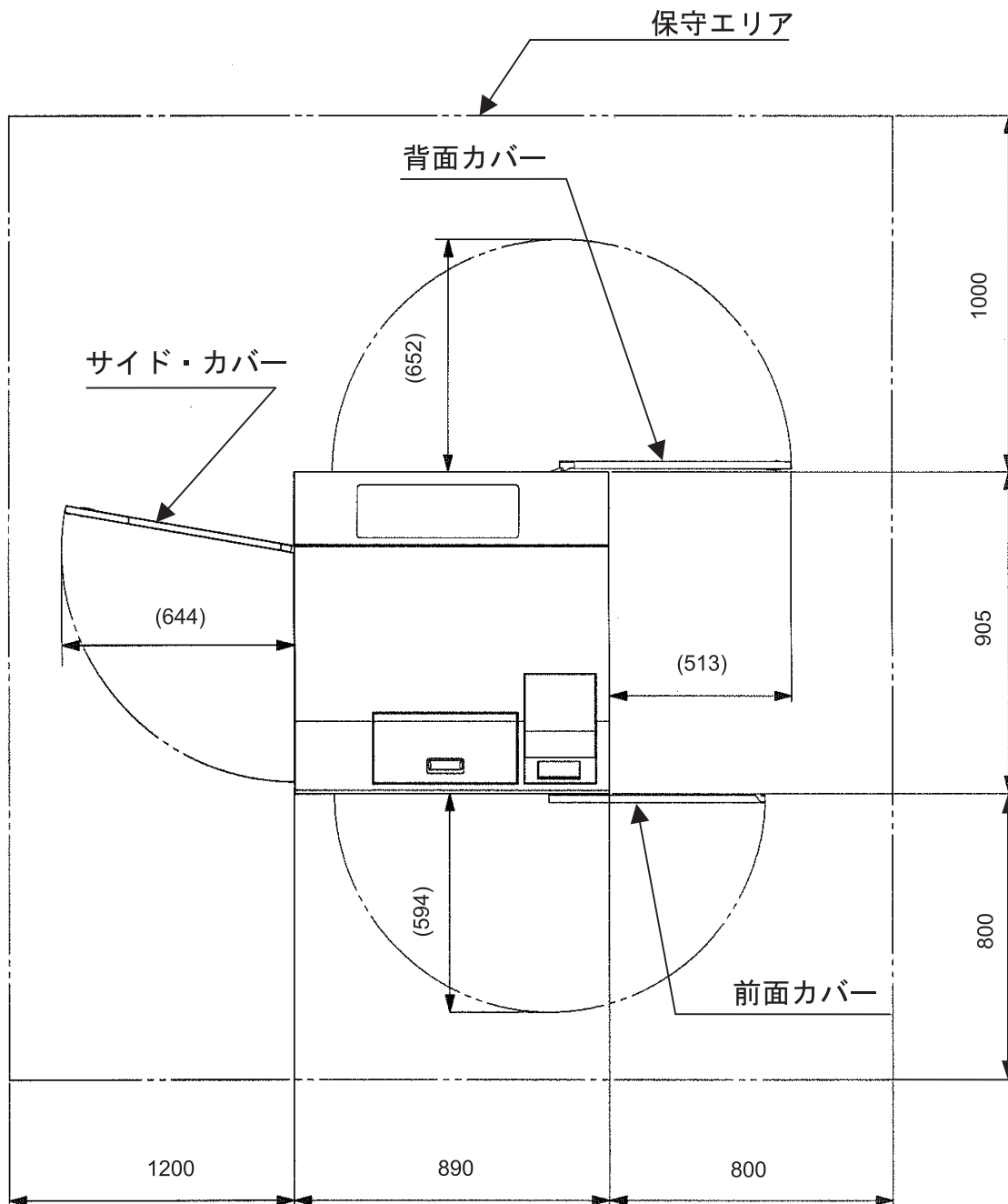
項目	仕様
イメージ処理方式	電子写真技術
露光システム	半導体 2 レーザー・ビーム (レーザー・ダイオード) スキャン
イメージ解像度	600 x 600 ドット/インチ (dpi)
連続印刷速度	InfoPrint 100: • 8 行/インチ (lpi) において 6,800 行/分 (lpm)。 • 8.5 インチ長用紙において 100 ページ/分 (ppm)。 • 2 アップ印刷において 154 ページ/分 (ppm)。 InfoPrint 75: • 8 行/インチ (lpi) において 5,100 行/分 (lpm)。 • 8.5 インチ長用紙において 75 ページ/分 (ppm)。 • 2 アップ印刷において 115 ページ/分 (ppm)。
印刷可能域	97 ページの『付録 C. 用紙の仕様』を参照してください。
コントローラー	PowerPC 750 FX 800 MHz
メモリー容量	512 MB
月間印刷量	InfoPrint 100: 200,000 ページ (15 x 11 インチ用紙) InfoPrint 75: 150,000 ページ (15 x 11 インチ用紙)
公称電圧	AC 200 から 240 V \pm 10%
公称周波数	50 Hz または 60 Hz \pm 1 Hz
位相	単相 (2 線 + アース)
ソケット	NEMA L6-30 R (注 1 を参照)
電流	最大 30A
注:	<ol style="list-style-type: none">1. 米国、カナダ、および日本の場合、電源コードには NEMA L6-30 プラグが取り付け済みです。その他の国の場合は、該当国で使用が承認されているプラグを InfoPrint が取り付けます。このプラグには、正しい定格電圧およびワイヤー・サイズ (AWG12) が使用されます。ソケットの準備はお客様で行ってください。2. 250V-30A 2 極、短絡回路バックアップにリストされた回路ブレーカーが必須です。

項目	仕様
電力使用量	<p>InfoPrint 100:</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ時: 1.0 kW (平均) • 印刷時: 2.9 kW (平均) • エネルギー節約時: 54W 以下 <p>InfoPrint 75:</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ時: 1.0 kW (平均) • 印刷時: 2.5 kW (平均) • エネルギー節約時: 54W 以下
音響ノイズ (音圧レベル)	<p>InfoPrint 100:</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ時: 50 dBA • 印刷時: 65 dBA <p>InfoPrint 75:</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ時: 50 dBA • 印刷時: 65 dBA
発熱量	<p>InfoPrint 100:</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ時: 3.4k BTU/時 (平均) • 印刷時: 9.9k BTU/時 (平均) • エネルギー節約時: 184 BTU/時 -- 110 VA 以下 <p>InfoPrint 75:</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ時: 3.4k BTU/時 (平均) • 印刷時: 8.5k BTU/時 (平均) • エネルギー節約時: 184 BTU/時 -- 110 VA 以下
作動時温度および湿度	<p>温度範囲: 16 から 32 °C (高印刷品質のためには、19 から 25 °C)</p> <p>湿度範囲: 20 から 80 % RH (結露なし) (高印刷品質のためには、40 から 65 % RH)</p>
換気	<p>この装置はオゾンを生成します。長時間暴露は 0.1 ppm (8 時間の加重平均濃度) 以下に制限してください。適切な換気を行ってください。狭い部屋 (39.3 m³) への設置は避けてください。狭いスペースに設置する場合は、より頻繁に換気をする必要があります。</p>
寸法 (H x W x D)	1,323 x 890 x 905 [985] mm (14 インチ用紙の場合)
質量	360 kg

項目	仕様
サポートされるソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • PostScript 3 (オプション) および PCL5e (標準) <ul style="list-style-type: none"> - InfoPrint Manager for AIX® V4.3 PSU1 (PSF コマンドおよびパススルー・プリンター・タイプのみ) - InfoPrint Manager for Windows® V2.3 PSU1 (PSF コマンドおよびパススルー・プリンター・タイプのみ) - InfoPrint ProcessDirector V1.2.1 (パススルー・プリンター・タイプのみ) • IPDS (オプション) <ul style="list-style-type: none"> - PSF for Z/OS V4R1 以上 - PSF/400 V5R3 以降 - InfoPrint Manager for AIX V4.3 PSU1 - InfoPrint Manager for Windows V2.3 PSU1 - InfoPrint ProcessDirector for Linux V1.3.1 Service Pack 2 - InfoPrint ProcessDirector for AIX V1.3.1 Service Pack 2
ケーブルの発注	ネットワーク・インターフェース・ケーブルは提供されません。
製品寿命	InfoPrint 100: 24,000,000 ページ (11 インチ用紙長) InfoPrint 75: 18,000,000 ページ (11 インチ用紙長)

スペース要件

安全で効率的な運用のためには、プリンターを換気の良い場所に設置し、以下に示す保守エリアをプリンターの周囲に確保します。



アクセサリ

プリンターには、ドキュメンテーション CD、および以下の部品がアクセサリ・ボックスに入れて出荷されます。保守部品は、安全な場所に保管してください。

部品	数量
ドラム・ホールド・スタンド	2
デベロッパー・ボトル	1
印刷用紙 (15 x 11 インチ/55kg 用紙)	1
フェライト・コア	1
保証の内容と制限	1
保守パネル・アセンブリー	1
保守パネル・ケーブル・アセンブリー	1

フォークリフト要件

出荷枠箱の積み下ろしには、フォークリフトまたはクレーンが必要です。フォークリフトが、プリンターおよびパッケージ枠箱の重量およびサイズに対応できるものか確認する必要があります。

出荷枠箱重量: 380 kg

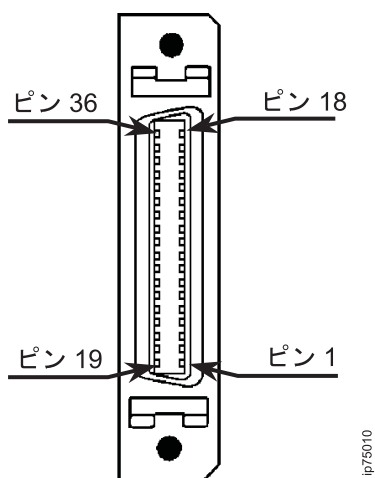
出荷枠箱寸法:

- 長さ: 331 cm
- 幅: 219 cm
- 高さ: 229 cm

入出カインターフェース

仕様	コネクター
IEEE 1284C パラレル・ポート	1284-C
イーサネット (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T-Tx 自動認識)、TCP/IP のサポートを含む	RJ-45

パラレル・ポートのピン割り当ておよび信号名は、以下の通りです。



パラレル・ポート・コネクタの回路特性:

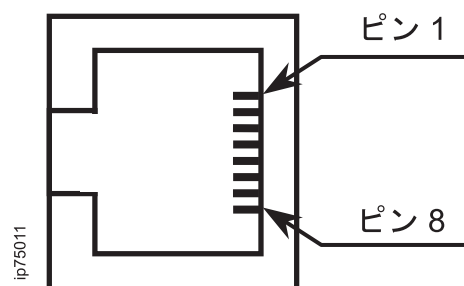
ピン番号	信号名	方向	電圧
1	PtrBusy / Busy	出力	5.0 (ボルト)
2	Xflag / Select	出力	5.0 (ボルト)
3	PtrClk / nAck	出力	5.0 (ボルト)
4	nDataAvail / nFault	出力	5.0 (ボルト)
5	AckDataReq / Perror	出力	5.0 (ボルト)
6	Data 1	入出力	5.0 (ボルト)
7	Data 2	入出力	5.0 (ボルト)
8	Data 3	入出力	5.0 (ボルト)
9	Data 4	入出力	5.0 (ボルト)
10	Data 5	入出力	5.0 (ボルト)
11	Data 6	入出力	5.0 (ボルト)
12	Data 7	入出力	5.0 (ボルト)
13	Data 8	入出力	5.0 (ボルト)
14	NInit	入力	5.0 (ボルト)
15	HostClk / nStrobe	入力	5.0 (ボルト)
16	1284Active / nSelectIn	入力	5.0 (ボルト)
17	HostBusy / nAutoFd	入力	5.0 (ボルト)
18	Host Logic High	入力	5.0 (ボルト)
19	Signal Ground (Busy)		0 (ボルト)
20	Signal Ground (Select)		0 (ボルト)
21	Signal Ground (nAck)		0 (ボルト)
22	Signal Ground (nFault)		0 (ボルト)
23	Signal Ground (PErrror)		0 (ボルト)
24	Signal Ground (Data 1)		0 (ボルト)
25	Signal Ground (Data 2)		0 (ボルト)

ピン番号	信号名	方向	電圧
26	Signal Ground (Data 3)		0 (ボルト)
27	Signal Ground (Data 4)		0 (ボルト)
28	Signal Ground (Data 5)		0 (ボルト)
29	Signal Ground (Data 6)		0 (ボルト)
30	Signal Ground (Data 7)		0 (ボルト)
31	Signal Ground (Data 8)		0 (ボルト)
32	Signal Ground (nInit)		0 (ボルト)
33	Signal Ground (nStrobe)		0 (ボルト)
34	Signal Ground (nSelectIn)		0 (ボルト)
35	Signal Ground (nAutoFd)		0 (ボルト)
36	Peripheral Logic High	出力	5.0 (ボルト)

注:

1. OCP に作動可能 (「オンライン」) と表示される前にパラレル・ポートで受信されたデータは、正しく印刷されません。
2. 印刷速度はパラレル・ポートによって異なります。
3. 電話回線は接続しないでください。

イーサネットのピン割り当ておよび信号名は、以下の通りです。



イーサネット・コネクタの回路特性:

ピン番号	信号名	電圧
1	TRP1+	-1 から +1 (ボルト)
2	TRP1-	-1 から +1 (ボルト)
3	TRP2+	-1 から +1 (ボルト)
4	TRP3+	-1 から +1 (ボルト)
5	TRP3-	-1 から +1 (ボルト)
6	TRP2-	-1 から +1 (ボルト)
7	TRP4+	-1 から +1 (ボルト)
8	TRP4-	-1 から +1 (ボルト)

注: 電話回線は接続しないでください。

付録 B. サプライ用品の発注

次の表は、InfoPrint 75/100 用のサプライ用品のリストです。お客様がサプライ用品の 1 カ月から 2 カ月分の在庫を手元に保管しておくことをお勧めします。

サプライ用品	部品番号	予想される寿命 (見積り目的のみ)
トナー (1,000g のボトル 6 つ)	45U1951	37,000 ページ/ボトル
デベロッパー・ミックス (1,850g のボトル 2 つ)	45U1952	436,000 回転 (390,000 ページ)/ボトル
注: HR ユニットおよび HR クリーニング・ユニットは、お客様取り付けの保守用サプライ用品項目です (日本を除く)。これらの品目を注文する場合は、サービス担当員にお問い合わせください。日本では、HR ユニットおよび HR クリーニング・ユニットの交換はお客様の作業ではありません。		
HR ユニット	45U1869	2,000,000 ページ
HR クリーニング・ユニット	45U1955	300,000 ページ
注: 以下の部品は、許可されたサービス担当員によってのみ交換されます。		
OPC ドラム		654,000 回転 (590,000 ページ)
ドラム・クリーナー		654,000 回転 (590,000 ページ)
注: 1. サプライ用品を注文される場合は、貴社担当の営業担当員にお問い合わせいただくか、次の Web サイトにアクセスしてください。 http://www.infoprint.com/supplies 2. トナー予測値は、Hitachi 標準用紙 (11 x 15 インチ、17 ポンド) における 3.6% ドット画線比率をベースにしています。 3. デベロッパー、ドラム、ドラム・クリーナーの寿命予測値は、1 回転当たり 90% 印刷をベースにしています。異なる印刷比率の場合は、予測寿命を下げる場合があります。 4. HR ユニットの予測寿命は、印刷方法によって異なります。特殊用紙、固有のアプリケーション、およびその他の要因が著しく実寿命を短くすることがあります。 5. すべての使用済みサプライ用品は、地方自治体の規定に従って廃棄してください。		

サプライ用品の保管

プリンターのすべてのサプライ用品は、少なくとも使用する 1 日前には、プリンターの稼働環境に保管してください。それ以外の時は、以下の要件を超えない環境にサプライ用品を保管してください。

温度 5°C から 40°C

相対湿度

8% から 90%

注:

- 承認済みのサプライ用品のみを使用してください。
- トナーおよびデベロッパーは、購入後 1 年以内に使用してください。
- 使用しない場合はトナーおよびデベロッパーを開けないでください。いったん開けたトナーおよびデベロッパーは、すぐに使用してください。

用紙の保管

用紙類には、さまざまな保管の要件があります。それらの用紙が使用される環境と同様の温度と湿度が保たれている場所に保管してください。湿気の変化に適應できない用紙に印刷すると、しわや色抜けが発生することがあります。

温度 開封後 - 10℃ から 30℃
プラスチック包装のパッケージ - 4℃ から 43℃
最適温度 - 10℃ から 30℃

相対湿度
開封後 - 30 から 70%
プラスチック包装のパッケージ - 8 から 90%
最適湿度 - 30 から 70%

極度の熱や湿度がある場所は避けてください。サプライ用品が極度の熱や湿度にさらされると、修復不能な損傷を被ることがあります。70% を超える相対湿度にさらされた用紙は、印刷品質を低下させるおそれがあります。

注:

1. 保管室の環境が印刷室の環境と異なる場合は、用紙を使用する前に用紙を印刷室に 2 から 3 日置いておきます。環境が大きく異なる場合でも、用紙を使用する前に用紙を印刷室に 1 日は置いておきます。
2. 用紙の保管は、直射日光の当たる場所、および温度と湿度が激しく変化する場所は避けてください。
3. 空調機の風が直接当たる場所は避けてください。
4. 長期間用紙を保管することは避けてください。用紙はできる限り 3 から 6 カ月以内に使用してください。
5. 用紙は、使用するまでパッケージに入れたままにしてください。
6. 用紙は床の上に直接置かないでください。その代わりに、パレットまたは同様のものを使用してください。
7. 以下に推奨の箱の数を超えて積み重ねないでください。

タイプ	制限
55kg (64g/m ²) 2000 枚/箱	5 箱
70 - 135kg (81-157g/m ²) 1000 枚/箱	5 箱
上記を超えるもの	3 箱

8. ホッパーには、1 箱当たり 300 mm 以上に積み重ねないでください。箱の外側にはカバーが付いているものとします。箱の高さは 385 mm を超えないようにします。内側の長さは 400 mm を超えないようにし、内側の幅は 470 mm を超えないようにします。用紙がプリンターに送り込まれるときに用紙に損傷を与えたり邪魔になる突起物またはその他の物が、箱の内側にあることを確認します。すべての用紙はつながっている必要があります。

付録 C. 用紙の仕様

InfoPrint 75/100 プリンターの品質およびパフォーマンスの一貫性は、使用する用紙の品質および一貫性に関係があります。購入する用紙は、アプリケーションに適したものか確認してください。以下のようにすることを強く推奨します。

- 適切な用紙を選択するために、用紙サプライヤーおよび InfoPrint 営業担当員に支援を要求してください。
- 大量に発注する前に、提案された用紙サンプルでアプリケーションのテストをしてください。

一般的な推奨事項

- 用紙には、しわ、へこみ、または裂け目などの損傷があってはなりません。
- 用紙は、ノンインパクト・プリンター用に製造されたもので、切り離し、カット、切り離されたり切りこしのチャド（パンチくず）、またはその他のパンチ穴の残余物のないものにします。
- 用紙は、プラスチックまたはその他の保護材で包装され、湿気防止包装されている必要があります。塩化ビニールが含まれる包装は、用紙に損傷を与える恐れのある可塑剤が含まれているため避けてください。
- 用紙の保管については、96 ページの『用紙の保管』を参照してください。
- 片側に印刷済みの用紙を再使用しないでください。
- 湿気含有量の高すぎるまたは低すぎる用紙は使用しないでください。湿気が高すぎると、紙詰まり、しわ、および印刷品質の低下の原因となることがあります。湿気が低すぎると、静電気を増加させ、その結果ジャムまたは融着問題の原因となることがあります。含水量は 5 から 6% である必要があります。
- 推奨の通気性は、JISP8117 準拠の測定法で 100 秒またはこれ以下です。通気性とは、あらかじめ設定された量の空気が、あらかじめ設定された条件の下で用紙を通過する時間です。
- 化学木材パルプが 100% の組成の用紙を使用してください。粉碎パルプおよび綿を含有する用紙には、炭酸カルシウムなどの天然不純物が含まれているため、光伝導体ドラムおよび HR ユニットの寿命を短縮します。炭酸カルシウムが含まれる用紙は使用しないでください。熔融、蒸発、裏移り、および変色する材料、または熱を加えられると有害な物質を生成する材料が含まれるコート紙は使用しないでください。

許容されない用紙

以下のメディアは、紙詰まりおよび印刷品質の問題の原因となるため使用しないでください。

- 厚過ぎるまたは薄すぎる用紙
- レーザー・プリンターまたはコピーですでに印刷されている用紙（承認済みの事前印刷用紙を除く）
- しわ、裂け目、または曲がった用紙
- 湿気の多いまたは濡れた用紙
- カールした用紙
- 静電気が帯電した用紙
- のり付けされた用紙
- 特殊コーティングされた用紙
- 表面処理されたカラー用紙
- 200°C の温度、および約 300 kPa の圧力に耐えられない用紙

- 感熱紙
- カーボン紙
- 綴じびょう、リボン、またはテープが付加された用紙
- 厚い生地の用紙
- ラベルをはがして裏の紙が出ているラベル・ストック用紙

用紙の質量

許容される連量: 55-135 kg (64-157 g/m² または 17-42 ポンド)

用紙サイズ

- 用紙の幅: 165.1 - 457.2 mm (6.5 - 18 インチ)
- 用紙の長さ: 152.4 - 355.6 mm (6 - 14 インチ)

注: 長さおよび幅は、12.7 mm (0.5 インチ) の倍数 (許容度 ± 1mm) である必要があります。

用紙の長さ (折り畳みの長さ) およびページの長さは、以下のように規定されています。許容される内容については、99 ページの表 12 に記載しています。

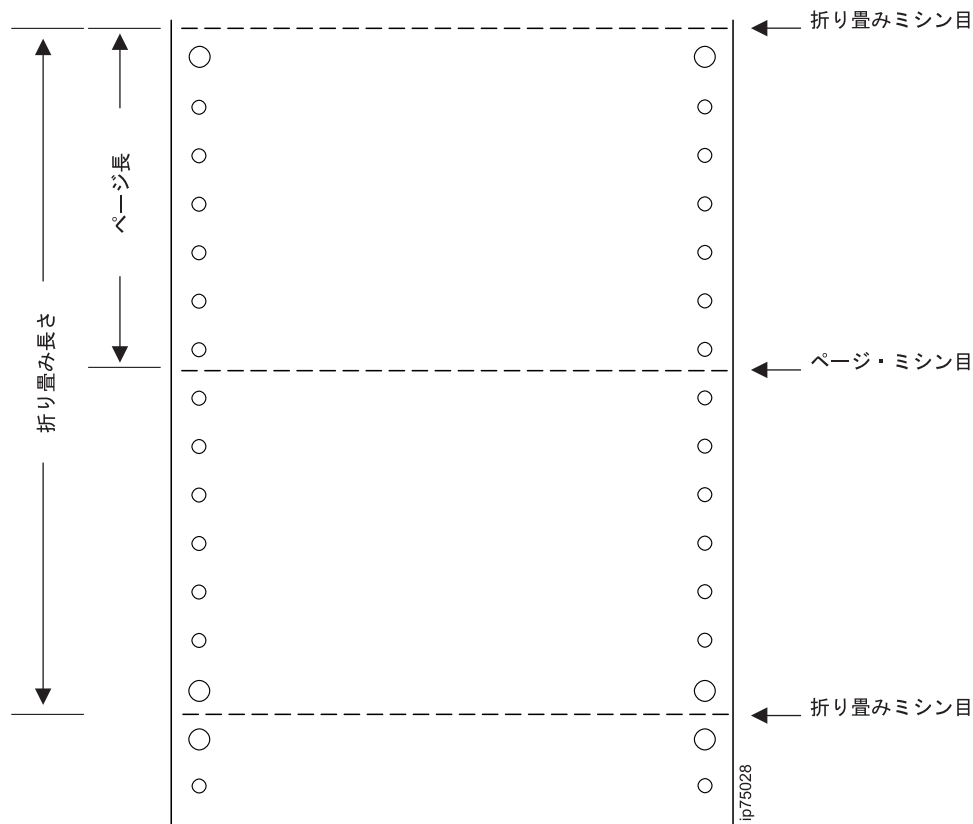
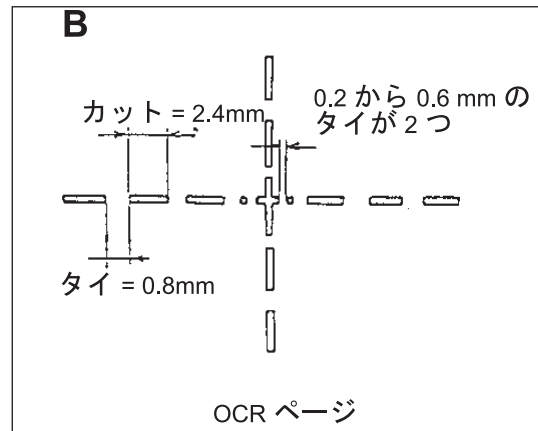
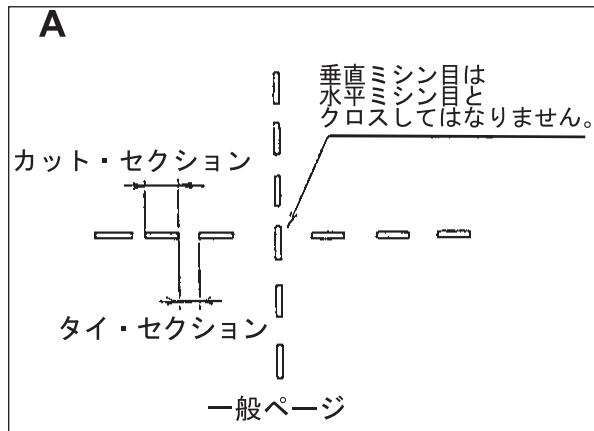
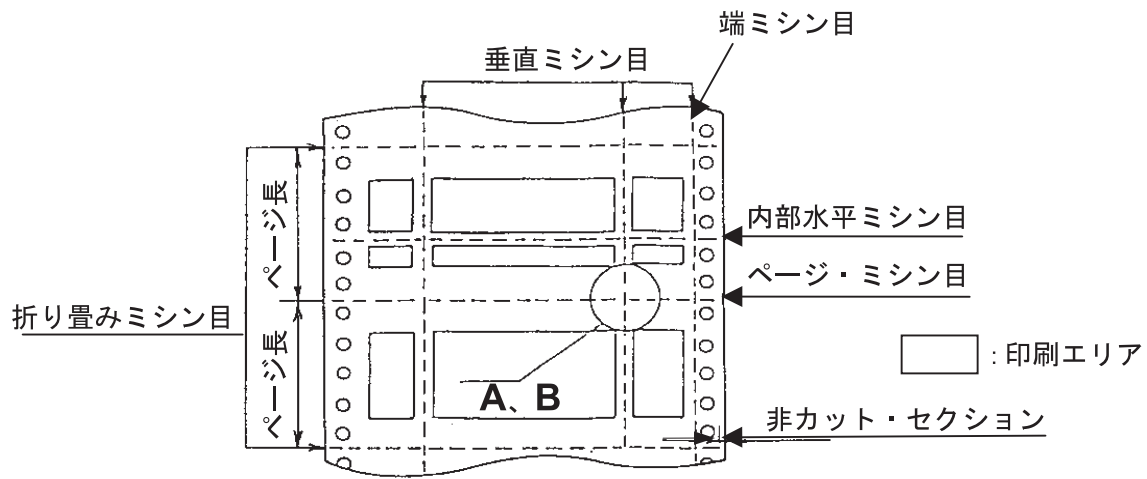


表 12. 用紙の長さ

寸法	折り畳みの長さ	ページの長さ
76.2 mm (3 インチ)	X	O
88.9 mm (3.5 インチ)	X	O
101.6 mm (4 インチ)	X	O
114.3 mm (4.5 インチ)	X	O
127 mm (5 インチ)	X	O
139.7 mm (5.5 インチ)	X	O
152.4 mm (6 インチ)	O	O
165.1 mm (6.5 インチ)	O	O
177.8 mm (7 インチ)	O	O
190.5 mm (7.5 インチ)	O	O
203.2 mm (8 インチ)	O	O
215.9 mm (8.5 インチ)	O	O
228.6 mm (9 インチ)	O	O
241.3 mm (9.5 インチ)	O	O
254 mm (10 インチ)	O	O
266.7 mm (10.5 インチ)	O	O
279.4 mm (11 インチ)	O	O
292.1 mm (11.5 インチ)	O	O
304.8 mm (12 インチ)	O	O
317.5 mm (12.5 インチ)	O	O
330.2 mm (13 インチ)	O	O
342.9 mm (13.5 インチ)	O	O
355.6 mm (14 インチ)	O	O
<p>注:</p> <p>1. X = サポートされていません。 O = サポートされています。</p> <p>2. 上記表内の用紙の長さに追加して、8.5 mm (1/3 インチ) の倍数の用紙も使用できます。たとえば、177.8 mm、186.3 mm、190.5 mm、194.7 mm、203.2mm (7、7 1/3、7 1/2、7 2/3、8 インチ) です。</p>		

ミシン目仕様



ip75013

注:

1. ページあたりに許容されるミシン目の数は、連量によって異なります。許容されるものより多いミシン目のある用紙を使用すると、折り畳みエラーを発生することがあります。

	ページと内部水平ミシン目の組み合わせ	垂直ミシン目 (端のミシン目を含む)
55 から 70 kg (64 から 81 g/m ²)	ミシン目は 1 つのみ	最高 3 つのミシン目
110 Kg を含まない 71 以上 (128 g/m ² を含まない 82 以上)	最高 2 つのミシン目	最高 3 つのミシン目
110 から 135 Kg (128 から 157 g/m ²)	最高 2 つのミシン目	最高 4 つのミシン目

2. カットおよびタイの寸法 (カットとは用紙が切断されている場所で、タイとはカットの間の紙を表します)。

- カットは 3 mm を超えてはなりません。
- タイは 0.8mm を超えていなければいけません。
- カットの長さでタイの長さの比率は、少なくとも 1 以上、3 以下でなければなりません。

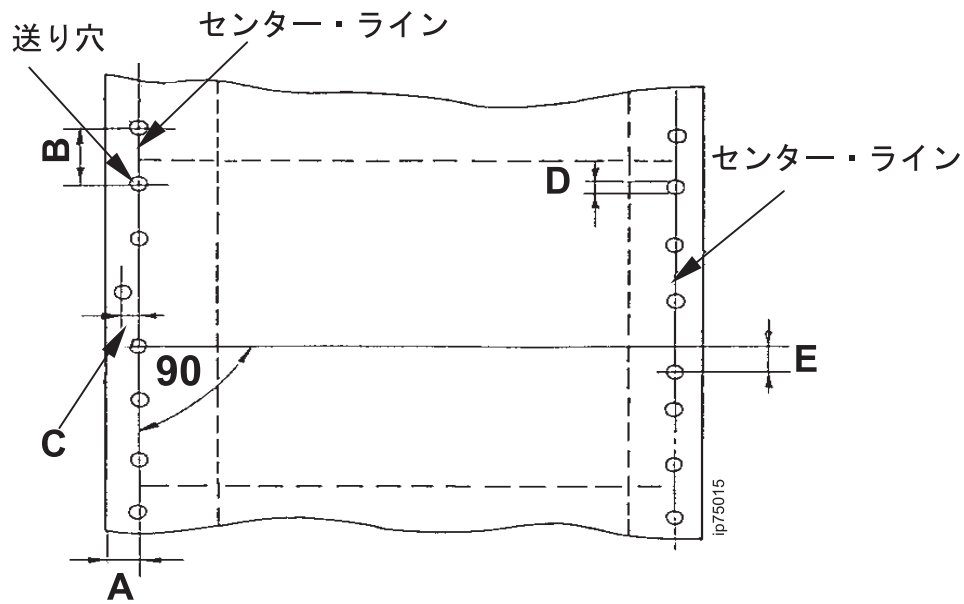
3. ミシン目強度の要件は、以下の通りです。

	折り畳みミシン目	垂直ミシン目、ページ・ミシン目、および内部水平ミシン目
標準寸法	タイ・セクション; カット・セクション	タイ・セクション; カット・セクション
	(1) 1 mm; 2.5 mm	1 mm; 1.5 mm
	(2) 1 mm; 3.0 mm	1 mm; 2.0 mm
	(3) 0.8 mm; 2.0 mm	0.8 mm; 1.2 mm
	(4) 0.8 mm; 2.4 mm	0.8 mm; 1.6 mm
OCR ページ	タイ・セクション 0.8 mm、カット・セクション 2.4 mm	

4. ミシン目は直線であればなりません。
5. 内部水平ミシン目は、折り畳みミシン目から 50.8 mm (2 インチ) 離れている必要があります。
6. ページ・ミシン目および内部水平ミシン目は、用紙の両端で 3 から 5 mm の非カット・セクションが付いている必要があります。ページ・ミシン目および内部水平ミシン目は、すぐに折り畳まれるものではないけません。
7. 折り畳みミシン目は、用紙の両端で 1 から 3 mm の非カット・セクションが付いている必要があります。
8. 折り畳みミシン目とページ・ミシン目が重なり合う場合は、折り畳みミシン目の優先順位が高くなります。
9. 55 から 110 kg (64 から 128 g/m²) 用紙の場合、垂直ミシン目はどちらの端からも少なくとも 25.4 mm (1 インチ) あいっている必要があります。110 から 135 kg (128 から 157 g/m²) 用紙の場合、垂直ミシン目 (端のミシン目) はどちらの端からも少なくとも 12.7 mm (0.5 インチ) から 25.4 mm (1 インチ) あいっている必要があります。

送り穴

送り穴の許容度は、以下のとおりです。

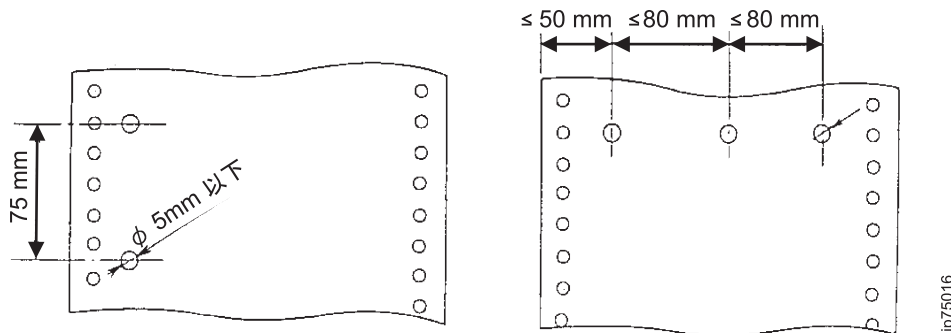


- 穴の中央から用紙の端までの距離は **(A)** は、 $6\text{ mm} \pm 0.7\text{mm}$ でなければなりません。
- 2つの垂直に隣接した穴の垂直の距離は **(B)** は、 $12.7\text{ mm} \pm 0.05\text{ mm}$ でなければなりません。
- 穴の中央と中央線の最大水平偏差 **(C)** は、 0.1mm です。互いに 254 mm (10 インチ) 以内の任意の2つの穴の中央と中央の間の距離は、 $\pm 0.3\text{ mm}$ (0.012 インチ) です。
- 送り穴の直径 **(D)** は、 $4\text{ mm} \pm 0.1\text{mm}$ でなければなりません。端がギザギザになった穴の場合、最大直径は 4.5 mm を超えてはなりません。
- 左と右で対応する穴の中央間の最大垂直偏差 **(E)** は、 0.15mm です。

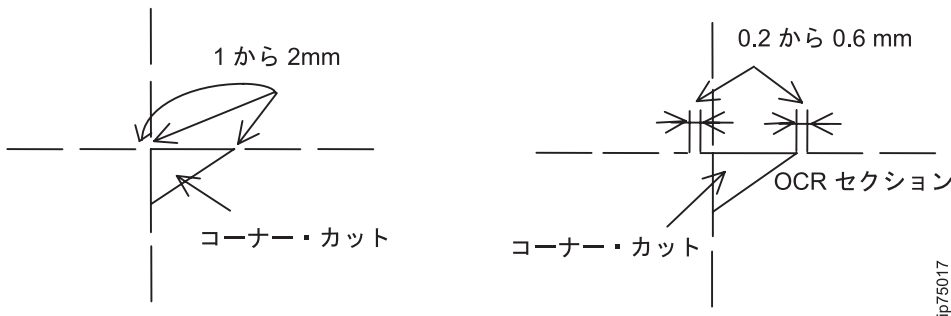
送り穴以外の穴について

バインダー・ホールおよびコーナー・カットは、印刷品質問題の原因となる可能性があるため推奨されません。バインダー・ホールまたはコーナー・カットがどうしても必要な場合は、以下の推奨事項に従ってください (また、常に言えることですが、大量の用紙を購入する前、または大規模ジョブを実行する前に必ずテストを実行してください)。

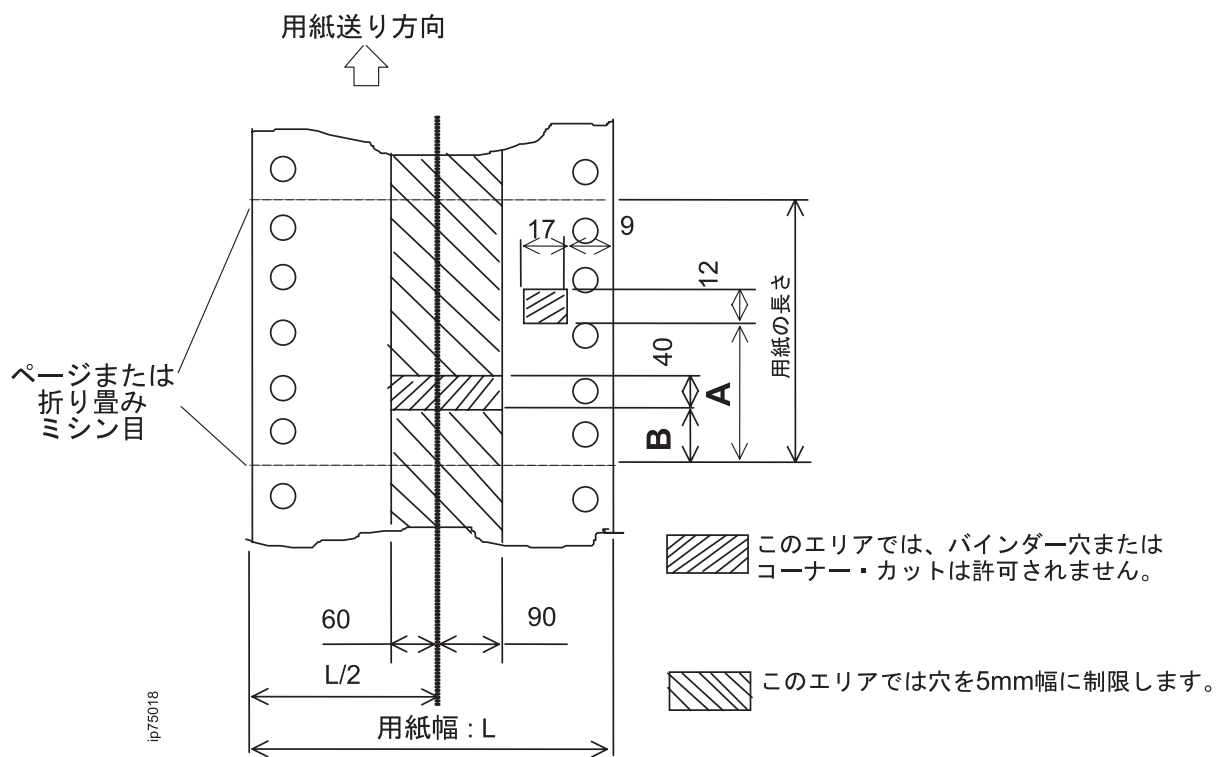
- バインダー・ホールは、直径および幅が 5 mm 以下でなければなりません。
- バインダー・ホールの中央と用紙の端の間は、少なくとも 50 mm 空いている必要があります。
- 垂直に並んだバインダー・ホールの中央の間は少なくとも 75 mm 離す必要があります。
- 水平に並んだバインダー・ホールの中央の間は少なくとも 80 mm 離す必要があります。



- コーナー・カットは、5 x 5 mm x 45° またはこれ以下でなければなりません。
- カットと最も接近する水平ミシン目との間には、1 から 2 mm のカットされていない部分を残します。
- コーナー・カットと接するタイは、0.2 から 0.6mm にする必要があります。



用紙検出センサーの誤動作を防止するために、次の図を使用して穴が制限される領域を判別してください。



A の寸法

ページの長さが 220.1 mm (8 2/3 インチ) 以下の場合 — 225 mm - ページの長さ

ページの長さが 228.6 mm (9 インチ) 以下の場合 — 225 mm

B の寸法: mm (インチ)

用紙の長さ	B の寸法
152.4 (6 インチ)	46
160.9 (6 1/3 インチ)	80
165.1 (6 1/2 インチ)	97
169.3 (6 2/3 インチ)	114
177.8 (7 インチ)	148
186.3 (7 1/3 インチ)	0
190.5 (7 1/2 インチ)	8
194.7 (7 2/3 インチ)	21
203.2 (8 インチ)	46
211.7 (8 1/3 インチ)	72
215.9 (8 1/2 インチ)	84
220.1 (8 2/3 インチ)	97
228.6 (9 インチ)	122
237.1 (9 1/3 インチ)	148
241.3 (9 1/2 インチ)	161
245.5 (9 2/3 インチ)	173
254.0 (10 インチ)	199
262.5 (10 1/3 インチ)	224
266.7 (10 1/2 インチ)	237
270.9 (10 2/3 インチ)	249
279.4 (11 インチ)	0
287.9 (11 1/3 インチ)	12
292.1 (11 1/2 インチ)	21
296.3 (11 2/3 インチ)	29
304.8 (12 インチ)	46
313.3 (12 1/3 インチ)	63
317.5 (12 1/2 インチ)	72
321.7 (12 2/3 インチ)	80
330.2 (13 インチ)	97
338.7 (13 1/3 インチ)	114
342.9 (13 1/2 インチ)	122
347.1 (13 2/3 インチ)	131
355.6 (14 インチ)	148

用紙のカラー

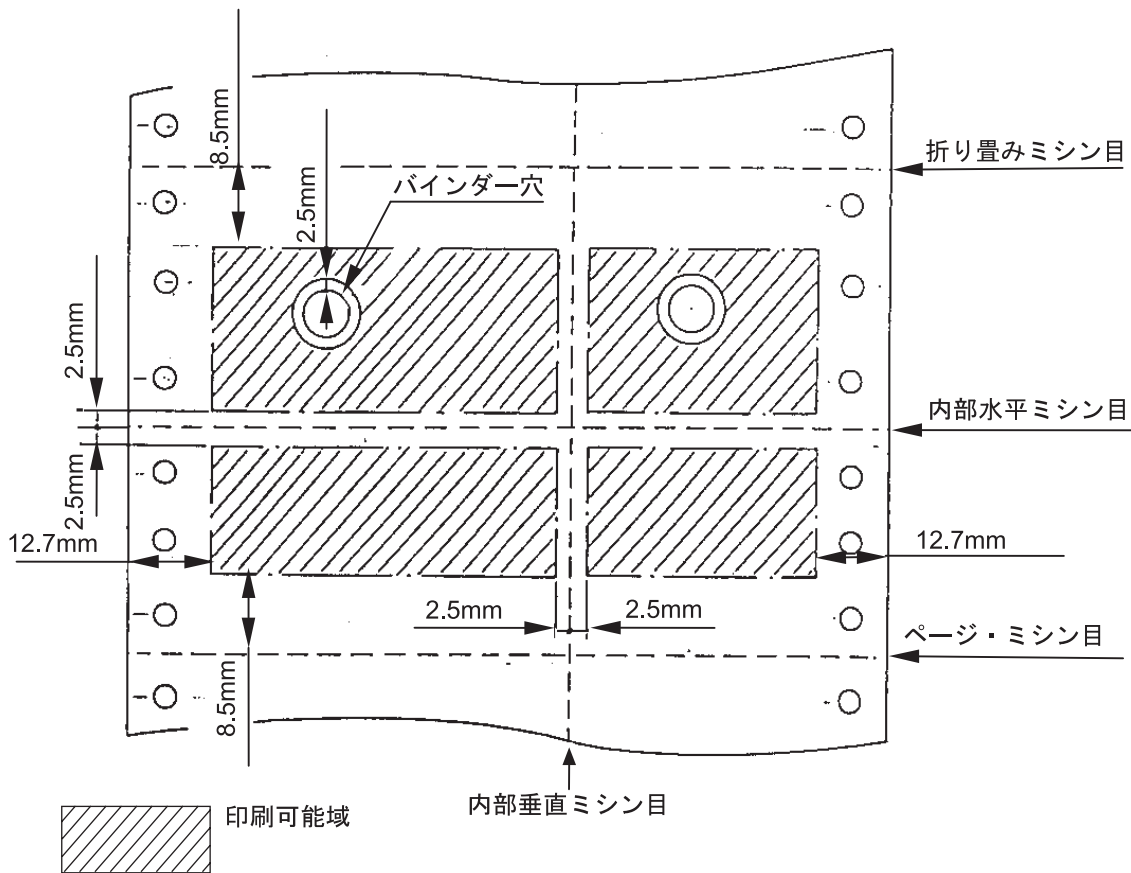
白い用紙がお勧めです。色の付いた用紙を使用する場合は、濃度の低い色 (黄色、薄い緑色、薄い青色、およびピンクなど) を使用してください。

カラー用紙は紙詰まりセンサーに影響するため、大量に購入する前に必ずテストしてください。

非印刷域

以下の領域には印刷しないでください。

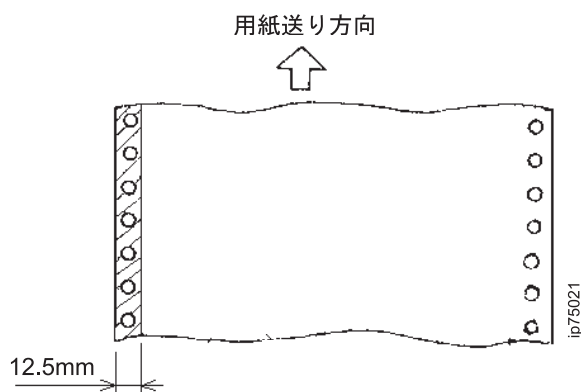
- 折り畳みおよびページ・ミシン目から 8.5 mm (1/3 インチ) 以内。
- 用紙の左右の端から 12.7 mm (0.5 インチ) 以内。
- 内部水平ミシン目から 2.5 mm (0.1 インチ) 以内。
- 垂直ミシン目から 2.5 mm (0.1 インチ) 以内。
- バインダー・ホールの周囲 2.5 mm (0.1 インチ) 以内。



ip75020

事前印刷用紙

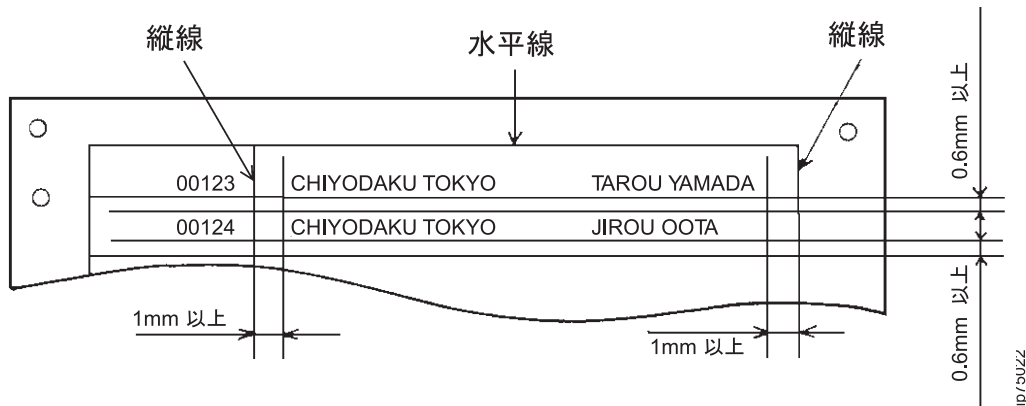
- **重要!** 最終的な用紙設計は、レイアウトが正確で、用紙およびインクが印刷処理と互換性があることを検査するために、プリンターを使用してテストする必要があります。
- 事前印刷用紙のインクは、以下の条件を満たす必要があります。
 - インクは、不揮発性で、 3.5 kg/cm^2 の圧力を 200°C で加えた場合に、用紙からプリンターのコンポーネントに転写されないものである必要があります。
 - 事前印刷に適したインクは、以下のものです。
 - 酸化重合乾式タイプのインク
 - 耐熱 (加熱養生) インク (プリキ印刷インク)
 - 紫外線硬化インク
 - 事前印刷に不適なインクは、以下のものです。
 - 急速に固まるインク
 - 蒸発乾式タイプのインク
 - 低温硬化インク
 - 降下乾式または沈着乾式インク
 - 浸透乾式インク
 - 事前印刷用紙のインクは、染みを防止するためにパッケージ化される前に乾燥している必要があります。用紙を拡張または収縮させる乾燥方式は使用しないでください。
 - 事前印刷用紙は、相対湿度が 45 から 60% の環境で印刷されたものである必要があります。
- プリンターは、確実に用紙を送り正しく印刷するために、用紙の左サイドの 12.5 mm を使用します。この領域に機械可読印刷マークのある事前印刷用紙を使用してはなりません。一部の (薄い色の線などの) マークは、機械可読ではない可能性があることに留意してください。本格的な使用を開始する前に必ず事前印刷用紙をテストしてください。



事前印刷用紙への印刷

環境が変化すると事前印刷用紙が拡張したり収縮したりする原因となることがあるので、印刷アプリケーションで印刷データと事前印刷用紙の印刷の間にスペースができることを確認してください。

- 事前印刷用紙の縦線から 1 mm 以上のスペースができる。
- 水平線から 0.6 mm 以上のスペースができる。



付録 D. フォントのダウンロード

PostScript がインストールされている場合は、追加のフォントがダウンロードできます。フォントをダウンロードする場合は、クロスケーブルを使用してパーソナル・コンピュータに接続します。

注:

1. 「プリンター-オプション」メニューで「ウェイト・タイムアウト」が少なくとも 40 秒に設定されていることを確認します。 12 ページの『オプションの構成』を参照してください。
2. ハード・ディスクの初期化またはフォーマットをしないでください。
3. ジョブが印刷中は、プリンターの電源をオフにしないでください。
4. フォントをダウンロードする前に、ジョブが印刷中でないことを確認してください。

手順:

1. 追加フォントに付属の情報を参照して、フォントをプリンターにロードする方法を説明をお読みください。
2. フォントがダウンロードされたら、プリンターの電源をオフにしてからオンにします。
3. フォントのリストを印刷して、新しいフォントがインストールされたか検査します。 19 ページの『レポート印刷メニューの使用』を参照してください。

特記事項

本書は米国 InfoPrint Solutions Company が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能で、InfoPrint Solutions Company が日本において提供していない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、InfoPrint Solutions Company の営業担当員にお尋ねください。本書で InfoPrint Solutions Company 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その InfoPrint Solutions Company 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、InfoPrint Solutions Company の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、InfoPrint Solutions Company 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

本書に記載の InfoPrint Solutions Company 製品、製品機構、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、InfoPrint Solutions Company の営業担当員にお尋ねください。

InfoPrint Solutions Company は、本書で解説されている主題について特許権 (特許出願を含む) を所有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

InfoPrint Solutions Company, LLC
6300 Diagonal Hwy 002J
Boulder, CO 80301-9270
U.S.A.

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。INFOPRINT SOLUTIONS COMPANY およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。InfoPrint Solutions Company は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において InfoPrint Solutions Company 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この InfoPrint Solutions Company 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

InfoPrint Solutions Company は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様になんら義務も負わせない適切な方法で、使用もしくは配布することがあります。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

InfoPrint Solutions Company 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。InfoPrint Solutions Company は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。InfoPrint Solutions Company 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願ひします。

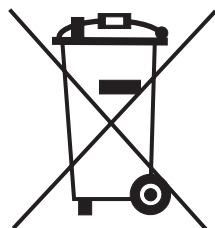
本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

この装置は、お客様の地域または国で適用される規制に従ってリサイクルまたは廃棄する必要があります。インフォプリント・ソリューションズ・カンパニーでは、機器が必要でなくなったときに機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、いくつかの国においてさまざまな回収プログラムとサービスを提供しています。製品リサイクル・サービスについての情報は、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.infoprint.com>



注意: このマークは、EU 諸国およびノルウェーにおいてのみ適用されます。

この機器には、EU 諸国に対する廃電気電子機器指令 2002/96/EC (WEEE) のラベルが貼られています。この指令は、EU 諸国に適用する使用済み機器の回収とリサイクルの骨子を定めています。このラベルは、使用済みになった時に指令に従って適正な処理をする必要があることを知らせるために種々の製品に貼られています。

欧州 WEEE 指令に沿って、寿命がきた電気/電子機器 (EEE) は分別回収され、再利用、リサイクル、あるいは再生されます。WEEE 指令の付則 (Annex) IV 規則によりマークされた電気/電子機器 (EEE) の使用者は、上に示したように、寿命のきた電子/電気機器を地方自治体の無分別ゴミとして廃棄することは許されず、お客様が利用可能な回収方法で電気/電子廃棄物の返却、リサイクル、あるいは再生をしなければなりません。電気/電子機器に含まれている可能性のある有害物質が、環境や人間の健康に与える影響を最小化することにお客様が参加することは重要です。適切な回収方法や処理方法の詳細については、インフォプリント・ソリューションズ・カンパニー担当員にお問い合わせください。

製品のリサイクルと廃棄

本装置は、回路ボードおよびコネクタなど、鉛含有素材が含まれている場合があります、特別な取り扱いが必要です。この装置を廃棄する前に、それらの部品を取り外し、該当する規定に従ってリサイクルするか廃棄する必要があります。本書には、該当する場合にバッテリーおよび冷却剤に関する具体的な情報が記載されています。

本製品には、密封型鉛酸バッテリー、リチウム・バッテリー、ニッケル水素バッテリー、またはニッケル・カドミウム・バッテリーが含まれている場合があります。これらのタイプのバッテリーは、正しくリサイクルするか廃棄する必要があります。リサイクル施設がお客様の地域にない場合があります。

米国以外の国におけるバッテリーの廃棄については、お客様の地域の廃棄物処理施設にお問い合わせください。

商標

以下は、Ricoh Co., Ltd. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- InfoPrint
- Infoprint
- IPDS
- Ricoh

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示記号 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、Web の www.ibm.com/legal/copytrade.shtml で「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

EtherTalk は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Ethernet は、Xerox Corp の商標です。

PCL および PCL5e は、Hewlett-Packard Company の商標です。

NetWare は、Novell, Inc. の商標です。

Agfa Corporation の UFST および MicroType を含みます。

Copyright (c) 1998-1999 Xionics Document Technologies, Inc. All rights reserved.

JPEG—この製品に組み込まれているソフトウェアは、一部分 Independent JPEG グループの著作物に基づいています。

SNMP—この製品に組み込まれているソフトウェアは、CMU のソフトウェアを使用しています。

Copyright 1988, 1989 by Carnegie Mellon University. All Rights Reserved.

このソフトウェアおよびその関連文書を、目的の如何を問わず、無料で使用し、複製し、変更する許可を与えます。ただし、上記の著作権表示がすべての複製に表示され、かつその著作権表示とこの許可通知とが関連文書に記載されている場合、および事前の書面による通知なしに CMU という名称をソフトウェアの配布時に広告または宣伝に使用しない場合に限りま

す。この製品には、Sam Leffler および Silicon Graphics, Inc. により開発されたソフトウェアが含まれていま

す。
Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics Inc.

このソフトウェアおよびその関連文書を、目的の如何を問わず、無料で使用し、複製し、変更する許可を与えます。ただし、(i) 上記の著作権表示がすべての複製に表示され、かつその著作権表示とこの許可通知とが関連文書に記載されている場合、および (ii) 事前の書面による通知なしに Sam Leffler および Silicon Graphics という名称をソフトウェアの配布時に広告または宣伝に使用しない場合に限りま

す。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

電波障害自主規制への適合性

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



危険

本製品にはユーザーの安全のために、プラグ付き 3 芯電源コードが装備されています。感電事故を防止するため、この電源コードを使用して正しくアースされたコンセントと接続してください。

高調波電流の自主規制

このプリンターは、JISC61000-3-2 の「電磁両立性 (EMC)-第 3-2 部: 限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器)」の要件を満たしています。

情報処理装置およびシステムのイミュニティー試験に関する自主規制

このプリンターは、JEITA IT-3001 の「エッジ・ロールオフが CMP のパフォーマンスに与えるインパクト」の要件を満たしています。

索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アイコン

- 一時停止/オフライン 9
- 印刷ジョブ一覧メニュー 8
- インフォメーション 8
- オプション 12
- 環境設定メニュー 8
- クリア 9
- 言語 19
- 削除 9
- システム 17
- 実行/受け入れ 9
- 消耗品 19
- ジョブ 20
- スクロール・バー 9
- ステータス 19
- 次の画面 9
- ディスク・ディレクトリー 19
- テスト印刷 13
- バック 9
- フォント 19
- 復帰/オンライン 9
- プリセット値 19
- プリンター設定メニュー 8
- ヘルプ 8
- 前の画面 9
- 用紙設定 11
- リピート・モード 9
- レポート印刷 19
- レポート印刷メニュー 8
- NPRO 9
- OCP 16
- PCL 13
- PS 14
- アクセサリー 91
- アドレス、MAC 49
- 穴、トラクター 102
- 安全上の注意 ix
- 位置

- サイド・カバー 2
- 使用済みトナー・ボトル 4
- スタッカー・テーブル 4
- 前面カバー 2
- トナー・サプライ・カバー 2

位置 (続き)

- トナー・ホッパー 4
- トナー・ボトル・カバー 2
- 背面カバー 2
- 用紙送りユニット 4
- 用紙ホッパー 4
- FORMS LENGTH パネル 2
- HR クリーナー 4
- HR ユニット 4
- PF パネル 2
- ST パネル 2
- 位置、印刷確認 43
- 位置、印刷の調整 46
- 「一時停止」アイコン 9
- 印刷 (テスト)、実行 13
- 印刷位置
 - 検査 43
 - 設定 11
 - 調整 46
- 印刷位置の確認 43
- 印刷位置の調整 46
- 印刷速度、設定 12
- 印刷濃度、設定 12
- 印刷品質、検査 69
- 印刷品質の検査 69
- 印刷メニュー
 - オプション 12
 - 使用する 10
 - テスト印刷 13
 - 用紙設定 11
 - IPDS (PostScript) 15
 - OCP 16
 - PCL 13
 - PS (PostScript) 14
- インフォメーション・アイコン 8
- ウェイト・タイムアウト、設定 12
- 「受け入れ」アイコン 9
- エミュレーション・モード、IPDS メニュー項目 22
- エラー (PostScript) 14
- エラー印刷 (PostScript) 14
- エラー・メッセージ 82
- オーバーレイ・キャッシュ 15
- 送り穴、仕様 102
- オフ、プリンター 6
- 「オプション」アイコン 12
- オフセット (PCL) 13
- 「オフライン」アイコン 9
- オン、プリンター 5
- 「オンライン」アイコン 9

オンラインでアクセスする、プリンターに 21

[力行]

カード用紙 46
開始、プリンター 5
回転 (PostScript) アイコン 14
概要 1
カウンター、設定 19
仮想プリンター 29
カラー、用紙 105
カラー・シミュレーション、IPDS メニュー項目 27
環境設定メニュー
 使用する 16
輝度 (OCP)、設定 16
機能、プリンター 1
キャッシング、IPDS メニュー項目 15
キューイング、LPD、設定 12
区切りページ、設定 17
国番号、設定 17
クリーニング
 スタッカー 71
 転写ユニット 72
 トナー・ホッパー 73
 プリクリーン・アセンブリー 74
 プリンター 69
 用紙ホッパー 70
「クリア」アイコン 9
言語、設定 19
言語アイコン 19
コード・ページ、IPDS 用指定 23
コーナー・カット 103
交換
 使用済みトナー・ボトル 56
 デベロッパー・ミックス 56
 トナー 53
構成
 印刷位置 11
 印刷速度 12
 印刷濃度 12
 ウェイト・タイムアウト 12
 オフセット (PCL) 13
 区切りページ 17
 国番号 17
 言語 19
 省電力 17
 ジョブ 20
 ジョブ・エミュレーション 17
 スタッカー・レベル 12
 ソフトウェア・ロギング 17
 出口ジャム・リカバリー 12
 ドラム・クリーナー・カウンター 19

構成 (続き)

日時 17
ネットワーク・アドレス 17
パスワード 17
バックアップ時刻 17
パラレル・チャンネル・パルス 17
ブザー 12
ページ・レイアウト (PCL) 13
ページ・レイアウト (PostScript) 14
マージン 11
用紙オートロード 12
用紙設定 11
レポート印刷 19
2 アップ (PCL) 13
HR クリーナー・カウンター 19
HR ユニット・カウンター 19
IPDS 設定 15
LPD キューイング 12
NPRO 12
OCP 設定 16
OPC ドラム・カウンター 19
PCL 設定 13
PostScript 設定 14
SNMP 17
コントラスト (OCP)、設定 16

[サ行]

サイズ、用紙 98
「削除」アイコン 9
サプライ用品
 発注 95
 保管 95
サプライ用品の発注 95
時刻、設定 17
システム・アイコン 17
事前印刷用紙 107
「実行」アイコン 9
ジャム・リカバリー、設定 12
重量、用紙 98
仕様、プリンター 87
使用済みトナー・ボトル
 位置 4
 交換 56
省電力、設定 17
商標 113
情報メッセージ 79
消耗品アイコン 19
ジョブ、表示または削除 20
ジョブの削除 20
ジョブ・アイコン 20
「スクロール・バー」アイコン 9

図形文字ストリング、IPDS メニュー項目 26
スタッカー・テーブル
位置 4
スタッカー・レベル、設定 12
ステータス 19
ステータス・レポート印刷 19
スペース要件 90
寸法、用紙 98
ソフトウェア・ロギング 17

[夕行]

代替フォント、IPDS メニュー項目 26
タイムアウト (PostScript) アイコン 14
タイムアウト、設定 12
注意、安全 ix
「次の画面」アイコン 9
停止位置、確認 42
ディスク・ディレクトリー 19
ディスク・ディレクトリー・レポート印刷 19
テキスト・カラー・シミュレーション、IPDS メニュー項目 27
出口ジャム・リカバリー、設定 12
テスト印刷、実行 13
デフォルト FGID、IPDS メニュー項目 23
デフォルト・コード・ページ、IPDS メニュー項目 23
デベロッパー
交換 56
発注 95
保管 95
テンション、調整 39
トナー
交換 53
発注 95
保管 95
トナー・ホッパー、位置 4
トラブルシューティング 75
ドラム・クリーナー・カウンター、設定 19

[ナ行]

長さ、用紙 98
日時、設定 17
入出力インターフェース 91
ネットワーク
構成 48
接続 47
AIX 52
AppleTalk 49
HP=UX 50
LPR/LPD 印刷 49
MAC アドレスの確認 49

ネットワーク (続き)
Solaris 50
ネットワークのトラブルシューティング 76
ネットワークへの接続 47
ネットワーク・アドレス、設定 17
濃度 (印刷)、設定 12

[ハ行]

バーコード、IPDS メニュー項目 27
ハーフトーン濃度 (PostScript) 14
ハイライト、プリンター 1
バインダー・ホール 103
パスワード、設定 17
「バック」アイコン 9
バックアップ時刻 17
幅、用紙 98
パラレル・チャネル・パルス 17
パルス幅 17
非印刷域 106
品質、印刷 69
ピンの割り当て 91
フォント 19
IPDS 常駐デフォルト 23
IPDS 代替 26
フォント、ダウンロード 109
フォント取り込み、IPDS メニュー項目 15
フォントのダウンロード 109
フォント・リスト 19
ブザー (OCP)、設定 16
ブザー、設定 12
「復帰」アイコン 9
ブリククリーン・アセンブリー 74
プリセット 19
プリセット設定用紙定義、設定 19
プリンター仕様 87
プリンターにオンラインでアクセスする 21
プリンターの電源オフ 6
プリンターの電源オン 5
ページ、IPDS メニュー項目 25
ページ・レイアウト (PCL) 13
ページ・レイアウト (PostScript) 14
ヘルプ・アイコン 8
保管、サプライ用品 95
保守
印刷品質の検査 69
サプライの取り替え 53
使用済みトナー・ボトルの取り替え 56
使用済みトナー・ボトル領域のクリーニング 74
スタッカーのクリーニング 71
スタッカー・ジャムのクリア 66
デベロッパー・ミックスの交換 56

保守 (続き)

- 転写ユニットのクリーニング 72
 - トナーの補給 53
 - トナー・ホッパーのクリーニング 73
 - トラクター・ジャムのクリア 68
 - プリクリーン・アセンブリーのクリーニング 74
 - プリンターのクリーニング 69
 - 用紙ホッパーのクリーニング 70
- ボタン 8
- ボックス描画、IPDS メニュー項目 27
- ホッパー、トナー、位置 4

[マ行]

- マージン、設定 11
- 「前の画面」アイコン 9
- マシン・ラベル xii
- ミシン目、仕様 100
- メッセージ
 - 情報 79, 82
- メニュー
 - メイン 8
- 文字数/インチ、IPDS メニュー項目 23

[ヤ行]

- 有効印刷域チェック、IPDS メニュー項目 24
- 有効印刷可能域のチェック、IPDS 24
- 用紙
 - 印刷位置、設定 11
 - 印刷位置の確認 43
 - 印刷位置の調整 46
 - 送り穴 102
 - カード用紙 46
 - カラー 105
 - 許容されない 97
 - コーナー・カット 103
 - サポートされているサイズ 98
 - サポートされている重量 98
 - 事前印刷用紙 107
 - 仕様 97
 - 推奨事項 97
 - テンションの調整 39
 - 登録 33
 - 取り外し 40
 - 長さ、設定 11
 - バインダー・ホール 103
 - 幅、設定 11
 - 非印刷域 106
 - 保管 96
 - ミシン目 100
 - 予防措置 33

用紙 (続き)

- ロード 34
- 用紙オートロード 34
- 用紙オートロード、設定 12
- 用紙送りユニット
 - 位置 4
- 用紙削減オートロード 38
- 用紙ジャム
 - スタッカー・ジャムのクリア 66
 - HR ユニット・ジャムのクリア 68
- 用紙設定アイコン 11
- 用紙定義、設定 19
- 用紙テンションの調整 39
- 用紙登録 33
- 用紙のセット 34
- 用紙の登録 33
- 用紙の取り外し 40
- 用紙の長さ、設定 11
- 用紙幅、設定 11
- 用紙をプリンターに定義する 33
- 予防措置、用紙の取り扱い 33

[ラ行]

- ラベル、マシン xii
- リセット
 - ドラム・クリーナー・カウンター 19
 - HR クリーナー・カウンター 19
 - HR ユニット・カウンター 19
 - OPC ドラム・カウンター 19
- リセット IPDS フォント、IPDS メニュー項目 15
- 「リピート・モード」アイコン 9
- レポート印刷、設定 19
- レポート印刷アイコン 19
- ログ、ソフトウェア 17
- 用紙テンションを緩める 39
- 用紙テンションを張る 39

[数字]

- 2 アップ (PCL) 13

A

- AIX 52
- AppleTalk 49
- AppleTalk のトラブルシューティング 77

C

- CLR アイコン 9

D

DEL アイコン 9

F

FORMS LENGTH パネル

位置 2

説明 4

H

HP=UX 50

HR クリーナー

位置 4

HR クリーナー・カウンター、設定 19

HR ユニット

位置 4

HR ユニット・カウンター、設定 19

I

IPDS

解像度 26

カラー・シミュレーション 27

コード・ページ 23

デフォルト・フォント 23

バーコード 27

ページ・フォーマット 25

ボックス描画 27

有効印刷可能域のチェック 24

IPDS 設定 15

IPDS 取り込み 28

IPDS トレース 28

L

LPD キューイング、設定 12

LPR/LPD 印刷 49

M

MAC アドレス、確認 49

MAC アドレスの確認 49

N

NPRO アイコン 9

NPRO タイムアウト、IPDS メニュー項目 15

NPRO、有効/無効 12

O

OCF (オペレーター・コントロール・パネル)

使用する 7

チューニング 16

メインメニュー 8

OPC ドラム・カウンター、設定 19

P

PCL アイコン 13

PCL 設定 13

PCL フォント・リスト 19

PF パネル

位置 2

説明 3

PostScript 設定 14

PostScript フォント・リスト 19

PS (PostScript) アイコン 14

S

Solaris 50

ST パネル

位置 2

説明 3

W

Web インターフェース

アクセス 21

仮想プリンター 29

部品番号: 55Y6978

Printed in Japan

SA88-4155-00



(1P) P/N: 55Y6978

